

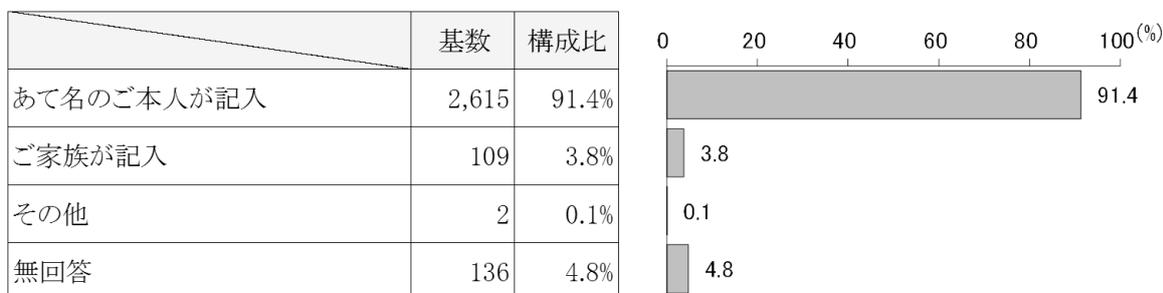
第2章 日常生活圏域ニーズ調査

1. 基本属性

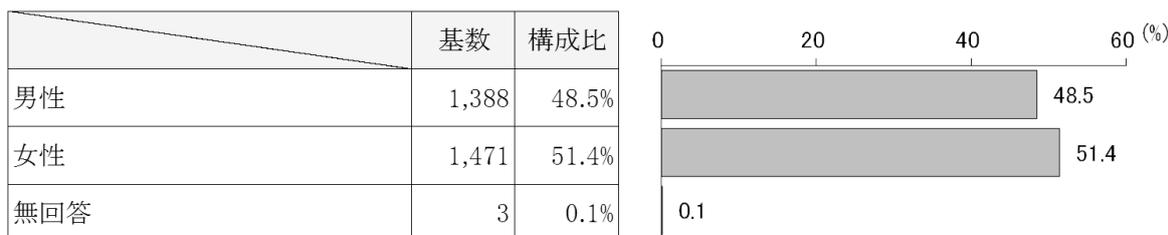
(1) 回答者

【欄外】 調査票を記入されたのは誰ですか。

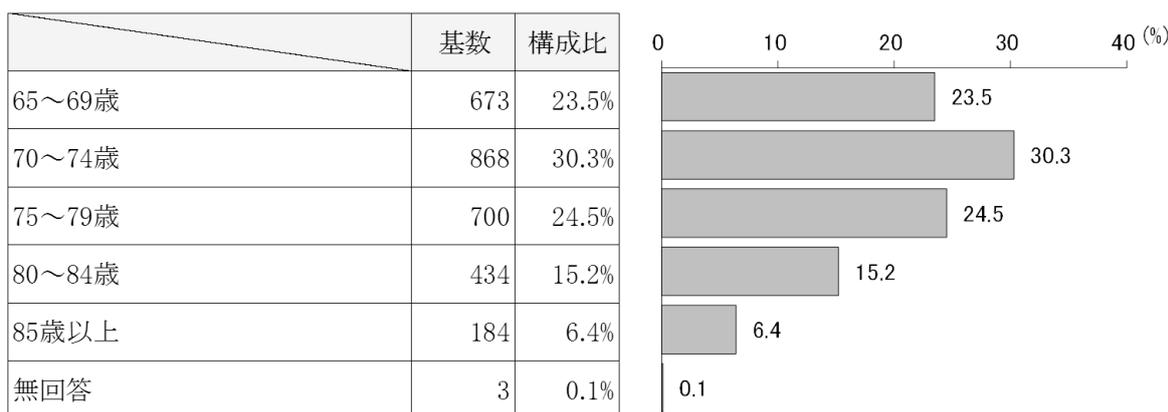
図表1-1-1 回答者 全体



図表1-1-2 性別 全体

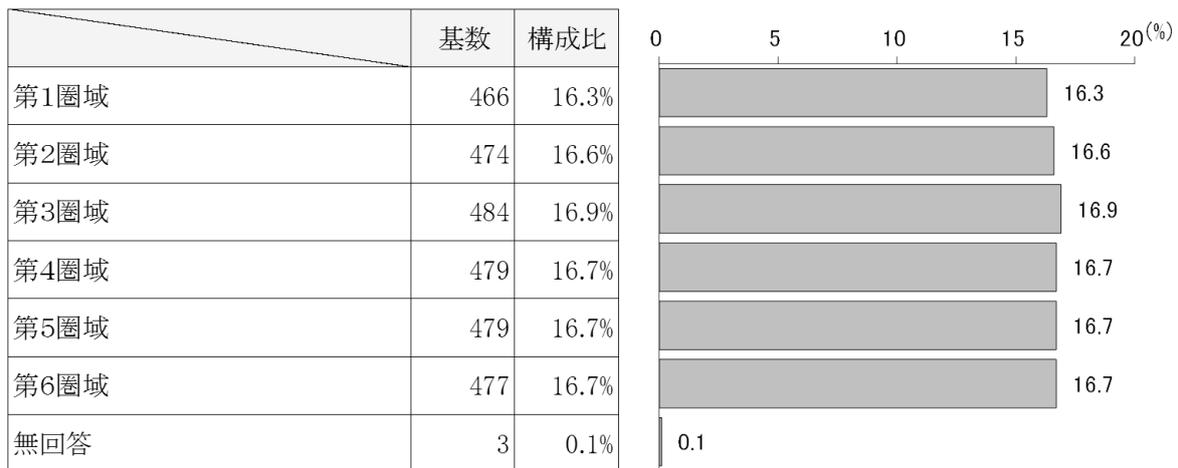


図表1-1-3 年齢 全体

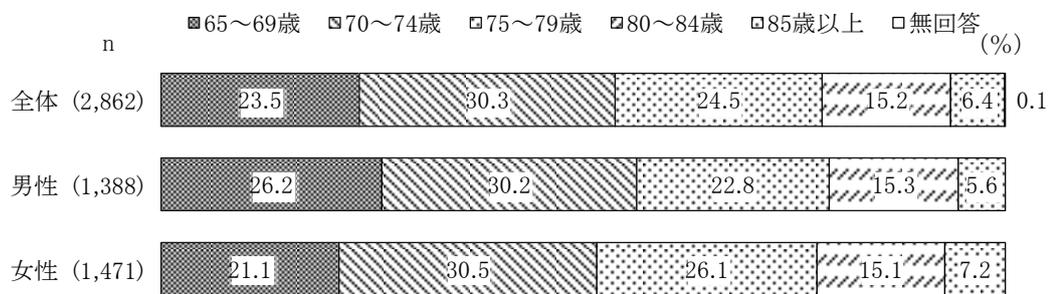


第2章 日常生活圏域ニーズ調査

図表1-1-4 圏域 全体

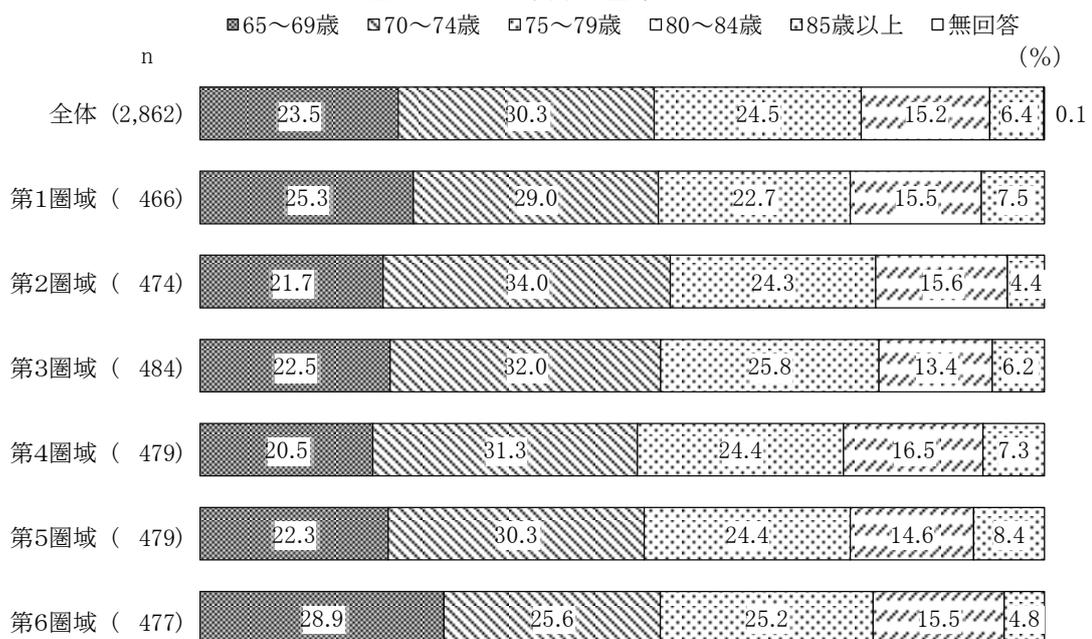


図表1-1-5 年齢 性別



性別にみると、どちらも「70～74歳」が最も高く、次いで、男性では「65～69歳」、女性では「75～79歳」が高くなっている。

図表1-1-6 年齢 圏域別



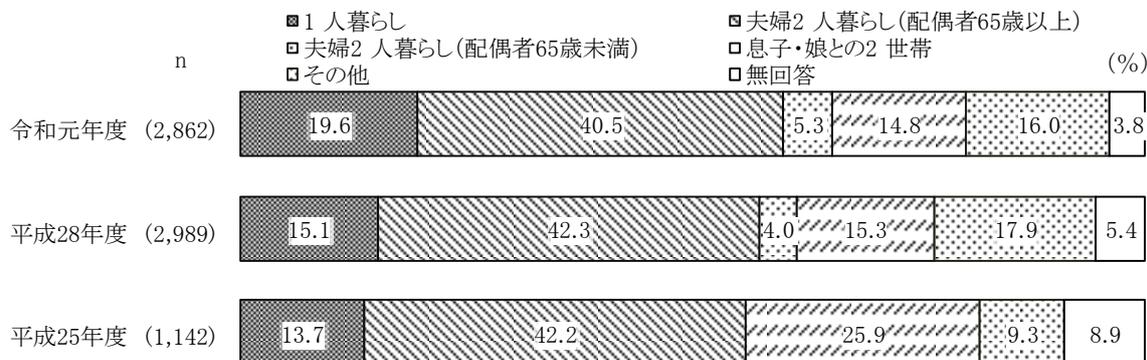
圏域別にみると、第1圏域から第5圏域までは「70～74歳」、第6圏域では「65～69歳」が最も高くなっている。

2. 家族や生活状況について

(1) 家族構成

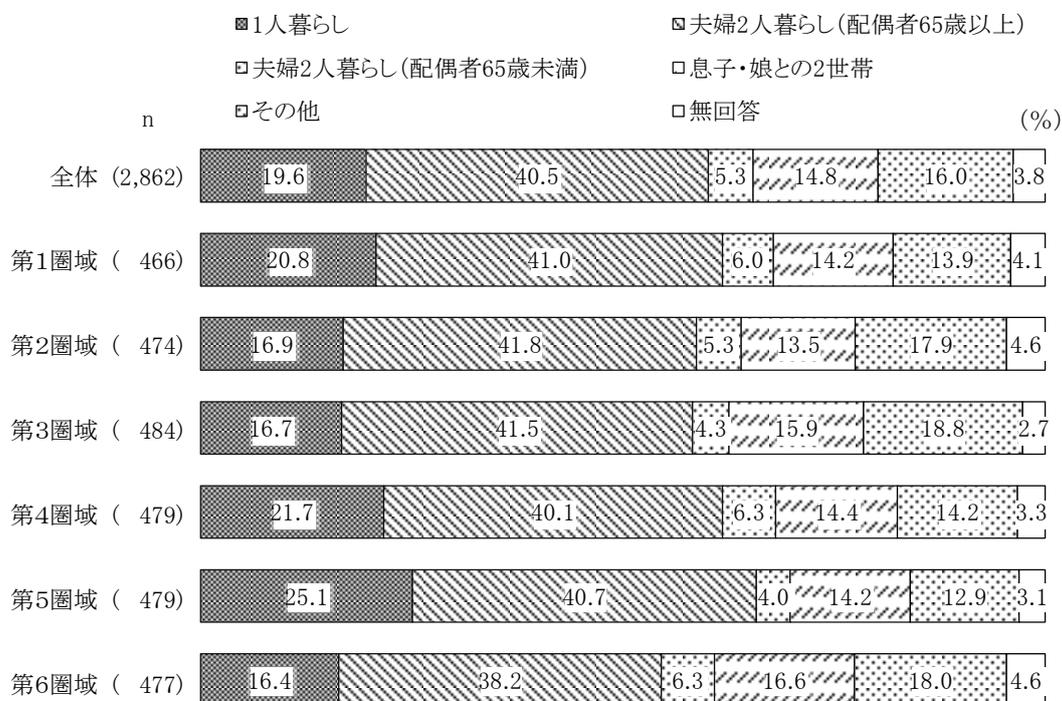
問1 (1) 家族構成をお教えてください。(〇は1つ)

図2-1-1 家族構成 全体



家族構成については、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」（40.5%）が最も高かった。以下、「1人暮らし」（19.6%）、「その他」（16.0%）、「息子・娘との2世帯」（14.8%）となっている。前回調査と比較すると、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が1.8ポイント低くなり、「1人暮らし」が4.5ポイント高くなっている。

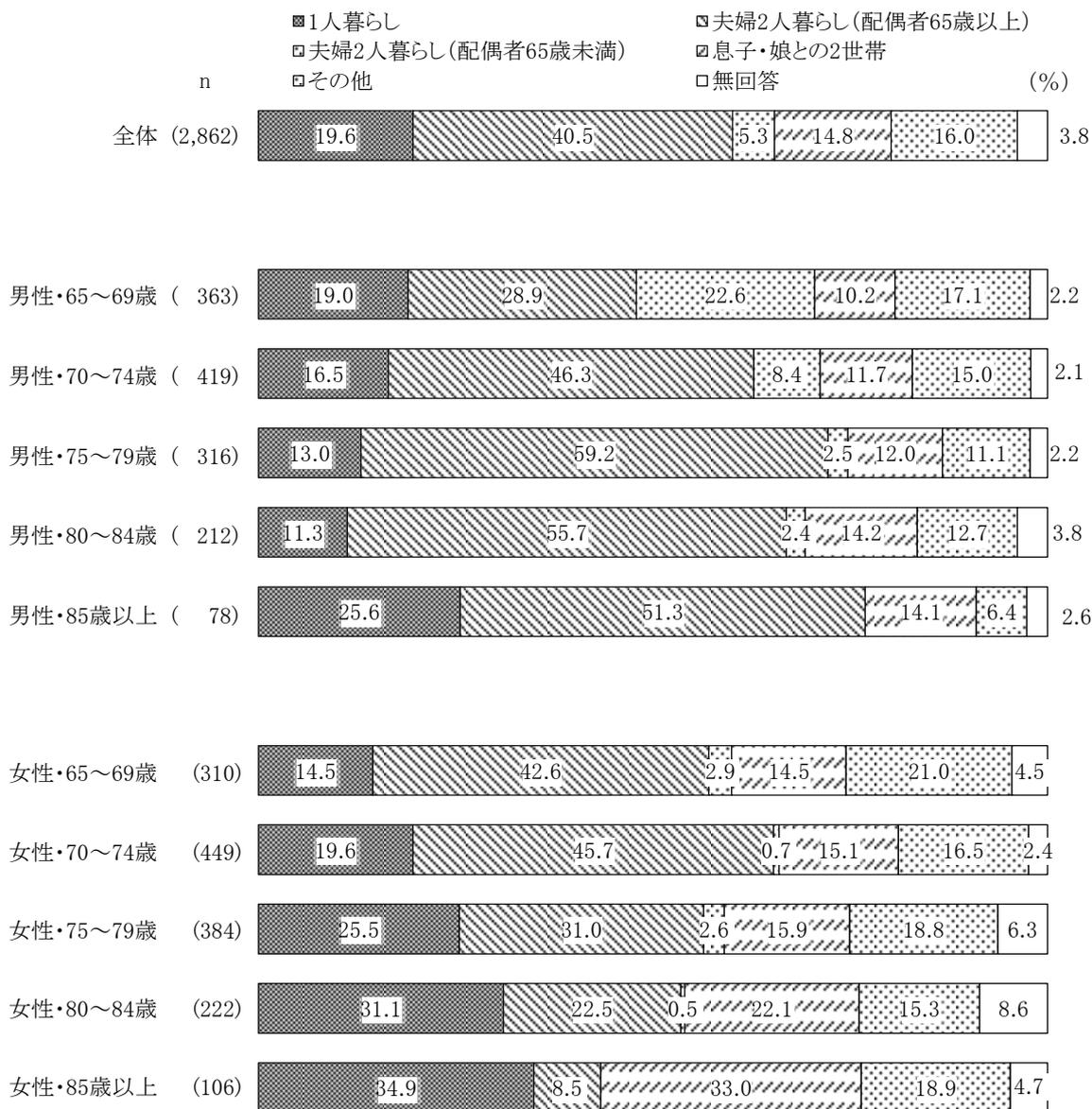
図2-1-2 家族構成 圏域別



圏域別にみると、「1人暮らし」が最も高いのは第5圏域の25.1%で、以下、第4圏域（21.7%）、第1圏域（20.8%）となっている。

第2章 日常生活圏域ニーズ調査

図2-1-3 家族構成 性・年齢別



性・年齢別にみると、「1人暮らし」については女性・85歳以上が34.9%で最も高く、女性は年齢が上がるとともにその割合は高くなっている。また、「息子・娘との2世帯」についても女性・85歳以上が33.0%で最も高く、女性は年齢が上がるとともにその割合は高くなっている

(2) 日中1人かどうか

【(1) において「2. 3. 4. 5」と回答した方のみ】

問1①あなたは日中、1人ですか。(〇は1つ)

図表2-2-1 日中1人かどうか 全体



日中1人かどうかについては、「日中1人であることはほとんどない」が68.5%を占めていた。一方、「日中1人になることが多い」は27.4%となっている。

前回調査と比較すると、「日中1人であることはほとんどない」が2.2ポイント高くなっている。

図表2-2-2 日中1人かどうか 家族構成別

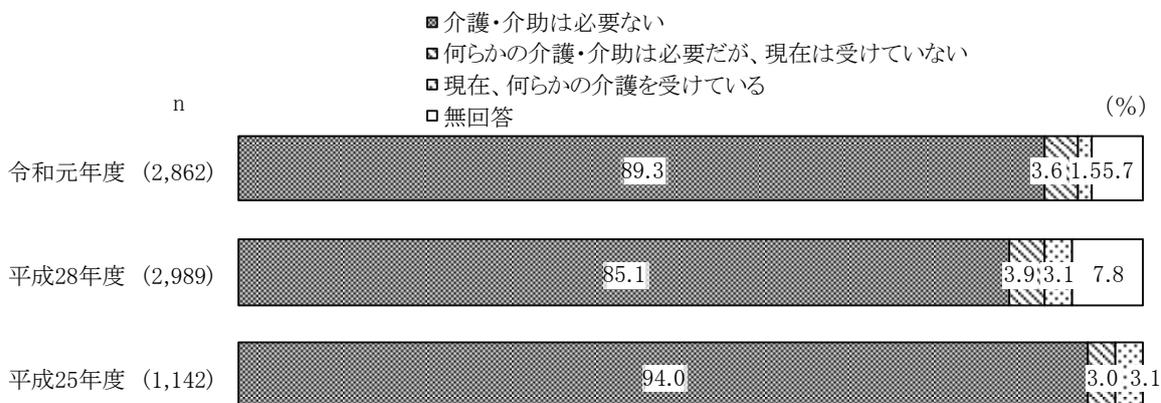


家族構成別にみると、「日中1人になることが多い」は息子・娘との2世帯の38.1%で最も高くなっている。

(3) 普通の生活で介助・介護が必要かどうか

問1 (2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(○は1つ)

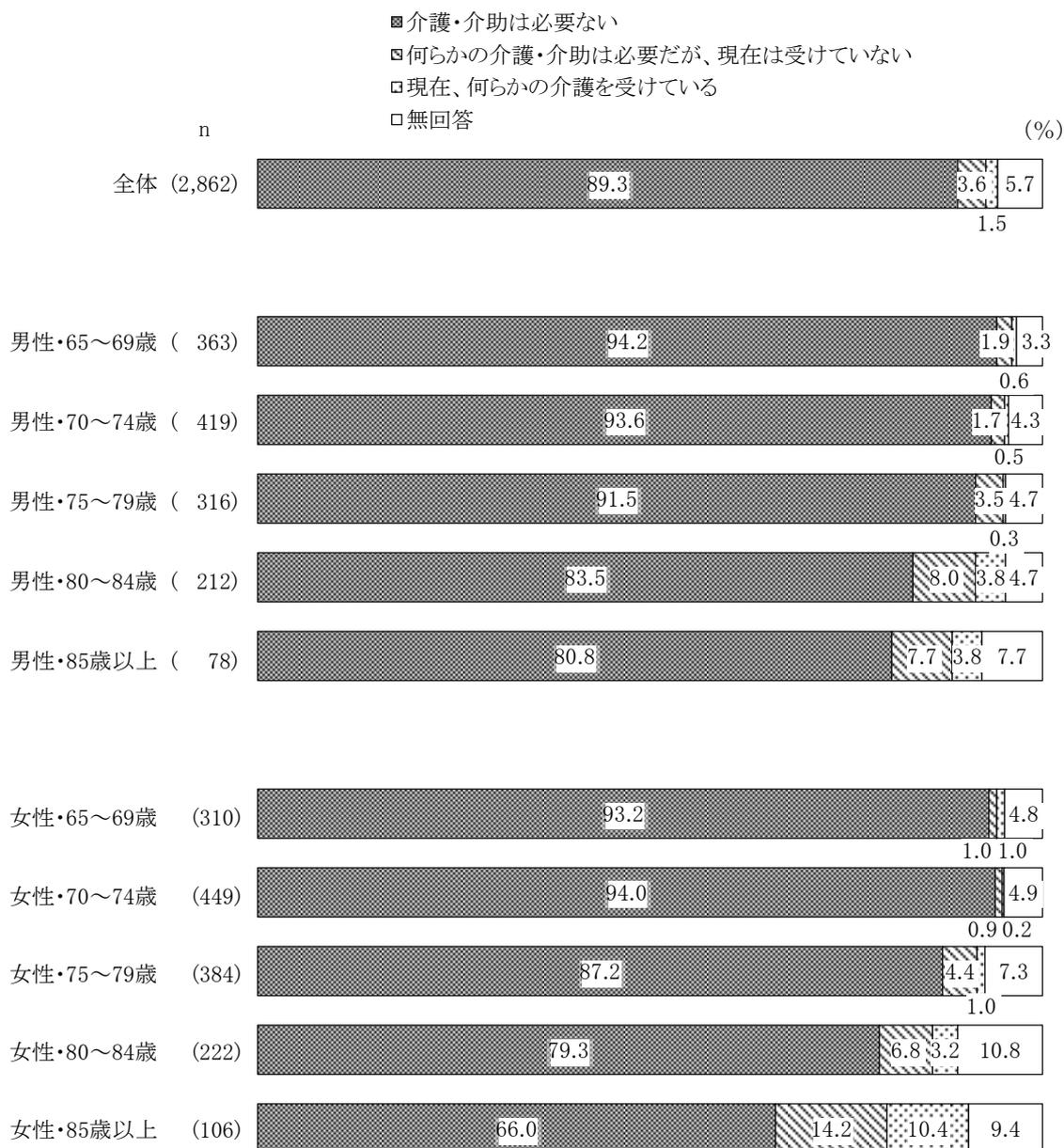
図表2-3-1 普通の生活で介助・介護が必要かどうか 全体別



普通の生活で介助・介護が必要かどうかについては、「介護・介助は必要ない」が89.3%を占めていた。一方、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」(3.6%)と「現在、何らかの介護を受けている」(1.5%)を合わせた『介護を必要とする』は5.1%となっている。

前回調査と比較すると、「現在、何らかの介護を受けている」が1.6ポイント低くなり、「介護・介助は必要ない」が4.2ポイント高くなっている。

図表2-3-2 普通の生活で介助・介護が必要かどうか 性・年齢別

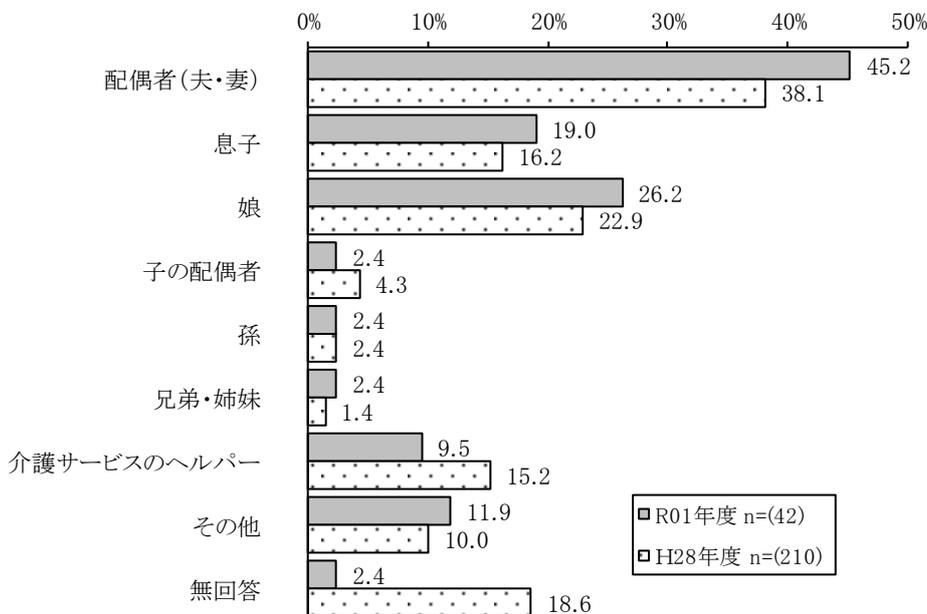


性・年齢別にみると、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」と「現在、何らかの介護を受けている」を合わせた『介護を必要とする』については、女性・85歳以上の24.6%が特に高くなっている。

(4) 主にどなたの介護、介助を受けているか

【(2) において「3. 現在、何らかの介護を受けている」の方のみ】
 問1 (2) ①主にどなたの介護、介助を受けていますか。(あてはまるものすべてに○)

図表2-4-1 主にどなたの介護、介助を受けているか 全体



主にどなたの介護、介助を受けているかについては、「配偶者(夫・妻)」(45.2%)が最も高かった。以下、「娘」(26.2%)、「息子」(19.0%)、「その他」(11.9%)となっている。

※前回調査は、問1(2)で「1. 介護・介助は必要ない」以外を回答した人が対象のため、参考として掲載。

(5) 現在の経済状況

問1 (3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(○は1つ)

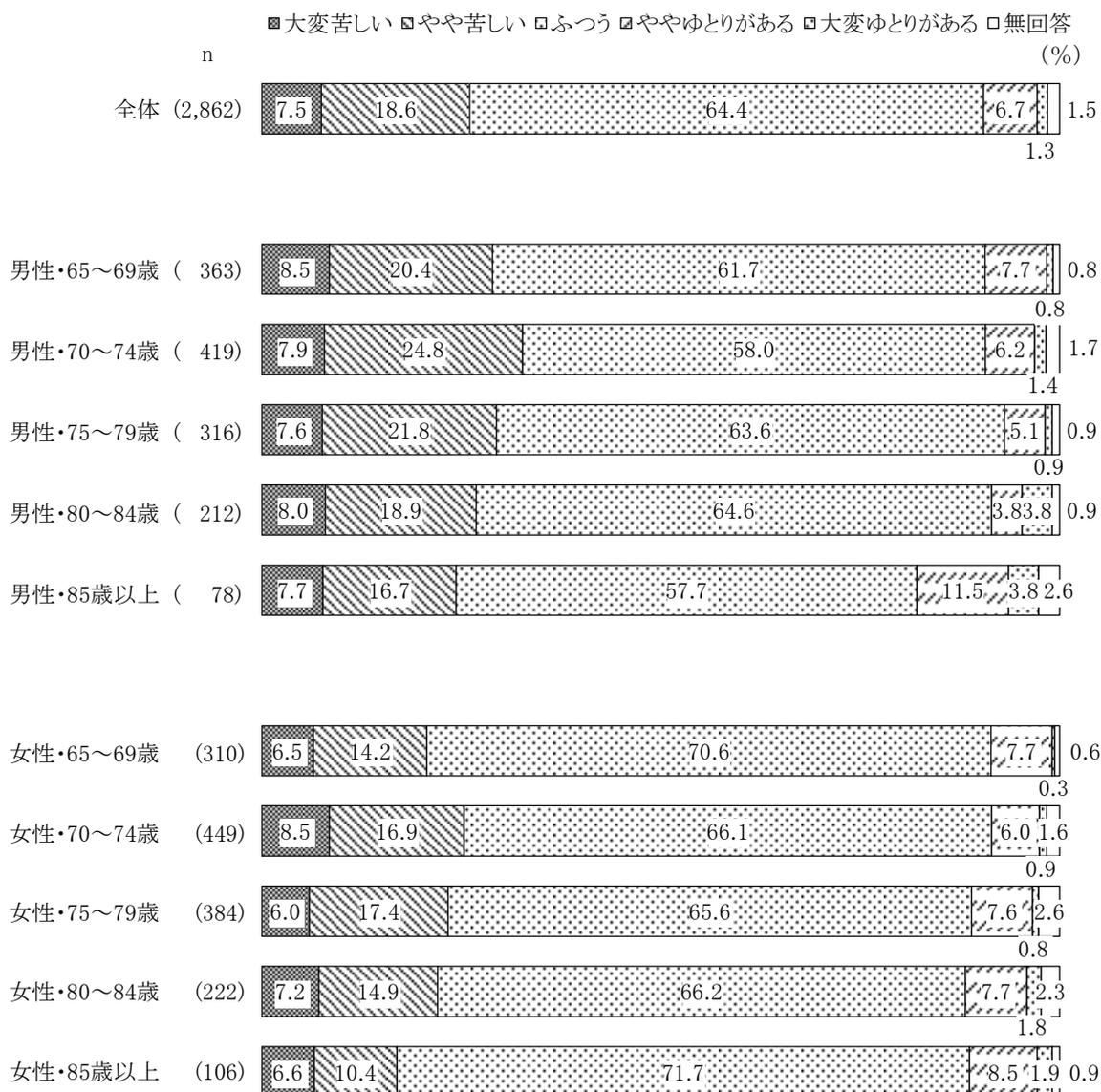
図表2-5-1 現在の経済状況 全体



現在の経済状況については、「ふつう」が64.4%を占めていた。一方、「やや苦しい」(18.6%)と「大変苦しい」(7.5%)を合わせた『苦しい』は26.1%となっている。

前回調査と比較すると、「ふつう」が2.1ポイント高くなっている。

図表2-5-2 現在の経済状況 性・年齢別



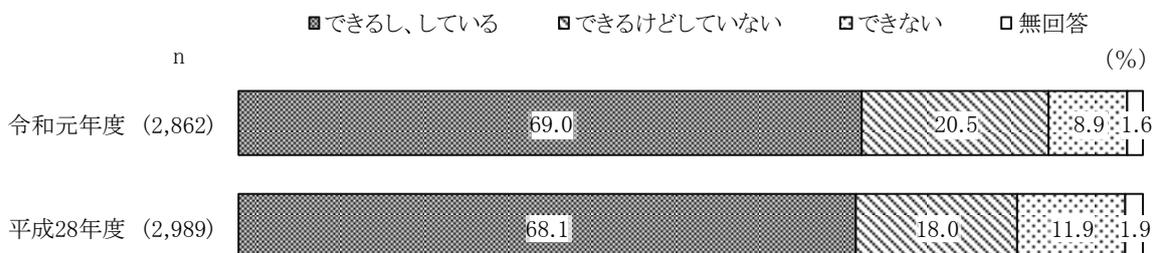
性・年齢別にみると、「やや苦しい」と「大変苦しい」を合わせた『苦しい』については男性・70～74歳の32.7%が最も高く、いずれの年代も男性の比率は女性の比率を上回っている。

3. からだを動かすことについて

(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか

問2 (1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(○は1つ)

図表3-1-1 階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか 全体



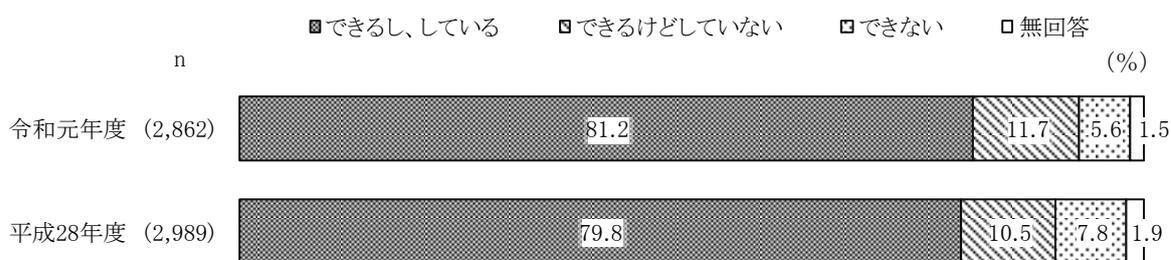
階段を手すりや壁をつたわずに昇っているかについては、「できるし、している」(69.0%)が最も高かった。以下、「できるけどしていない」(20.5%)、「できない」(8.9%)となっている。

前回調査と比較すると、「できない」が3.0ポイント低くなり、「できるけどしていない」が2.5ポイント高くなっている。

(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がれるか

問2 (2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(○は1つ)

図表3-2-1 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がれるか 全体



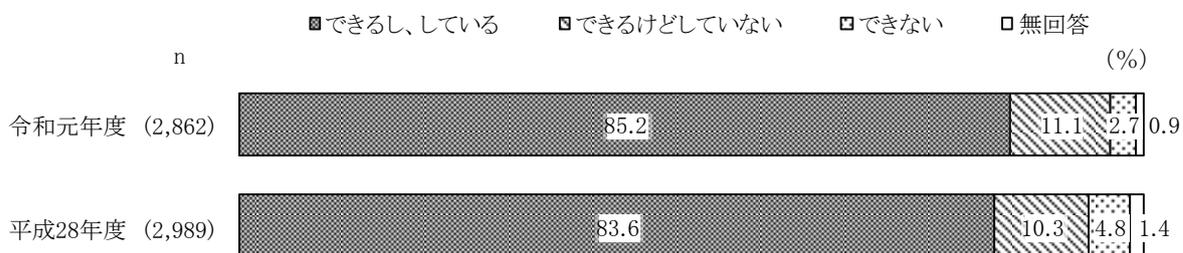
椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がれるかについては、「できるし、している」(81.2%)が最も高かった。以下、「できるけどしていない」(11.7%)、「できない」(5.6%)となっている。

前回調査と比較すると、「できない」が2.2ポイント低くなり、「できるし、している」が1.4ポイント高くなっている。

(3) 15分位続けて歩いているか

問2 (3) 15分位続けて歩いていますか。(○は1つ)

図表3-3-1 15分続けて歩いているか 全体



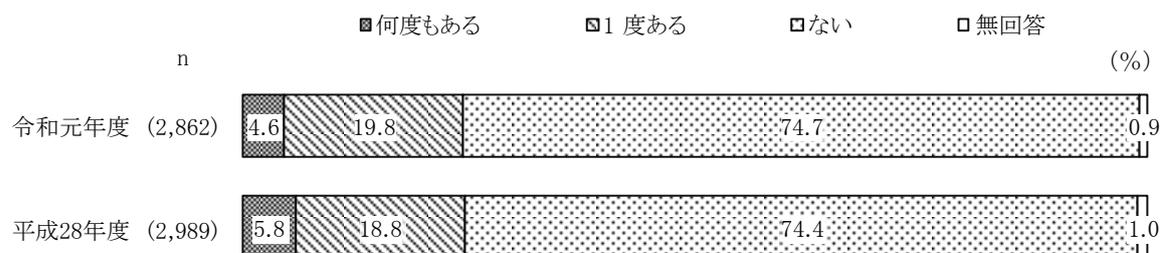
15分続けて歩いているかについては、「できるし、している」(85.2%)が最も高かった。以下、「できるけどしていない」(11.1%)、「できない」(2.7%)となっている。

前回調査と比較すると、「できない」が2.1ポイント低くなり、「できるし、している」が1.6ポイント高くなっている。

(4) 過去1年間に転んだ経験があるか

問2 (4) 過去1年間に転んだ経験がありますか。(○は1つ)

図表3-4-1 過去1年間に転んだ経験があるか 全体



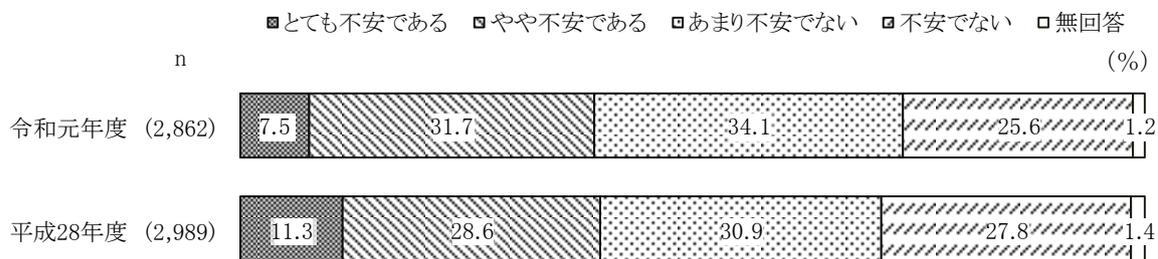
過去1年間に転んだ経験があるかについては、「ない」(74.7%)が最も高かった。以下、「1度ある」(19.8%)、「何度もある」(4.6%)となっている。

前回調査と比較すると、「何度もある」が1.2ポイント低くなり、「1度ある」が1.0ポイント高くなっている。

(5) 転倒に対する不安は大きいか

問2 (5) 転倒に対する不安は大きいですか。(○は1つ)

図表3-5-1 転倒に対する不安は大きいか 全体



転倒に対する不安は大きいかについては、「あまり不安でない」(34.1%)が最も高かった。以下、「やや不安である」(31.7%)、「不安でない」(25.6%)、「とても不安である」(7.5%)となっている。

前回調査と比較すると、「とても不安である」が3.8ポイント低くなり、「あまり不安でない」が3.2ポイント高くなっている。

(6) 週1回以上外出しているか

問2 (6) 週に1回以上は外出していますか。(○は1つ)

図表3-6-1 週1回以上外出しているか 全体



週1回以上外出しているかについては、「週2~4回」(47.3%)が最も高かった。以下、「週5回以上」(40.0%)、「週1回」(8.8%)、「ほとんど外出しない」(2.8%)となっている。

前回調査と比較すると、「週5回以上」が1.8ポイント低くなり、「週2~4回」が2.3ポイント高くなっている。

(7) 昨年と比べて外出回数が減っているか

問2 (7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○は1つ)

図表3-7-1 昨年と比べて外出回数が減っているか 全体



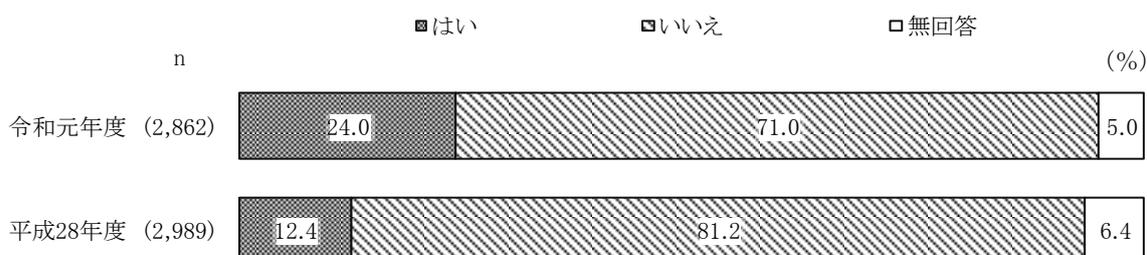
昨年と比べて外出回数が減っているかについては、「あまり減っていない」(39.5%)が最も高かった。以下、「減っていない」(37.8%)、「減っている」(18.5%)、「とても減っている」(3.1%)となっている。

前回調査と比較すると、「減っていない」が7.0ポイント低くなり、「減っている」が4.7ポイント高くなっている。

(8) 外出を控えているか

問2 (8) 外出を控えていますか。(○は1つ)

図表3-8-1 外出を控えているか 全体

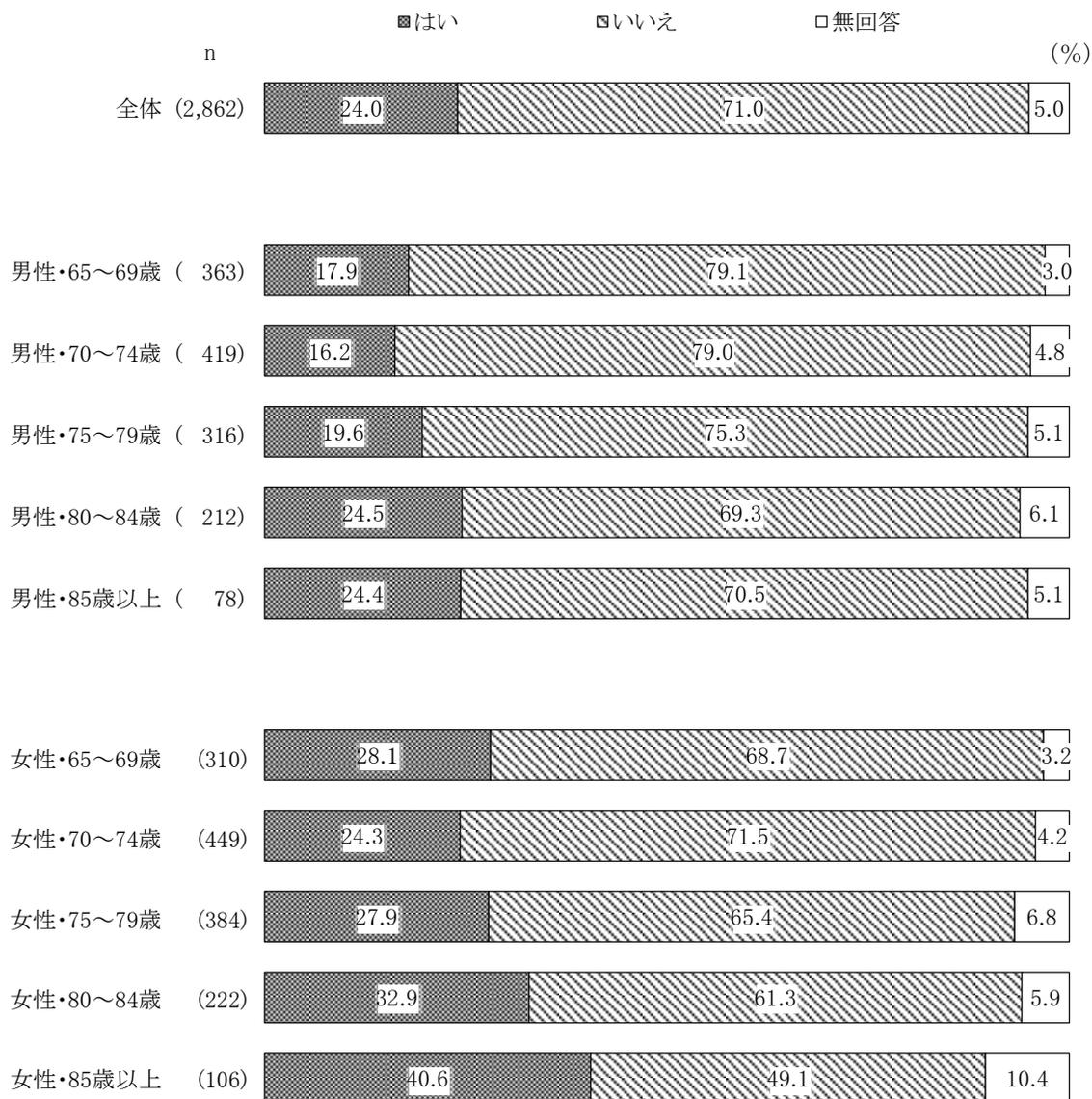


外出を控えているかについては、「いいえ」が71.0%を占めていた。一方、「はい」は24.0%となっている。

前回調査と比較すると、「いいえ」が10.2ポイント低くなり、「はい」が11.6ポイント高くなっている。

第2章 日常生活圏域ニーズ調査

図表3-8-2 外出を控えているか 性・年齢別



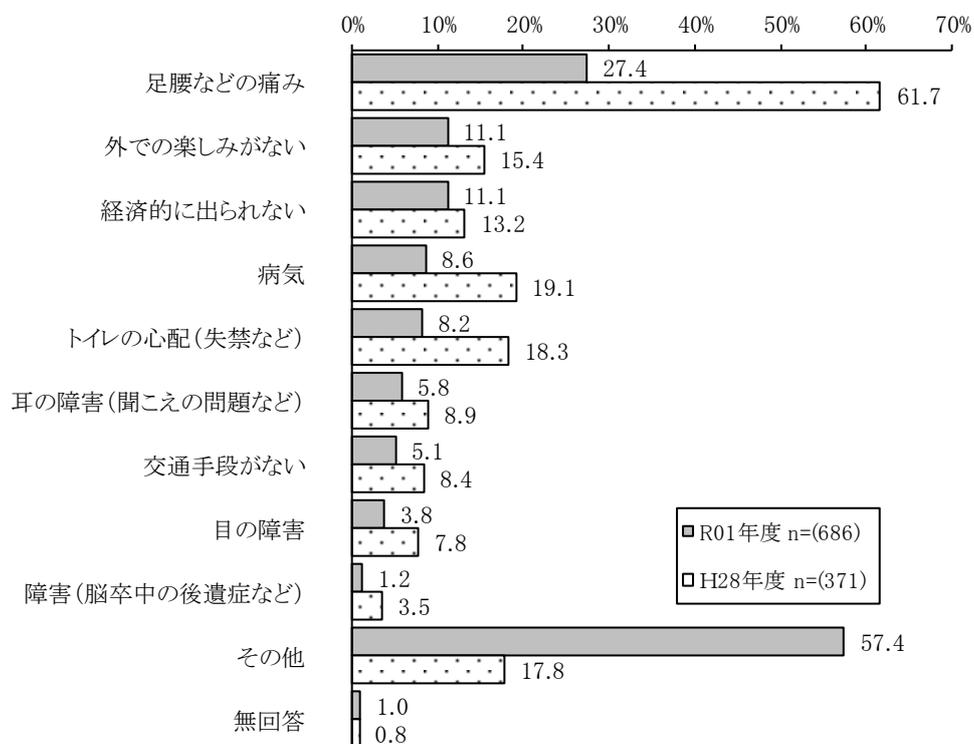
性・年齢別にみると、「はい」については、女性・85歳以上の40.6%が最も高く、いずれの年代も女性の比率は男性の比率を上回っている。

(9) 外出を控えている理由

【(8)で「1. はい」(外出を控えている)の方のみ】

問2(8)①外出を控えている理由は、次のどれですか。(あてはまるものすべてに○)

図表3-9-1 外出を控えている理由 全体



外出を控えている理由については、「足腰などの痛み」(27.4%)、「外での楽しみがない」(11.1%)、「経済的に出られない」(11.1%)、「病気」(8.6%)となっている。

その他については、新型コロナウイルス感染症予防のためなどの回答が多く挙げられていた。

前回調査と比較すると、「足腰などの痛み」が34.3ポイント、「病気」が10.5ポイント、「トイレの心配(失禁など)」が10.1ポイント低くなり、「その他」が39.6ポイント高くなっている。

第2章 日常生活圏域ニーズ調査

図表3-9-2 外出を控えている理由 性・年齢別

			(%)										
		n	足腰などの痛み	外での楽しみがない	経済的に出られない	病気	トイレの心配(失禁など)	耳の障害(聞こえの問題など)	交通手段がない	目の障害	障害(脳卒中の後遺症など)	その他	無回答
性・年齢	全体	686	27.4	11.1	11.1	8.6	8.2	5.8	5.1	3.8	1.2	57.4	1.0
	男性・65～69歳	65	9.2	13.8	15.4	9.2	1.5	-	3.1	6.2	1.5	64.6	-
	男性・70～74歳	68	20.6	16.2	7.4	7.4	4.4	2.9	4.4	1.5	-	67.6	-
	男性・75～79歳	62	27.4	14.5	12.9	14.5	22.6	12.9	8.1	8.1	8.1	41.9	1.6
	男性・80～84歳	52	42.3	13.5	9.6	13.5	17.3	11.5	11.5	7.7	-	38.5	-
	男性・85歳以上	19	42.1	21.1	5.3	10.5	21.1	21.1	15.8	5.3	-	26.3	-
	女性・65～69歳	87	8.0	9.2	8.0	6.9	-	-	1.1	3.4	-	79.3	2.3
	女性・70～74歳	109	20.2	6.4	17.4	3.7	2.8	-	3.7	1.8	-	72.5	2.8
	女性・75～79歳	107	31.8	10.3	12.1	6.5	7.5	5.6	3.7	2.8	-	57.9	0.9
	女性・80～84歳	73	42.5	11.0	8.2	12.3	11.0	11.0	9.6	4.1	2.7	41.1	-
	女性・85歳以上	43	60.5	4.7	4.7	9.3	14.0	14.0	-	-	-	34.9	-

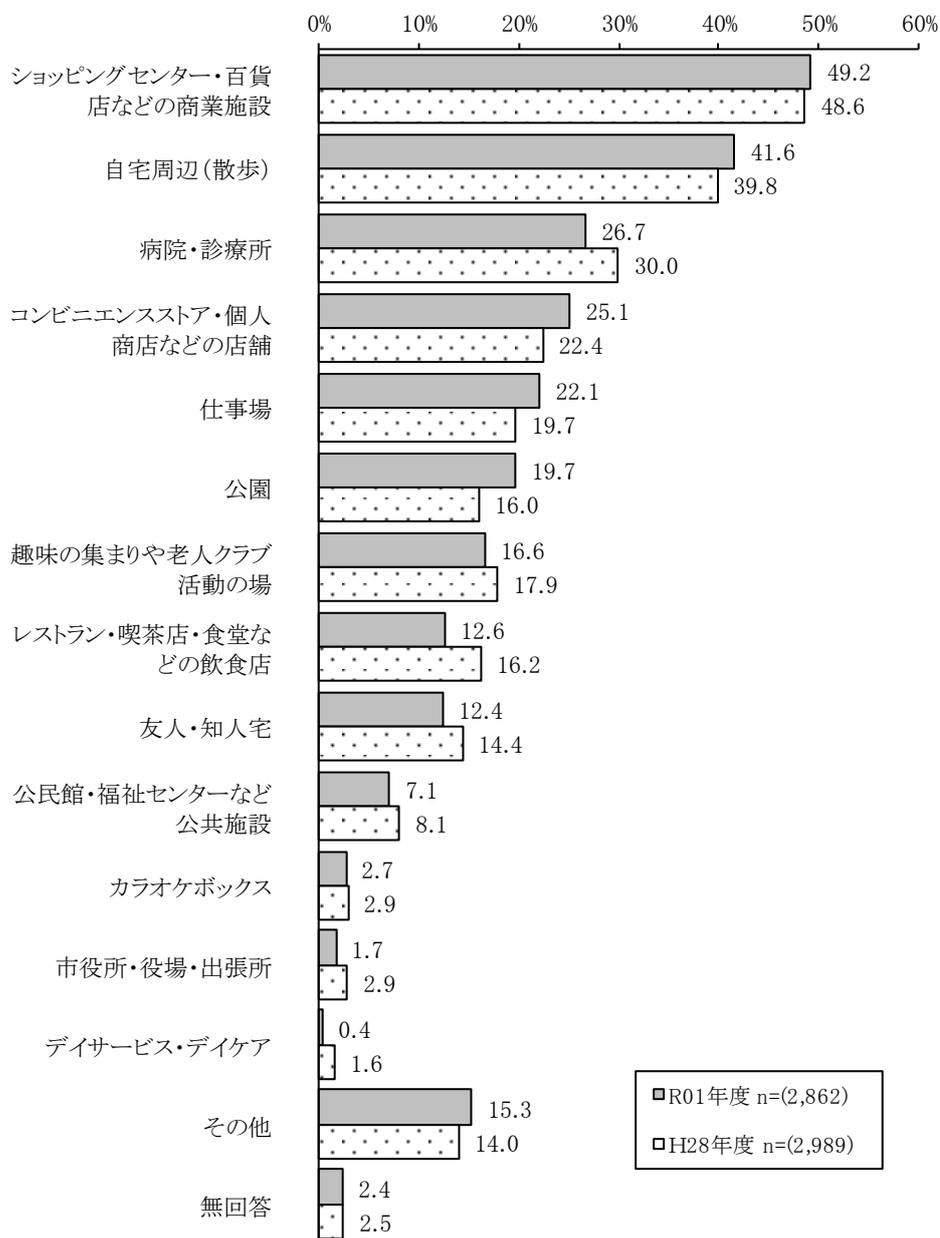
性・年代別にみると、「足腰などの痛み」は女性・85歳以上の60.5%が最も高く、次いで、女性・80～84歳(42.5%)となっている。「外での楽しみがない」は男性・85歳以上の21.1%が最も高く、いずれの年代も男性の比率は女性の比率を上回っている。

また、「経済的に出られない」は女性・70～74歳(17.4%)が最も高くなっている。

(10) よく外出する先

問2 (9) よく外出する先はどこですか。(上位3つに○)

図表3-10-1 よく外出する先 全体



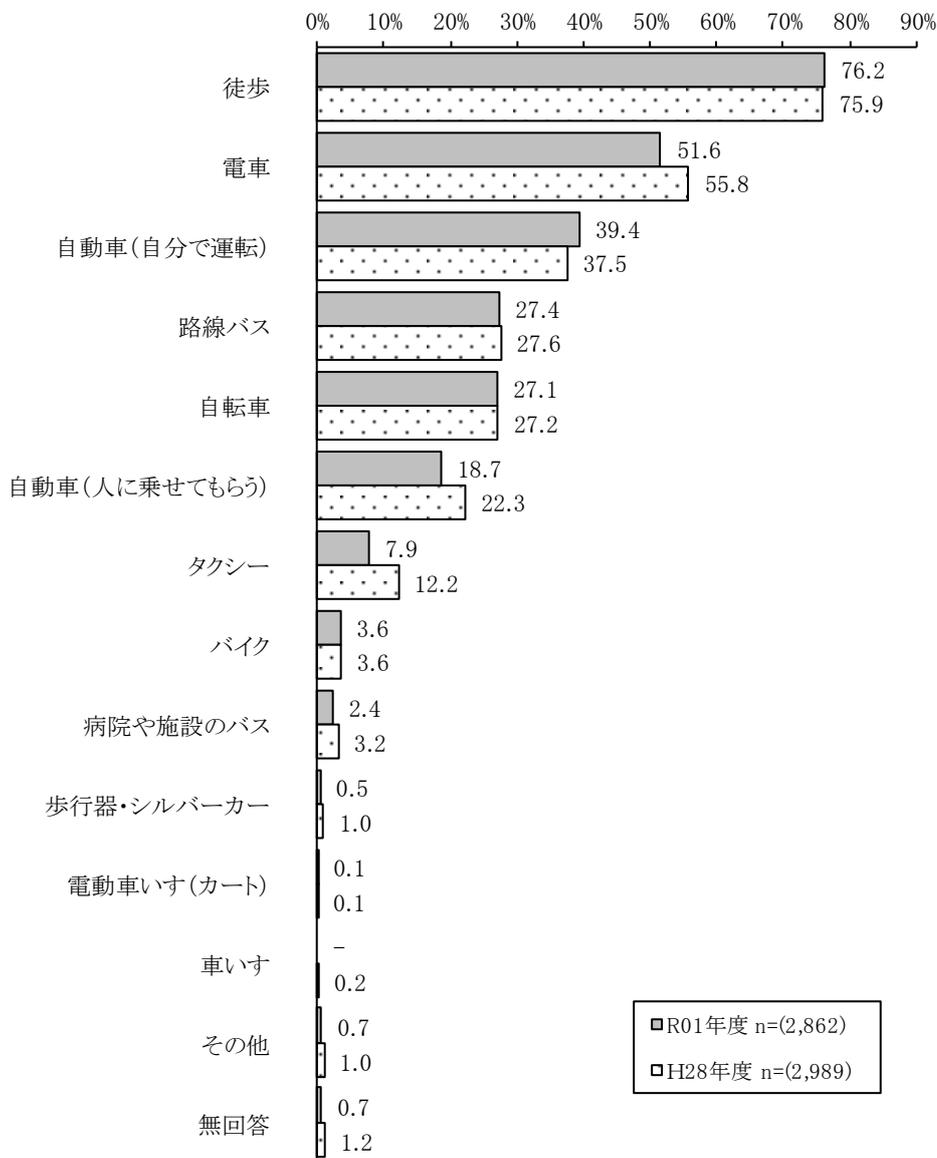
よく外出する先については、「ショッピングセンター・百貨店などの商業施設」(49.2%)が最も高かった。以下、「自宅周辺(散歩)」(41.6%)、「病院・診療所」(26.7%)、「コンビニエンスストア・個人商店などの店舗」(25.1%)となっている。

前回調査と比較すると、「レストラン・喫茶店・食堂などの飲食店」が3.6ポイント、「病院・診療所」が3.3ポイント低くなり、「公園」が3.7ポイント高くなっている。

(11) 外出する際の移動手段

問2 (10) 外出する際の移動手段は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

図表3-11-1 外出する際の移動手段 全体



外出する際の移動手段については、「徒歩」(76.2%)が最も高かった。以下、「電車」(51.6%)、「自動車(自分で運転)」(39.4%)、「路線バス」(27.4%)となっている。前回調査と比較すると、「タクシー」が4.3ポイント、「電車」が4.2ポイント低くなり、「自動車(自分で運転)」が1.9ポイント高くなっている。

図表3-11-2 外出する際の移動手段 圏域別

		(%)														
		n	徒歩	電車	自動車 (自分で運転)	路線バス	自転車	自動車 (人に乗せてもらう)	タクシー	バイク	病院や施設のバス	歩行器・シルバーカー	電動車いす (カート)	車いす	その他	無回答
圏域	全体	2862	76.2	51.6	39.4	27.4	27.1	18.7	7.9	3.6	2.4	0.5	0.1	-	0.7	0.7
	第1圏域	466	81.3	51.7	27.5	20.8	42.1	16.5	5.8	1.9	1.3	1.1	-	-	1.1	1.3
	第2圏域	474	70.7	49.8	38.6	34.8	42.8	20.0	7.8	3.0	1.9	0.6	0.2	-	0.2	0.4
	第3圏域	484	76.4	49.4	46.1	29.1	25.0	16.1	6.8	5.6	2.3	0.2	-	-	1.0	0.8
	第4圏域	479	77.0	51.6	41.1	23.2	21.3	20.9	6.3	3.3	2.7	0.4	0.2	-	0.6	0.2
	第5圏域	479	82.5	62.6	37.8	34.0	7.9	20.5	13.2	3.1	2.7	0.2	-	-	0.6	0.8
	第6圏域	477	69.6	44.7	45.3	22.2	24.1	18.0	7.5	4.6	3.4	0.6	-	-	0.6	0.8

圏域別にみると、「徒歩」は第5圏域（82.5%）が最も高く、次いで、第1圏域の81.3%となっている。「電車」は第5圏域の62.6%が最も高く、次いで第1圏域（51.7%）となっている。

また、「自動車（自分で運転）」は第3圏域（46.1%）、「路線バス」は第2圏域（34.8%）、「自転車」は第2圏域（42.8%）が最も高くなっている。

4. 食べることについて

(1) BMI

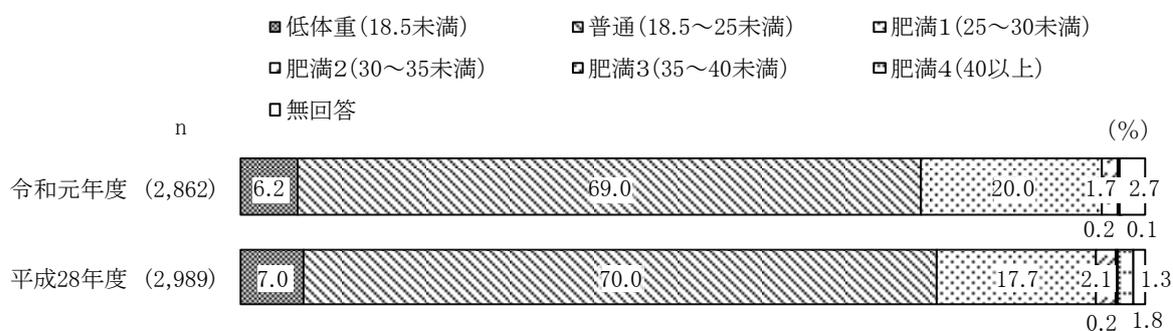
問3 (1) 身長・体重をお教えてください。(数字を記入)

身長・体重については、ヒトの肥満度を表す体格指数である以下のBMI (Body Mass Index) を使用した。

肥満の基準は国によって異なるが、日本肥満学会では以下のようにBMIが25以上の場合、肥満と定めている。

BMI	肥満度判定
18.5未満	低体重
18.5～25未満	普通体重
25～30未満	肥満(1度)
30～35未満	肥満(2度)
35～40未満	肥満(3度)
40以上	肥満(4度)

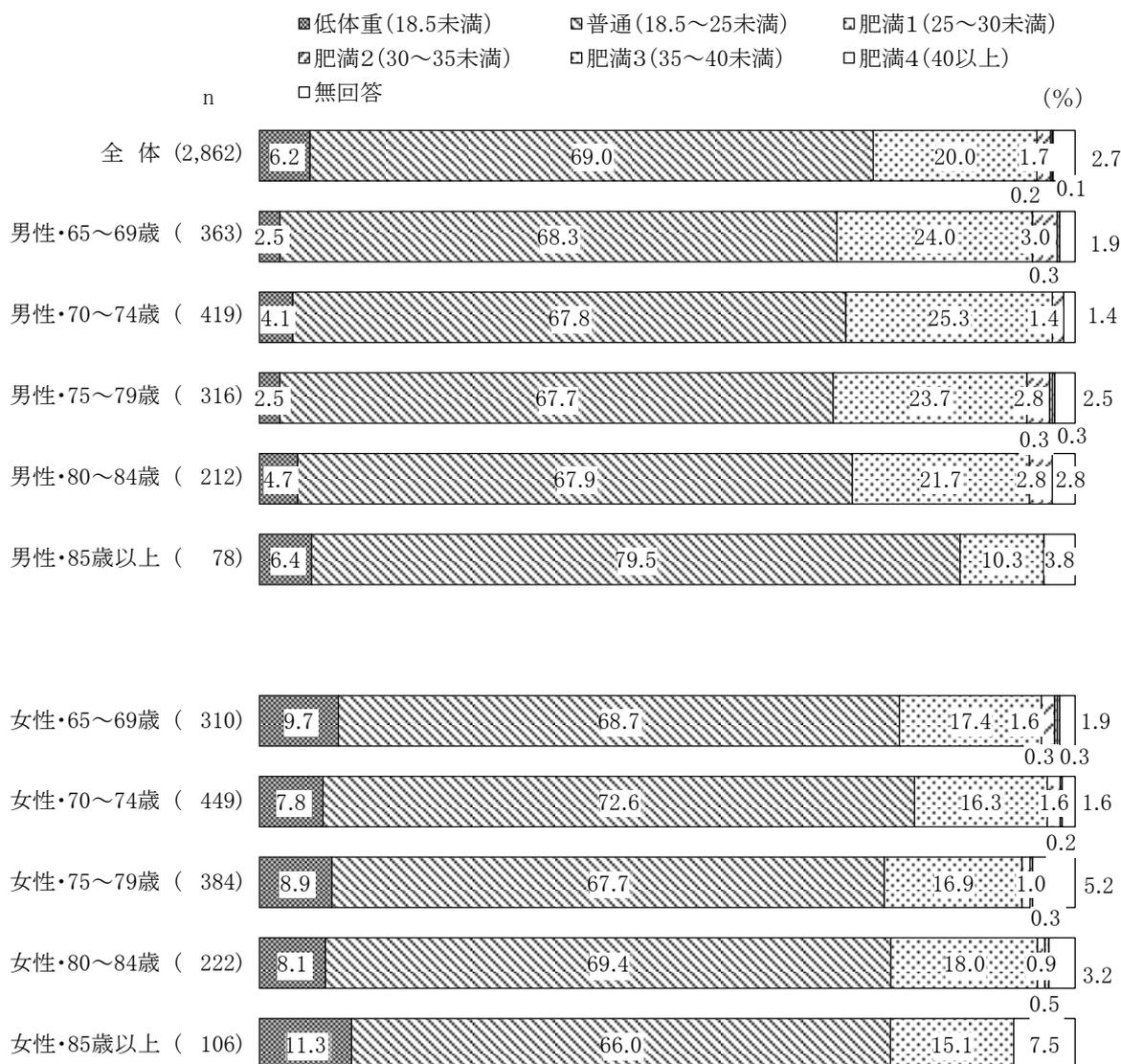
図表4-1-1 BMI 全体



BMIを計算したところ、「普通(18.5～25未満)」(69.0%)が最も高かった。次いで、「肥満1(25～30未満)」(20.0%)が高く、「肥満1」から「肥満4」までを合わせた『肥満』は22.0%になっている。

前回調査と比較すると、「普通(18.5～25未満)」が1.0ポイント低くなり、「肥満1(25～30未満)」が2.3ポイント高くなっている。

図表4-1-2 BMI 性・年齢別

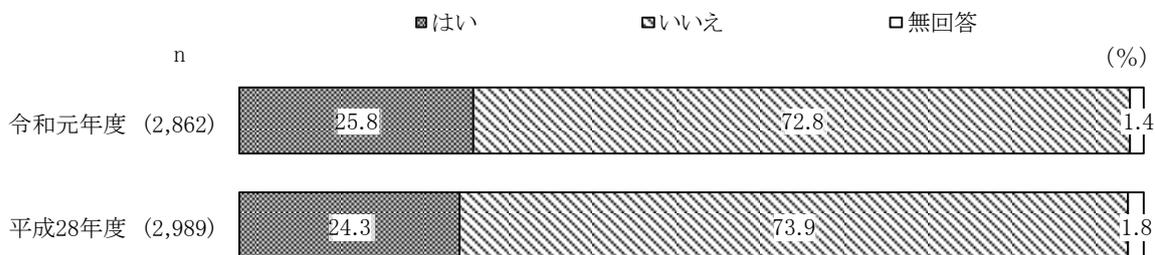


性・年齢別にみると、「低体重（18.5未満）」については、女性・85歳以上の11.3%が最も高く、いずれの年代も女性の比率は男性の比率を上回っている。一方、「肥満1」から「肥満4」までを合わせた『肥満』については、男性・65歳～69歳の27.3%が最も高くなっている。

(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなったか

問3 (2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(○は1つ)

図表4-2-1 半年前に比べて固いものが食べにくくなったか 全体



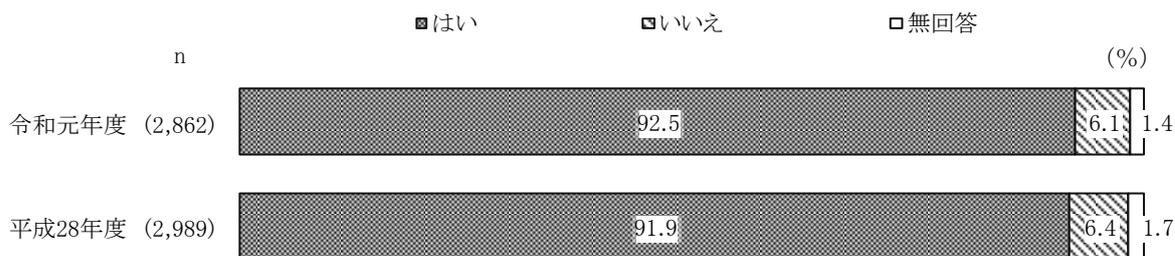
半年前に比べて固いものが食べにくくなったかについては、「いいえ」が72.8%を占めていた。一方、「はい」は25.8%となっている。

前回調査と比較すると、「いいえ」が1.1ポイント低くなり、「はい」が1.5ポイント高くなっている。

(3) 歯磨きを毎日しているか

問3 (3) 歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日していますか。(○は1つ)

図表4-3-1 毎日歯磨きをしているか 全体



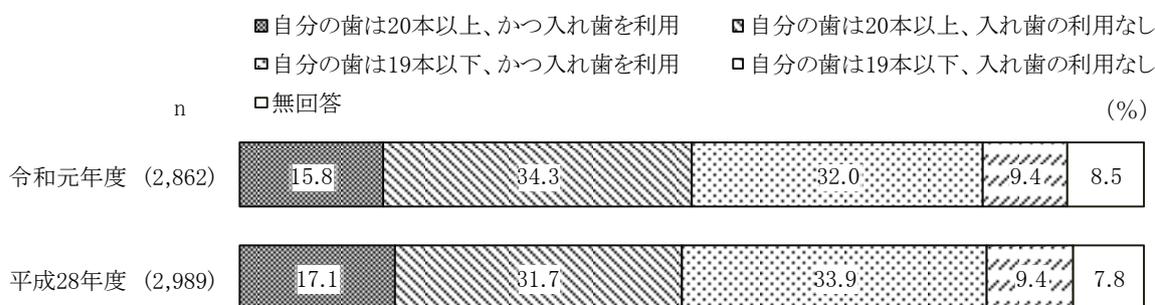
毎日歯磨きをしているかについては、「はい」が92.5%を占めていた。一方、「いいえ」は6.1%となっている。

前回調査と比較すると、「いいえ」が0.3ポイント低くなり、「はい」が0.6ポイント高くなっている。

(4) 歯の数と入れ歯の利用状況

問3 (4) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(○は1つ)
 (成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)

図表4-4-1 歯の数と入れ歯の利用状況 全体



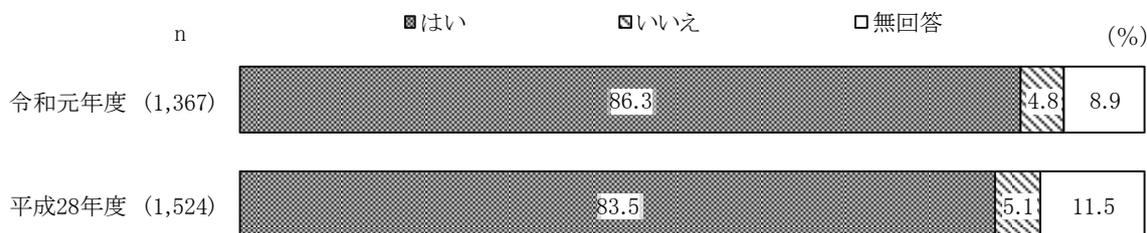
歯の数と入れ歯の利用状況については、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」(34.3%)が最も高かった。以下、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」(32.0%)、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」(15.8%)、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」(9.4%)となっている。

前回調査と比較すると、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が1.9ポイント低くなり、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が2.6ポイント高くなっている。

(5) 毎日入れ歯の手入れをしているか

【(4)で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」、「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ】
 問3 (4) ①毎日入れ歯の手入れをしていますか。(○は1つ)

図表4-5-1 毎日入れ歯の手入れをしているか 全体



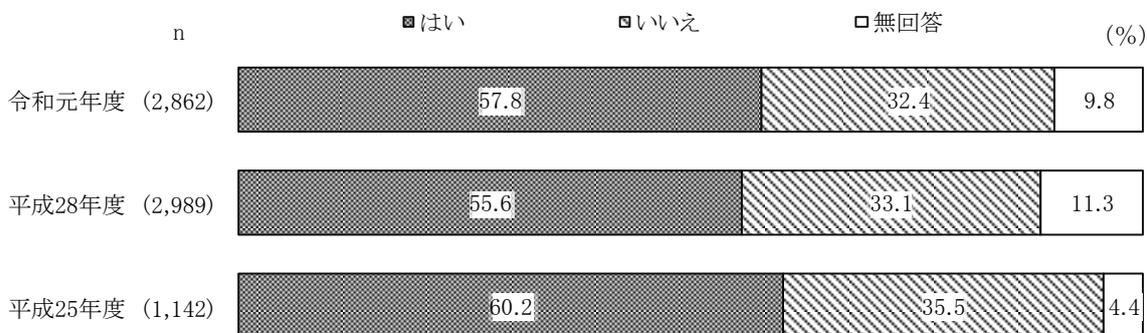
毎日入れ歯の手入れをしているかについては、「はい」が86.3%を占めていた。一方、「いいえ」は4.8%となっている。

前回調査と比較すると、「いいえ」が0.3ポイント低くなり、「はい」が2.8ポイント高くなっている。

(6) 定期健診など歯の健康に注意しているか

問3 (5) 歯科検診を定期的に受けるなど歯の健康に注意していますか。(○は1つ)

図表4-6-1 定期健康診断など歯の健康に注意しているか 全体



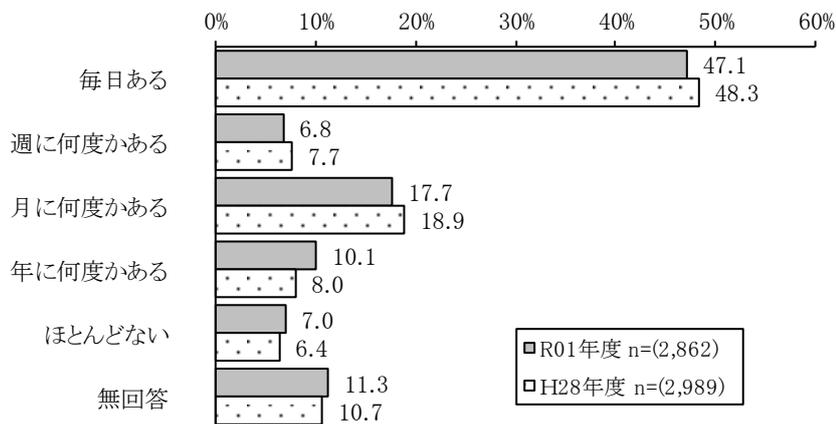
定期健康診断など歯の健康に注意しているかについては、「はい」が57.8%を占めていた。一方、「いいえ」は32.4%となっている。

前回調査と比較すると、「いいえ」が0.7ポイント低くなり、「はい」が2.2ポイント高くなっている。

(7) 誰かと食事をとる機会はあるか

問3 (6) どなたかと食事をとる機会がありますか。(○は1つ)

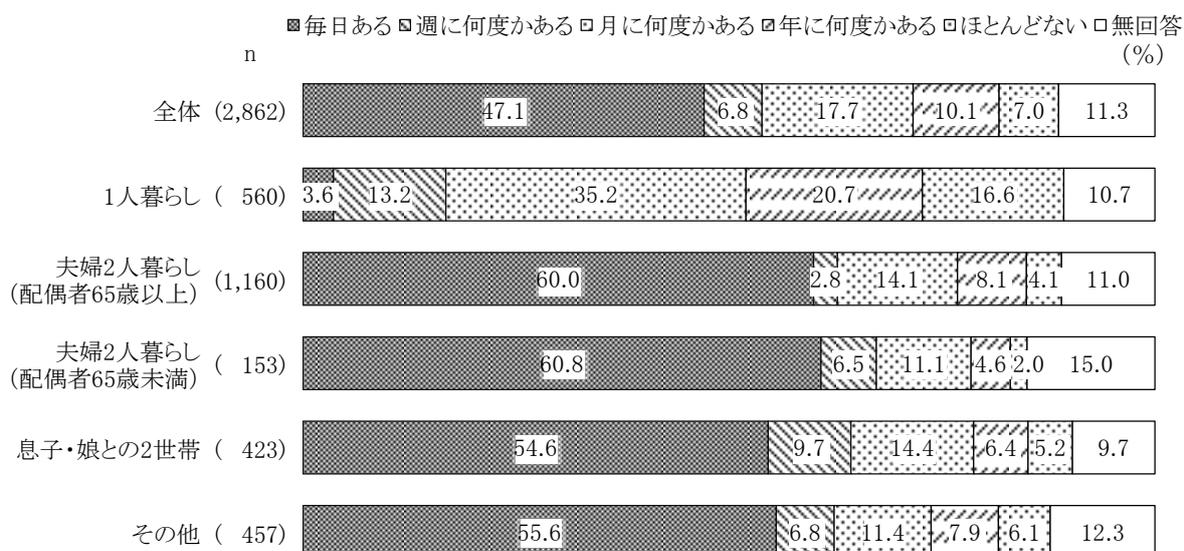
図表4-7-1 誰かと食事をとる機会はあるか 全体



誰かと食事をとる機会はあるかについては、「毎日ある」(47.1%)が最も高かった。以下、「月に何度かある」(17.7%)、「年に何度かある」(10.1%)、「ほとんどない」(7.0%)となっている。

前回調査と比較すると、「毎日ある」が1.2ポイント低くなり、「年に何度かある」が2.1ポイント高くなっている。

図表4-7-2 誰かと食事をともしる機会はあるか 家族構成別



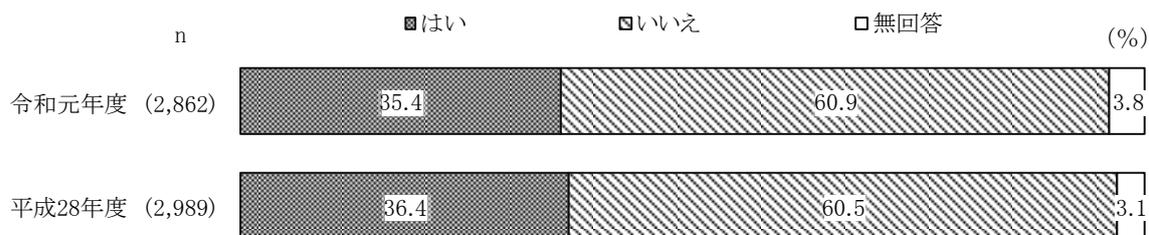
家族構成別にみると、「週に何度かある」以上の会食機会については、1人暮らしで16.8%となっている。

5. 毎日の生活について

(1) 物忘れが多いと感じるか

問4 (1) 物忘れが多いと感じますか。(○は1つ)

図表5-1-1 物忘れが多いと感じるか 全体



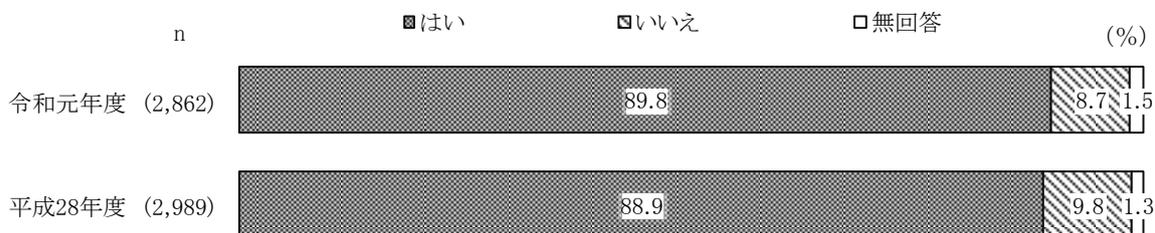
物忘れが多いと感じるかについては、「いいえ」が60.9%を占めていた。一方、「はい」は35.4%となっている。

前回調査と比較すると、「はい」が1.0ポイント低くなっている。

(2) 自分で電話番号を調べて電話をかけることをしているか

問4 (2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。(○は1つ)

図表5-2-1 自分で電話番号を調べて電話をかけることをしているか 全体



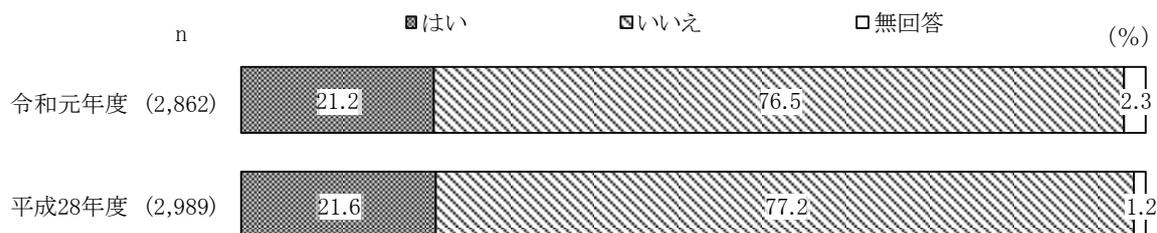
自分で電話番号を調べて電話をかけることをしているかについては、「はい」が89.8%を占めていた。一方、「いいえ」は8.7%となっている。

前回調査と比較すると、「いいえ」が1.1ポイント低くなり、「はい」が0.9ポイント高くなっている。

(3) 今日が何月何日かわからない時があるか

問4 (3) 今日が何月何日かわからない時がありますか。(○は1つ)

図表5-3-1 今日が何月何日かわからない時があるか 全体



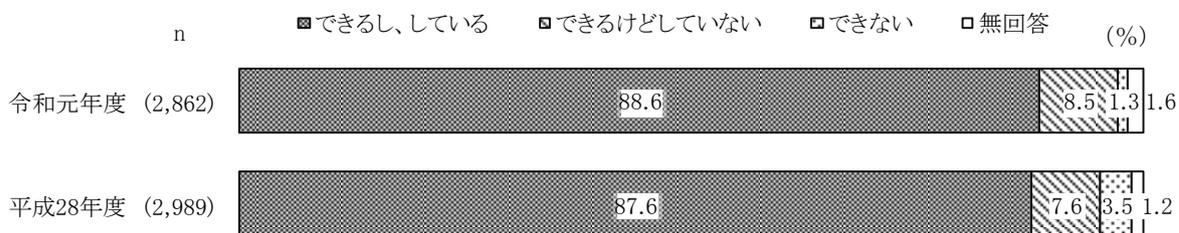
今日が何月何日かわからない時があるかについては、「いいえ」が76.5%を占めていた。一方、「はい」は21.2%となっている。

前回調査と比較すると、「いいえ」が0.7ポイント低くなっている。

(4) バスや電車を使って1人で外出しているか

問4 (4) バスや電車を使って1人で外出していますか。(○は1つ)

図表5-4-1 バスや電車を使って1人で外出しているか 全体



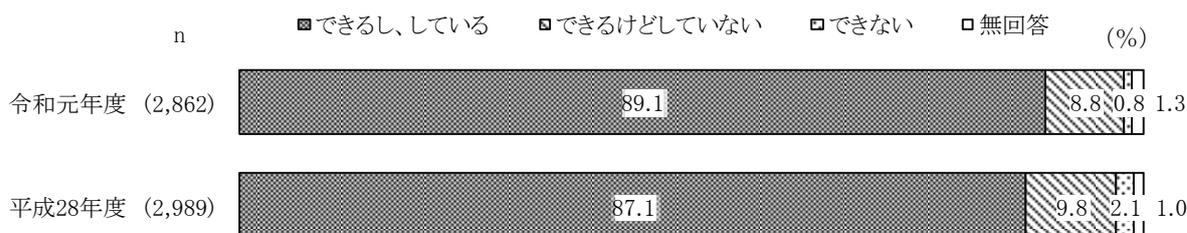
バスや電車を使って1人で外出しているかについては、「できるし、している」(88.6%)が最も高かった。以下、「できるけどしていない」(8.5%)、「できない」(1.3%)となっている。

前回調査と比較すると、「できない」が2.2ポイント低くなり、「できるし、している」が1.0ポイント高くなっている。

(5) 自分で食品・日用品の買物をしているか

問4 (5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(○は1つ)

図表5-5-1 自分で食品・日用品を買い物しているか 全体

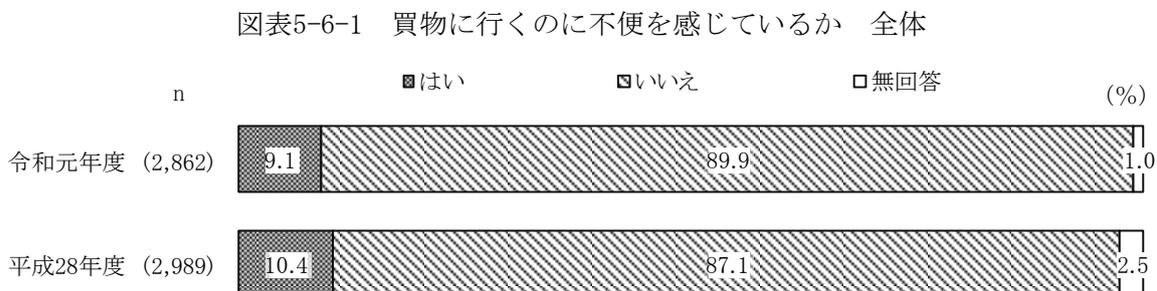


自分で食品・日用品を買い物しているかについては、「できるし、している」(89.1%)が最も高かった。以下、「できるけどしていない」(8.8%)、「できない」(0.8%)となっている。

前回調査と比較すると、「できない」が1.3ポイント低くなり、「できるし、している」が2.0ポイント高くなっている。

(6) 買物に行くのに不便を感じているか

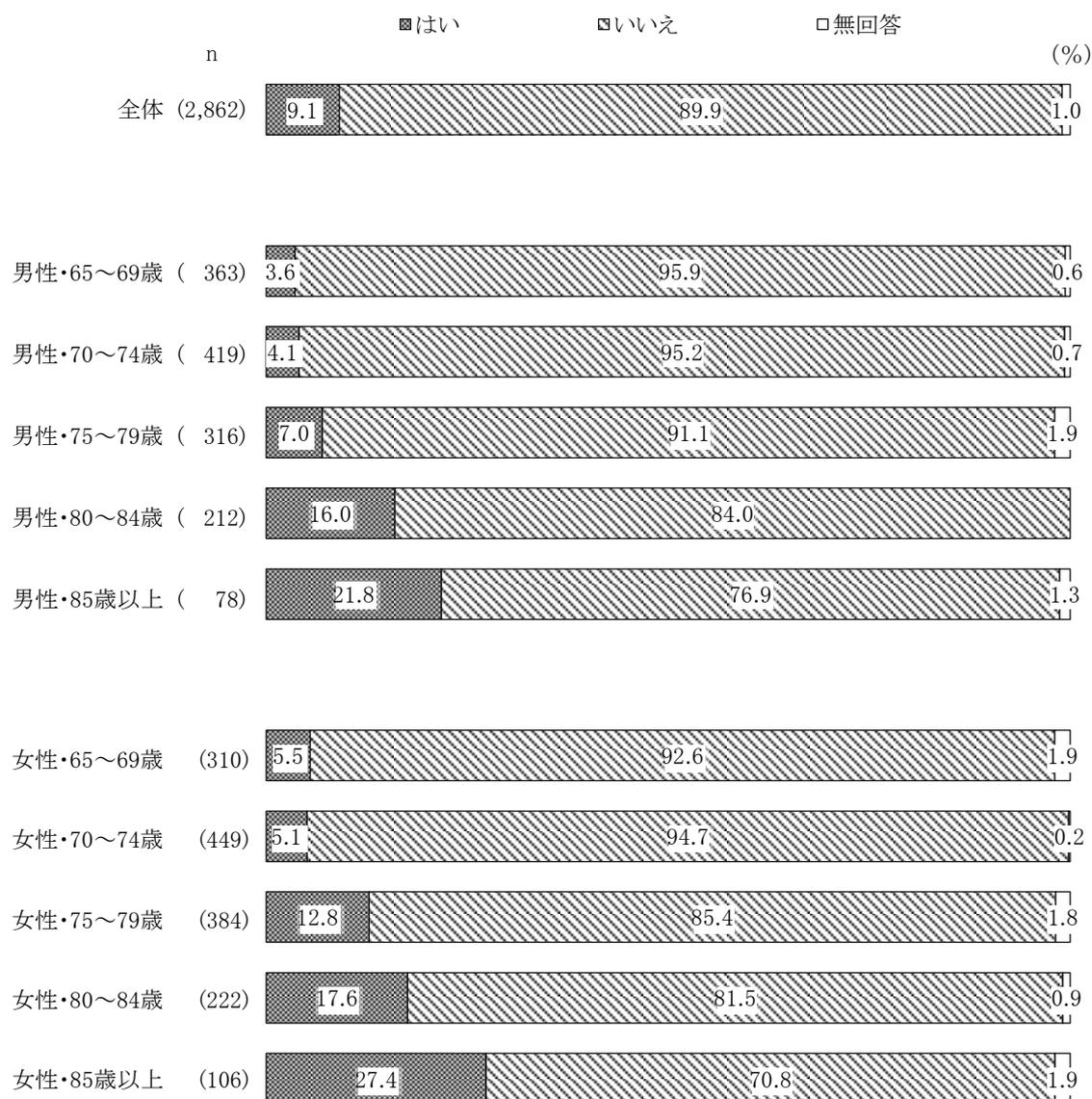
問4 (6) 買物に行くのに不便を感じていますか。(○は1つ)



買物に行くのに不便を感じているかについては、「いいえ」が89.9%を占めていた。一方、「はい」は9.1%となっている。

前回調査と比較すると、「はい」が1.3ポイント低くなり、「いいえ」が2.8ポイント高くなっている。

図表5-6-2 買物に行くのに不便を感じているか 性・年齢別



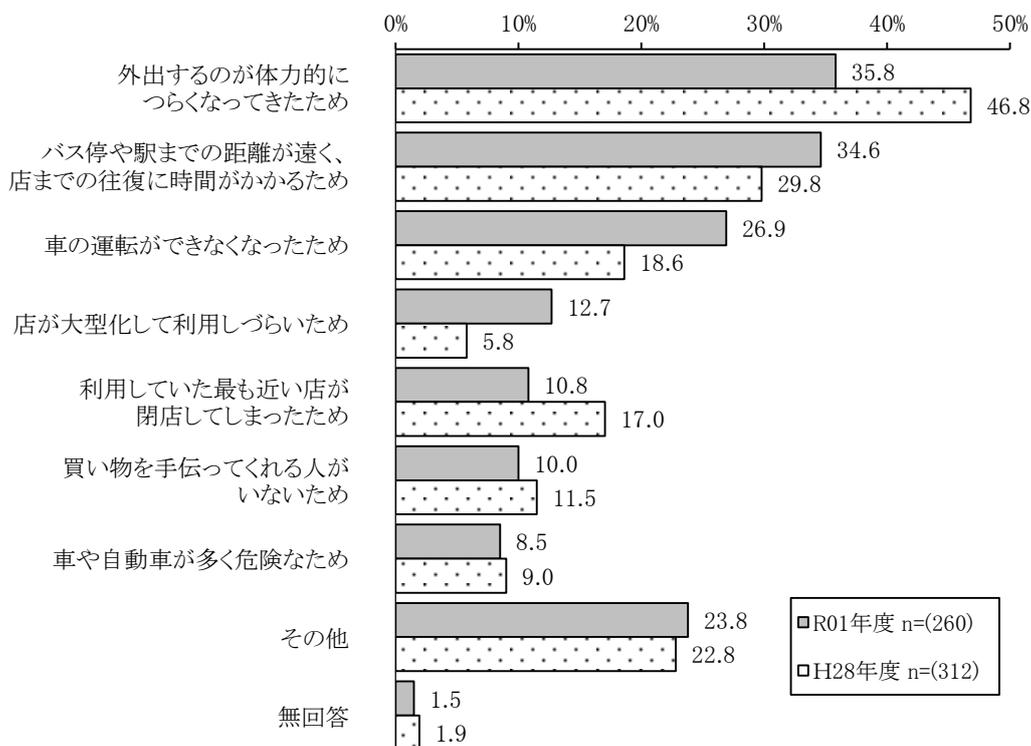
性・年齢別にみると、「はい」については、女性・85歳以上の27.4%が最も高く、いずれの年代も女性の比率は男性の比率を上回っている。

(7) 買物に不便を感じている理由

【(6)で「1. はい」と回答の方のみ】

問4 (6) ①買物に不便を感じる理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

図表5-7-1 買物に不便を感じている理由 全体



買物に不便を感じている理由については、「外出するのが体力的につらくなってきたため」(35.8%)が最も高かった。以下、「バス停や駅までの距離が遠く、店までの往復に時間がかかるため」(34.6%)、「車の運転ができなくなったため」(26.9%)、「店が大型化して利用しづらいため」(12.7%)となっている。

前回調査と比較すると、「外出するのが体力的につらくなってきたため」が11.0ポイント、「利用していた最も近い店が閉店してしまったため」が6.2ポイント低くなり、「車の運転ができなくなったため」が8.3ポイント高くなっている。

図表5-7-2 買物に不便を感じている理由 圏域別

		(%)									
		全 体	外 出 す る の が 体 力 的 に つ ら く な っ て き た た め	バ ス 停 や 駅 ま で の 距 離 が 遠 く 、 店 ま で の 往 復 に 時 間 が か か る た め	車 の 運 転 が で き な く な っ た た め	店 が 大 型 化 し て 利 用 し づ ら い た め	利 用 し て い た 最 も 近 い 店 が 閉 店 し て し ま っ た た め	買 い 物 を 手 伝 っ て く れ る 人 が い な い た め	車 や 自 動 車 が 多 く 危 険 な た め	そ の 他	無 回 答
			圏 域	全 体	260	35.8	34.6	26.9	12.7	10.8	10.0
第1圏域	38	23.7		26.3	26.3	26.3	21.1	5.3	15.8	28.9	-
第2圏域	36	44.4		36.1	22.2	16.7	8.3	8.3	11.1	16.7	2.8
第3圏域	42	26.2		45.2	21.4	7.1	4.8	9.5	4.8	23.8	2.4
第4圏域	36	44.4		38.9	33.3	11.1	8.3	8.3	8.3	2.8	-
第5圏域	58	39.7		22.4	25.9	3.4	12.1	12.1	8.6	32.8	3.4
第6圏域	50	36.0		42.0	32.0	16.0	10.0	14.0	4.0	30.0	-

圏域別にみると、「外出するのが体力的につらくなってきたため」は第2圏域・第4圏域が44.4%で最も高く、次いで、第5圏域（39.7%）となっている。「バス停や駅までの距離が遠く、店までの往復に時間がかかるため」は第3域が45.2%で最も高く、次いで、第6圏域（42.0%）となっている。

また、「車の運転ができなくなったため」は第4圏域（33.3%）、「店が大型化して利用しづらいため」は第1圏域（26.3%）、「利用していた最も近い店が閉店してしまったため」第1圏域（21.1%）が最も高くなっている。

第2章 日常生活圏域ニーズ調査

図表5-7-3 買物に不便を感じている理由 性別・年齢別

		(%)														
		全 体	外 出 す る の が 体 力 的 に つ ら く な っ て き た た め	に 時 間 が か か る た め	が 遠 く 、 店 ま で の 往 復 距 離	バ ス 停 や 駅 ま で の 距 離	車 の 運 転 が で き な く な っ た た め	利 用 し づ ら い た め	店 が 大 型 化 し て 利 用 し づ ら い た め	た め 店 が 閉 店 し て し ま っ た た め	利 用 し づ ら い た め 最 も 近 い 店 が 閉 店 し て し ま っ た た め	買 い 物 を 手 伝 っ て く れ る 人 が い な い た め	車 や 自 動 車 が 多 く 危 険 な た め	そ の 他	無 回 答	
			性 ・ 年 齢	全 体	260	35.8	34.6	26.9	12.7	10.8	10.0	8.5	23.8	1.5		
男性・65～69歳	13	30.8		15.4	15.4	15.4	15.4	-	-	15.4	7.7					
男性・70～74歳	17	29.4		35.3	35.3	11.8	5.9	-	-	29.4	-					
男性・75～79歳	22	40.9		18.2	31.8	27.3	4.5	-	18.2	22.7	-					
男性・80～84歳	34	44.1		35.3	52.9	5.9	8.8	5.9	17.6	17.6	-					
男性・85歳以上	17	35.3		35.3	58.8	17.6	17.6	23.5	17.6	23.5	5.9					
女性・65～69歳	17	23.5		29.4	23.5	17.6	5.9	23.5	17.6	35.3	-					
女性・70～74歳	23	26.1		34.8	17.4	13.0	8.7	8.7	-	30.4	-					
女性・75～79歳	49	22.4		51.0	22.4	12.2	16.3	16.3	4.1	24.5	2.0					
女性・80～84歳	39	48.7		35.9	12.8	10.3	12.8	12.8	2.6	28.2	-					
女性・85歳以上	29	48.3		27.6	10.3	6.9	6.9	3.4	10.3	13.8	3.4					

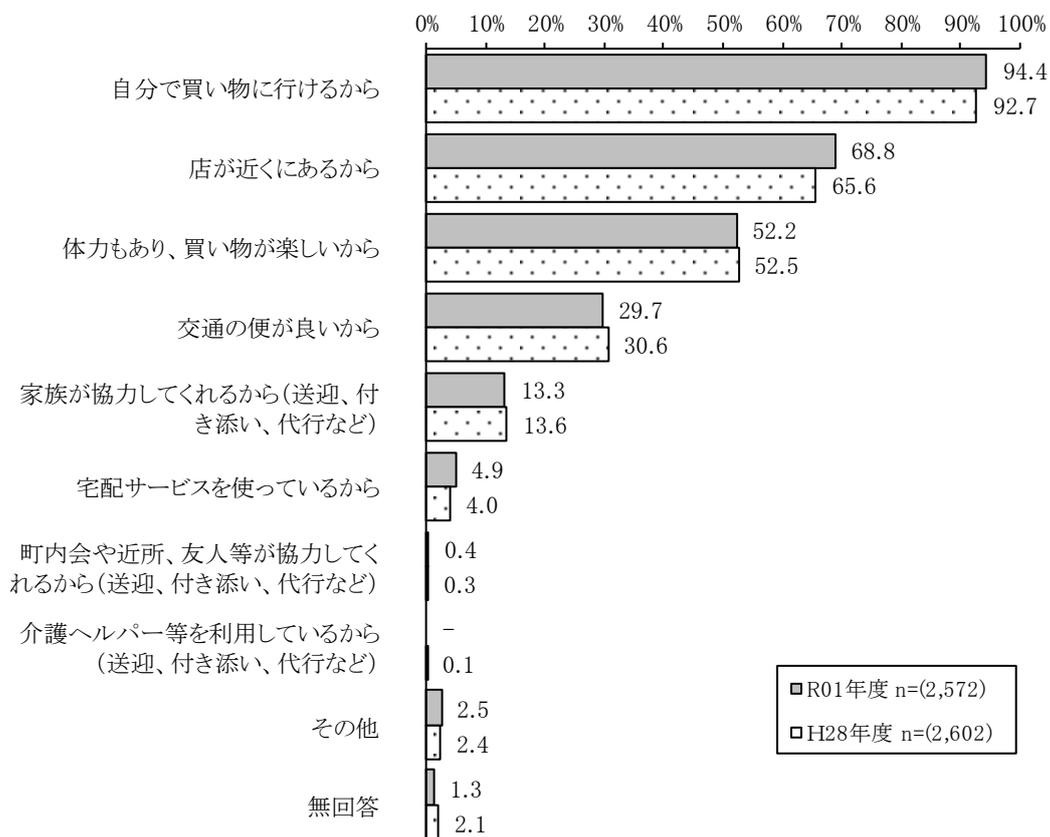
一部基数が少ないため、参考として掲載。

(8) 買物に不便を感じない理由

【(6) で「2. いいえ」と回答の方のみ】

問4 (6) ②買物に不便を感じない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

図表5-8-1 買物に不便を感じない理由 全体



買物に不便を感じない理由については、「自分で買い物に行けるから」(94.4%)が最も高かった。以下、「店が近くにあるから」(68.8%)、「体力もあり、買い物が楽しいから」(52.2%)、「交通の便が良いから」(29.7%)となっている。

前回調査と比較すると、「交通の便が良いから」が0.9ポイント低くなり、「店が近くにあるから」が3.2ポイント高くなっている。

第2章 日常生活圏域ニーズ調査

図表5-8-2 買物に不便を感じない理由 圏域別

		(%)										
	全体	自分で買い物に行けるから	店が近くにあるから	体力もあり、買い物を楽しいから	交通の便が良いから	家族が協力してくれるから (送迎、付き添い、代行など)	宅配サービスを使っているから	町内会や近所、友人等が協力してくれるから (送迎、付き添い、代行など)	介護ヘルパー等を利用しているから (送迎、付き添い、代行など)	その他	無回答	
圏域	全体	2572	94.4	68.8	52.2	29.7	13.3	4.9	0.4	-	2.5	1.3
	第1圏域	420	94.5	80.2	54.0	34.3	11.7	5.5	-	-	1.0	2.6
	第2圏域	436	95.4	79.1	50.9	35.1	13.3	4.4	0.9	-	2.3	0.5
	第3圏域	435	94.7	59.8	54.5	25.3	10.6	3.0	0.2	-	3.0	1.1
	第4圏域	438	93.6	66.0	52.3	30.1	14.6	6.4	0.7	-	3.2	1.1
	第5圏域	417	95.7	72.7	56.4	30.5	13.2	5.8	-	-	3.6	1.2
	第6圏域	423	92.4	55.3	45.6	23.2	15.8	4.5	0.7	-	2.1	1.4

圏域別にみると、「自分で買い物に行けるから」は第5圏域の95.7%が最も高く、次いで、第2圏域(95.4%)となっている。「店が近くにあるから」は第1圏域の80.2%が最も高く、次いで、第2圏域(79.1%)となっている。

また、「交通の便が良いから」は第2圏域(35.1%)が最も高くなっている。

図表5-8-3 買物に不便を感じない理由 性・年齢別

		(%)										
		全体	自分で買い物に行けるから	店が近くにあるから	体力もあり、買い物を楽しんでいるから	交通の便が良いから	家族が協力してくれるから (送迎、付き添い、代行など)	宅配サービスを使っているから	町内会や近所、友人等が協力してくれるから (送迎、付き添い、付き添い、代行など)	介護ヘルパー等を利用しているから (送迎、付き添い、代行など)	その他	無回答
性・年齢	全体	2572	94.4	68.8	52.2	29.7	13.3	4.9	0.4	-	2.5	1.3
	男性・65～69歳	348	96.3	67.0	45.7	25.9	3.2	1.1	-	-	2.3	1.1
	男性・70～74歳	399	95.2	68.2	47.1	25.3	3.0	2.5	0.3	-	1.8	1.5
	男性・75～79歳	288	94.8	67.7	49.3	29.2	7.3	1.0	-	-	3.8	1.0
	男性・80～84歳	178	86.5	59.6	41.0	23.6	6.2	2.8	0.6	-	3.9	2.2
	男性・85歳以上	60	93.3	68.3	50.0	30.0	11.7	-	-	-	1.7	5.0
	女性・65～69歳	287	96.9	71.4	60.3	30.7	17.1	7.3	0.7	-	0.7	1.0
	女性・70～74歳	425	97.4	73.2	62.8	34.1	21.4	9.2	0.7	-	2.6	0.2
	女性・75～79歳	328	94.2	74.4	57.9	37.5	21.3	7.0	-	-	3.4	0.6
	女性・80～84歳	181	90.6	64.6	49.7	29.8	22.1	7.7	1.7	-	2.2	3.3
	女性・85歳以上	75	82.7	58.7	41.3	25.3	36.0	9.3	1.3	-	4.0	2.7

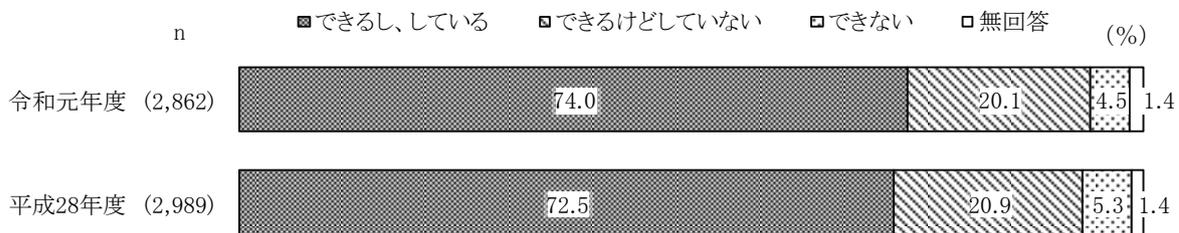
性・年齢別にみると、「自分で買い物に行けるから」は女性・70～74歳の97.4%が最も高く、次いで女性・65～69歳(96.9%)となっている。

また、「体力もあり、買い物を楽しんでいるから」は女性・70～74歳(62.8%)、「家族が協力してくれるから(送迎、付き添い、代行など)」は女性・85歳以上(36.0%)が最も高くなっている。

(9) 自分で食事の用意をしているか

問4 (7) 自分で食事の用意をしていますか。(○は1つ)

図表5-9-1 自分で食事の用意をしているか 全体



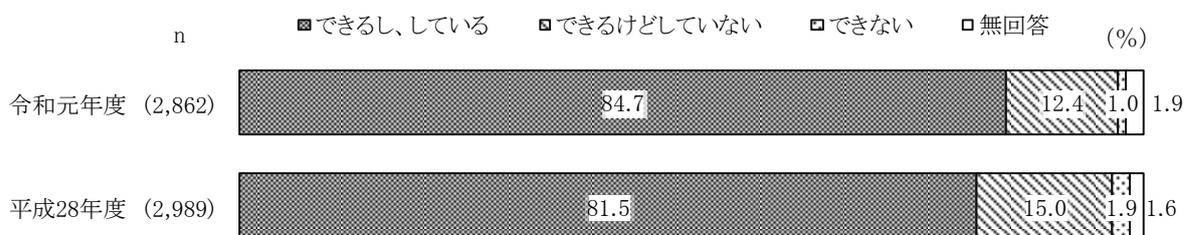
自分で食事の用意をしているかについては、「できるし、している」(74.0%)が最も高かった。以下、「できるけどしていない」(20.1%)、「できない」(4.5%)となっている。

前回調査と比較すると、「できるけどしていない」が0.8ポイント低くなり、「できるし、している」が1.5ポイント高くなっている。

(10) 自分で請求書の支払いをしているか

問4 (8) 自分で請求書の支払いをしていますか。(○は1つ)

図表5-10-1 自分で請求書の支払いをしているか 全体



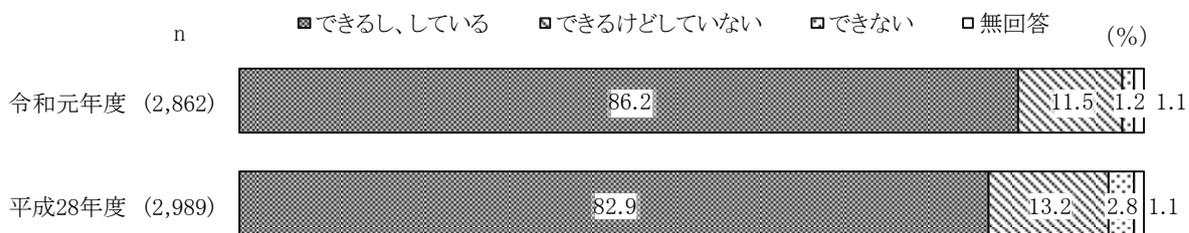
自分で請求書の支払いをしているかについては、「できるし、している」(84.7%)が最も高かった。以下、「できるけどしていない」(12.4%)、「できない」(1.0%)となっている。

前回調査と比較すると、「できるけどしていない」が2.6ポイント低くなり、「できるし、している」が3.2ポイント高くなっている。

(11) 自分で預貯金の出し入れをしているか

問4 (9) 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(○は1つ)

図表5-11-1 自分で預貯金の出し入れをしているか 全体



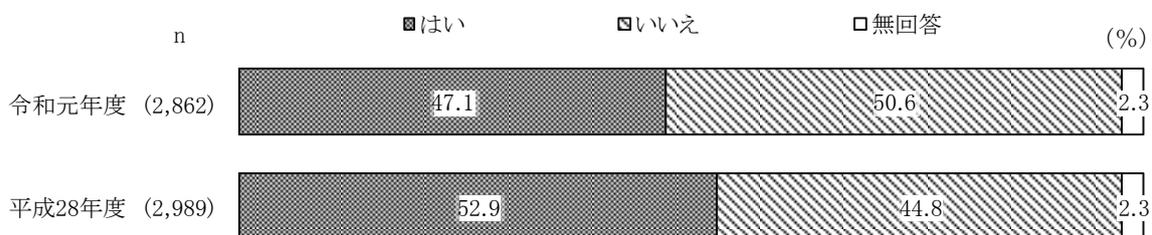
自分で預貯金の出し入れをしているかについては、「できるし、している」(86.2%)が最も高かった。以下、「できるけどしていない」(11.5%)、「できない」(1.2%)となっている。

前回調査と比較すると、「できるけどしていない」が1.7ポイント低くなり、「できるし、している」が3.3ポイント高くなっている。

(12) 友人の家を訪ねているか

問4 (10) 友人の家を訪ねていますか。(○は1つ)

図表5-12-1 友人の家を訪ねているか 全体



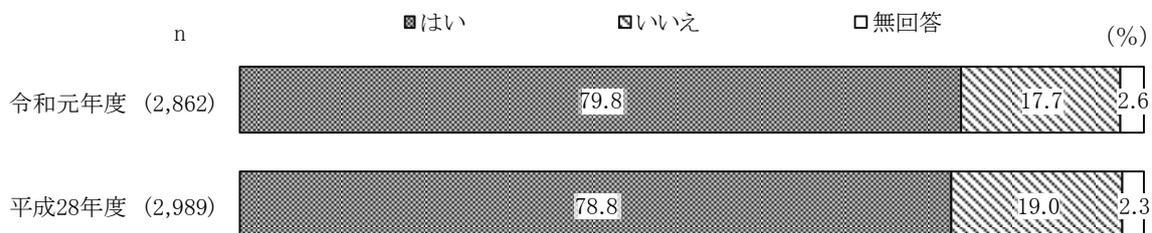
友人の家を訪ねているかについては、「いいえ」が50.6%を占めていた。一方、「はい」は47.1%となっている。

前回調査と比較すると、「はい」が5.8ポイント低くなり、「いいえ」が5.8ポイント高くなっている。

(13) 家族や友人の相談に乗っているか

問4 (11) 家族や友人の相談に乗っていますか。(○は1つ)

図表5-13-1 家族や友人の相談に乗っているか 全体



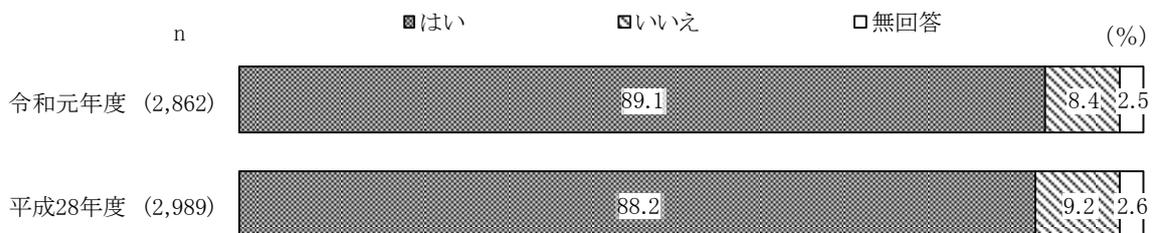
家族や友人の相談に乗っているかについては、「はい」が79.8%を占めていた。一方、「いいえ」は17.7%となっている。

前回調査と比較すると、「いいえ」が1.3ポイント低くなり、「はい」が1.0ポイント高くなっている。

(14) 病人のお見舞いができるか

問4 (12) 病人を見舞うことができますか。(○は1つ)

図表5-14-1 病人のお見舞いができるか 全体



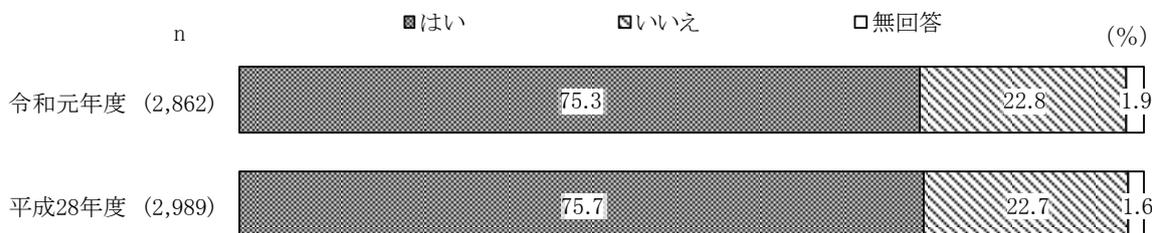
病人のお見舞いができるかについては、「はい」が89.1%を占めていた。一方、「いいえ」は8.4%となっている。

前回調査と比較すると、「いいえ」が0.8ポイント低くなり、「はい」が0.9ポイント高くなっている。

(15) 若い人に自分から話しかけることはあるか

問4 (13) 若い人に自分から話しかけることがありますか。(○は1つ)

図表5-15-1 若い人に自分から話しかけることはあるか 全体



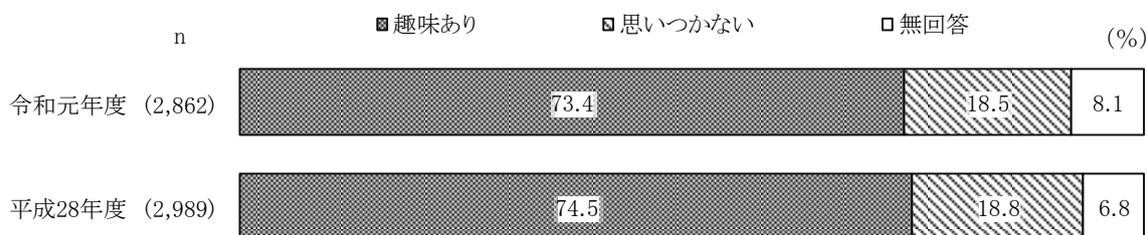
若い人に自分から話しかけることはあるかについては、「はい」が75.3%を占めていた。一方、「いいえ」は22.8%となっている。

前回調査と比較すると、「はい」が0.4ポイント低くなり、「いいえ」が0.1ポイント高くなっている。

(16) 趣味

問4 (14) 趣味はありますか。趣味がある場合は、教えてください。(○は1つ)

図表5-16-1 趣味 全体



趣味については、「趣味あり」が73.4%を占めていた。一方、「思いつかない」は18.5%となっている。

前回調査と比較すると、「趣味あり」が1.1ポイント低くなっている。

第2章 日常生活圏域ニーズ調査

図表5-16-2 具体的な趣味の内容 全体

n = 2006 延べ回答数 = 3108 (件)

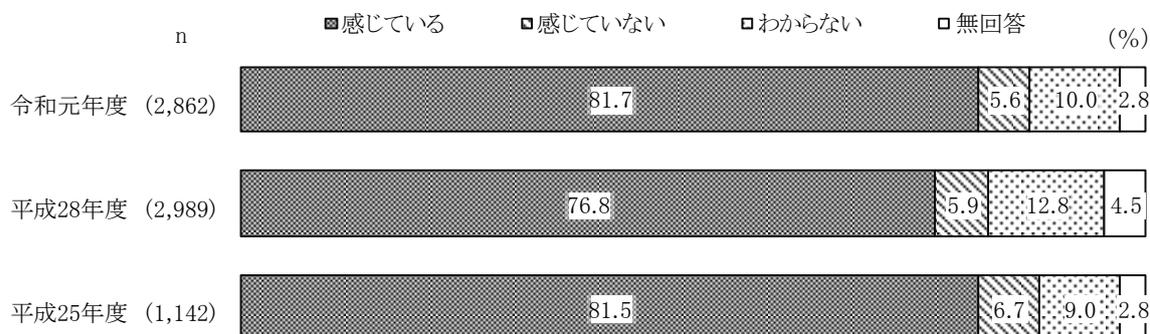
スポーツ (ゴルフ、ジョギング等)	音楽 (楽器演奏、カラオケ、合唱等)	園芸 (ガーデニング、盆栽、農作業等)	行楽・散策 (旅行、散歩、山登り等)	読書	手芸 (洋裁、和裁、編み物等)	鑑賞 (映画、演劇、スポーツ観戦等)	文芸 (絵画、絵手紙、俳句等)	ゲーム (将棋、囲碁、麻雀等)	機械類 (パソコン、カメラ等)	舞踊 (ダンス、日本舞踊等)	芸道 (茶道、生け花、書道等)	日曜大工・工作	家事 (料理、掃除、洗濯等)	語学	その他
516	347	326	293	283	258	177	172	165	104	78	77	57	50	17	188

具体的な趣味の内容については、延べ 3108 件の回答があった。「スポーツ (ゴルフ、ジョギング等)」が 516 件で最も高く、以下、「音楽 (楽器演奏、カラオケ、合唱等)」(347 件)、「園芸 (ガーデニング、盆栽、農作業等)」(326 件)となっている。

(17) 生きがいを感じているか

問4 (15) あなたは生きがいを感じていますか (生活の支えとなるものがありますか)。
(○は1つ)

図表5-17-1 生きがいを感じているか 全体



生きがいを感じているかについては、「感じている」が81.7%を占めていた。一方、「感じていない」は5.6%となっている。

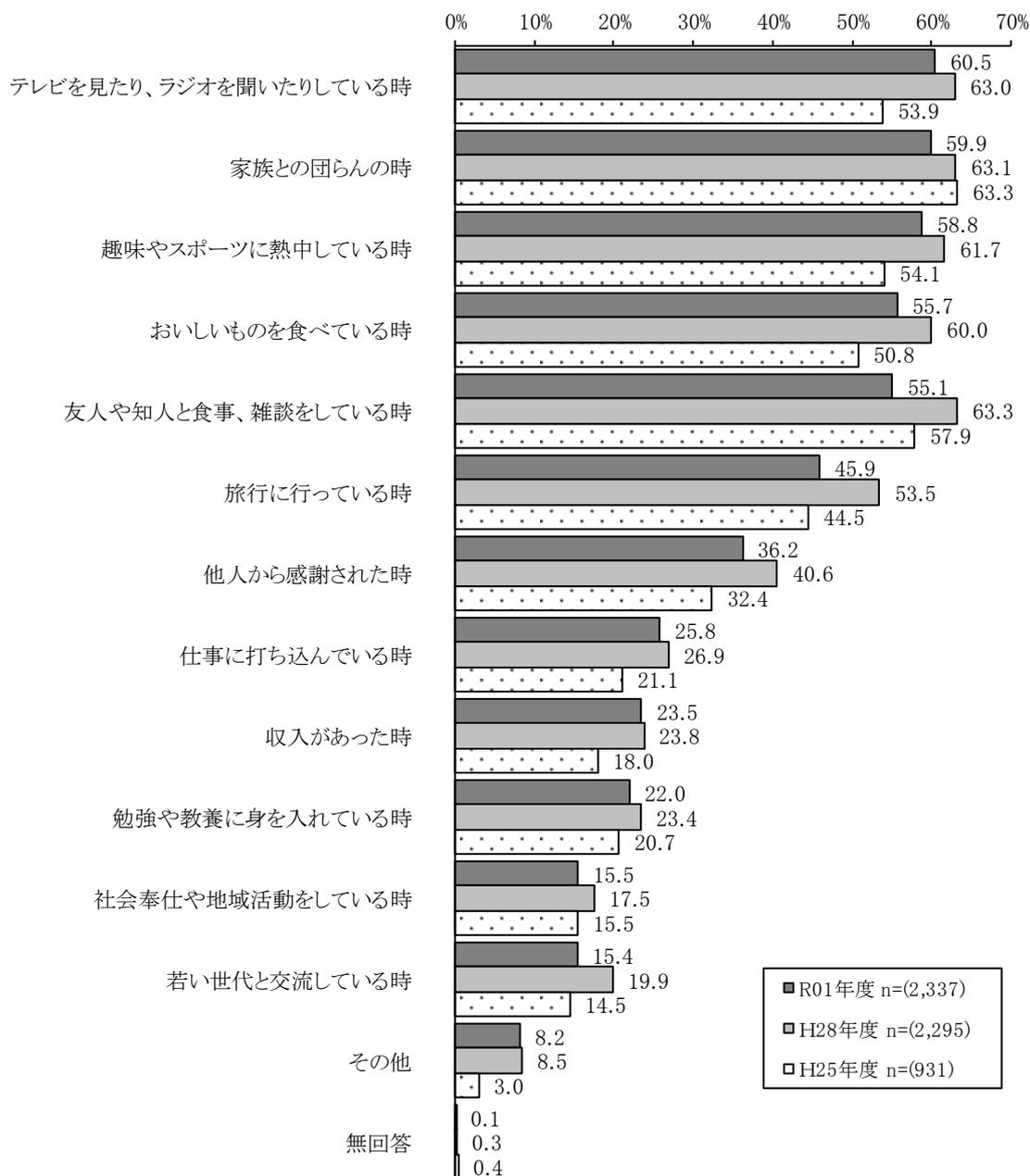
前回調査と比較すると、「わからない」が2.8ポイント低くなり、「感じている」が4.9ポイント高くなっている。

(18) 生きがいの内容

【(15) で「1. 感じている」と回答した方のみ】

問4 (15) ①どのようなことに生きがいを感じますか。(あてはまるものすべてに○)

図表5-18-1 生きがいの内容 全体



生きがいの内容については、「テレビを見たり、ラジオを聞いたりしている時」(60.5%)が最も高かった。以下、「家族との団らんの時」(59.9%)、「趣味やスポーツに熱中している時」(58.8%)、「おいしいものを食べている時」(55.7%)となっている。

前回調査と比較すると、「友人や知人と食事、雑談をしている時」が8.2ポイント、「旅行に行っている時」が7.6ポイント低くなっている。

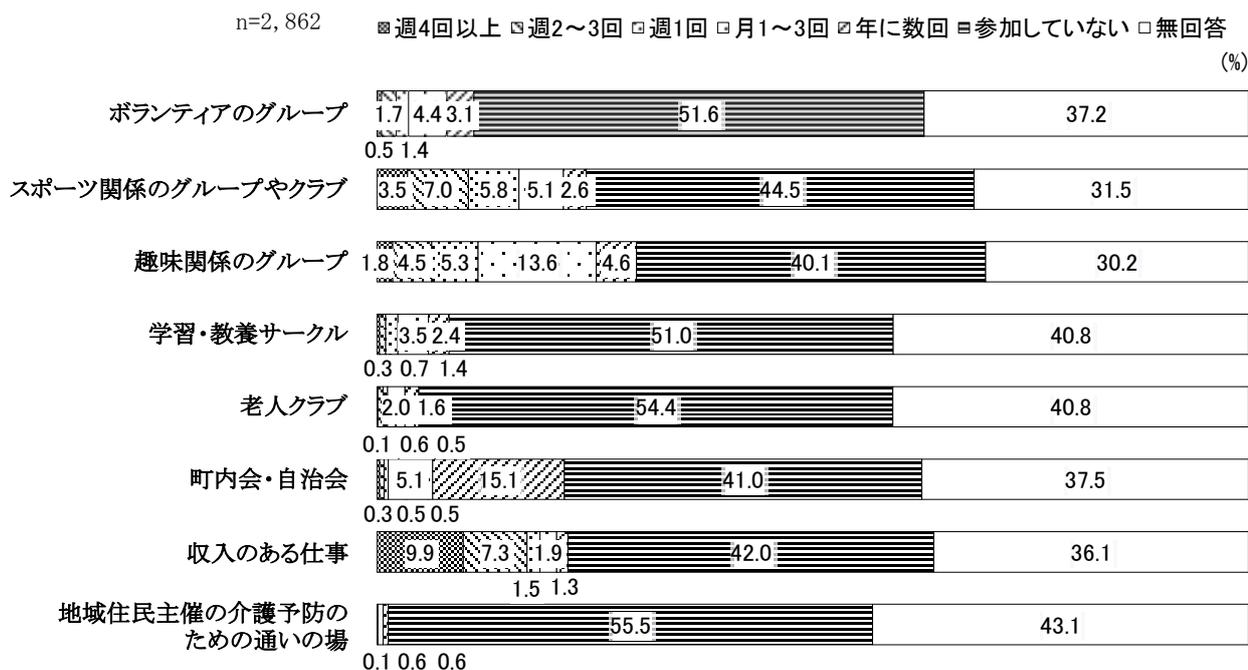
6. 地域での活動について

(1) 地域での活動（会・グループ等）への参加頻度

問5 (1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

※① - ⑧それぞれに回答してください。(〇は1つずつ)

図表6-1-1 地域での活動（会・グループ等）への参加頻度 全体

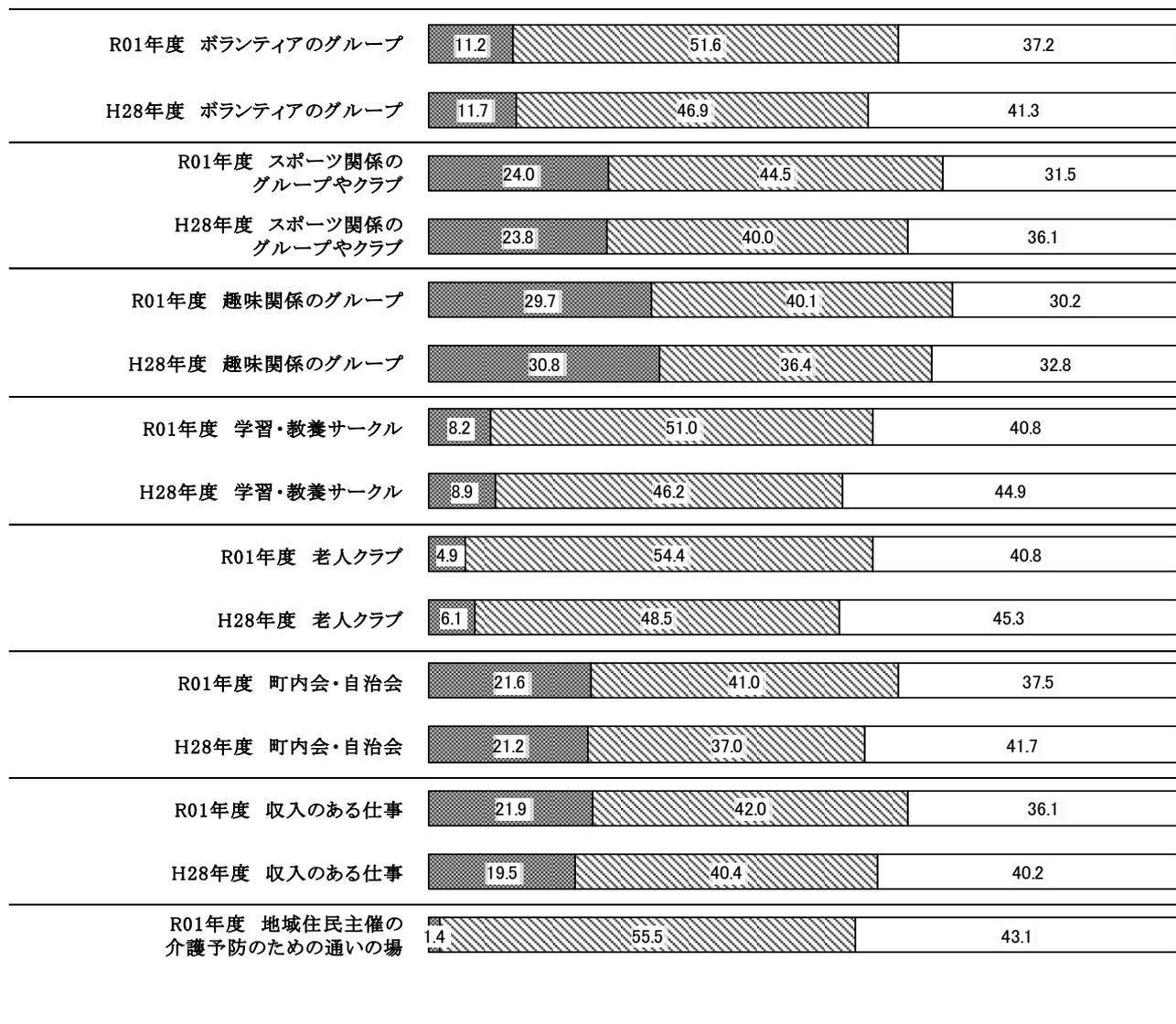


地域での活動（会・グループ等）への参加頻度については、「年に数回」以上『参加している』と回答した割合の高い項目が、「趣味関係のグループ」（29.8%）、「スポーツ関係のグループやクラブ」（24.0%）、「収入のある仕事」（21.9%）となっている。

図表6-1-2 地域での活動（会・グループ等）への参加有無 経年比較

R01年度：n=2,862
H28年度：n=2,989

■参加している □参加していない □無回答 (%)



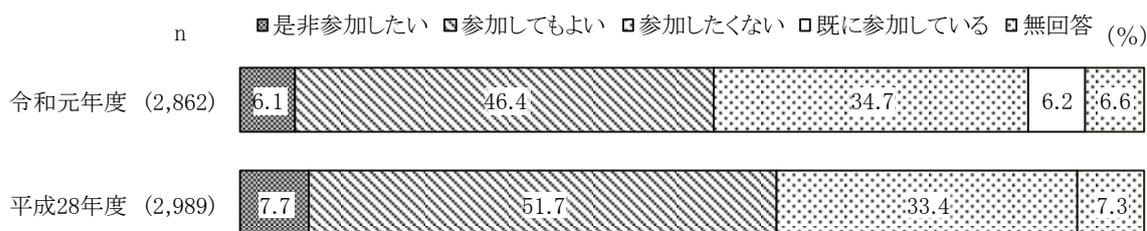
※図表6-1-2における『参加している』の比率は、少数点第2位以下の端数調整（四捨五入）により、図表6-1-1の「年に数回」以上の回答比率の合計と比べて±0.1%の範囲でズレが生じる場合がある。

「年に数回」以上を回答した『参加している』と「参加していない」を前回調査と比較すると、「参加していない」については「老人クラブ」が5.9ポイント、「ボランティアのグループ」が4.7ポイント、「スポーツ関係のグループやクラブ」が4.5ポイント高くなっている。

(2) グループ活動に参加者として参加したいか

問5 (2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(〇は1つ)

図表6-2-1 グループ活動に参加者として参加したいか 全体



グループ活動に参加者として参加したいかについては、「参加してもよい」(46.4%)が最も高かった。以下、「参加したくない」(34.7%)、「既に参加している」(6.2%)となっている。

前回調査と比較すると、「参加してもよい」が5.3ポイント低くなり、「参加したくない」が1.3ポイント高くなっている。

(3) グループ活動に企画・運営(お世話役)として参加したいか

問5 (3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(〇は1つ)

図表6-3-1 グループ活動に企画・運営(お世話役)として参加したいか 全体



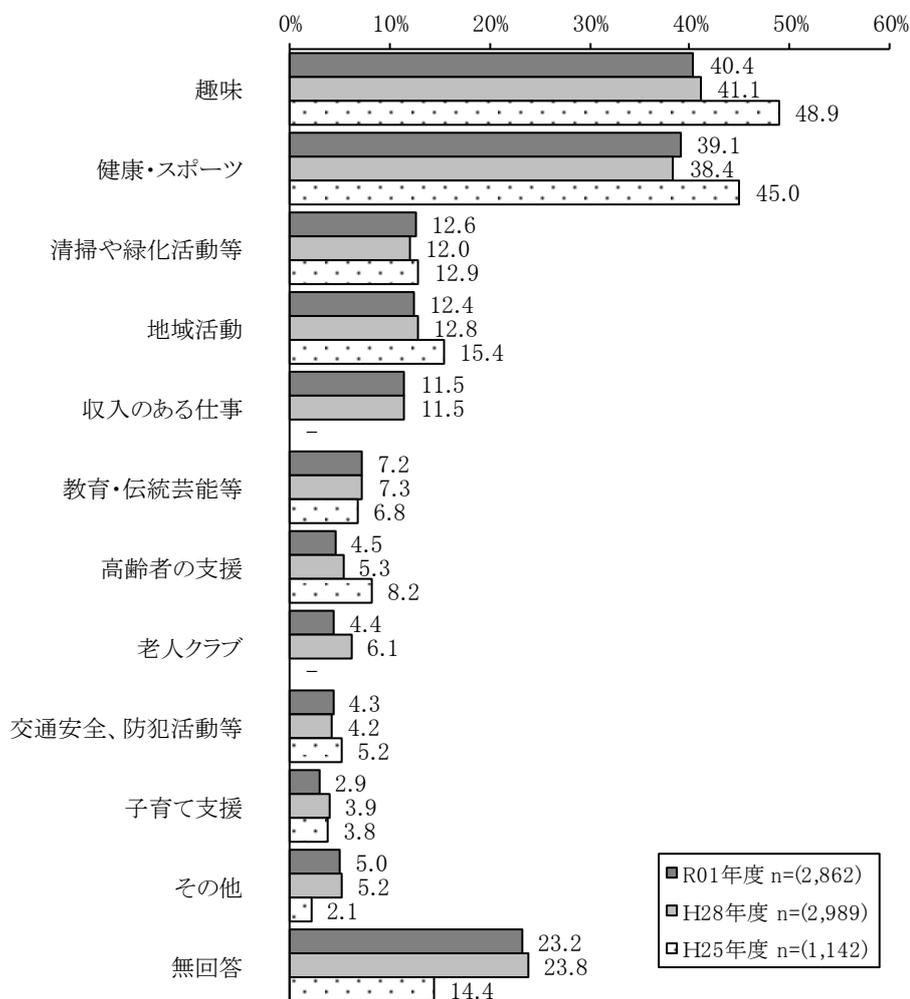
グループ活動に企画・運営(お世話役)として参加したいかについては、「参加したくない」(55.5%)が最も高かった。以下、「参加してもよい」(29.9%)、「既に参加している」(3.8%)、「是非参加したい」(2.0%)となっている。

前回調査と比較すると、「参加してもよい」が4.4ポイント低くなり、「参加したくない」が0.7ポイント高くなっている。

(4) 今後参加したい活動

問5 (4) 今後参加したい活動は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

図表6-4-1 今後参加したい活動 全体



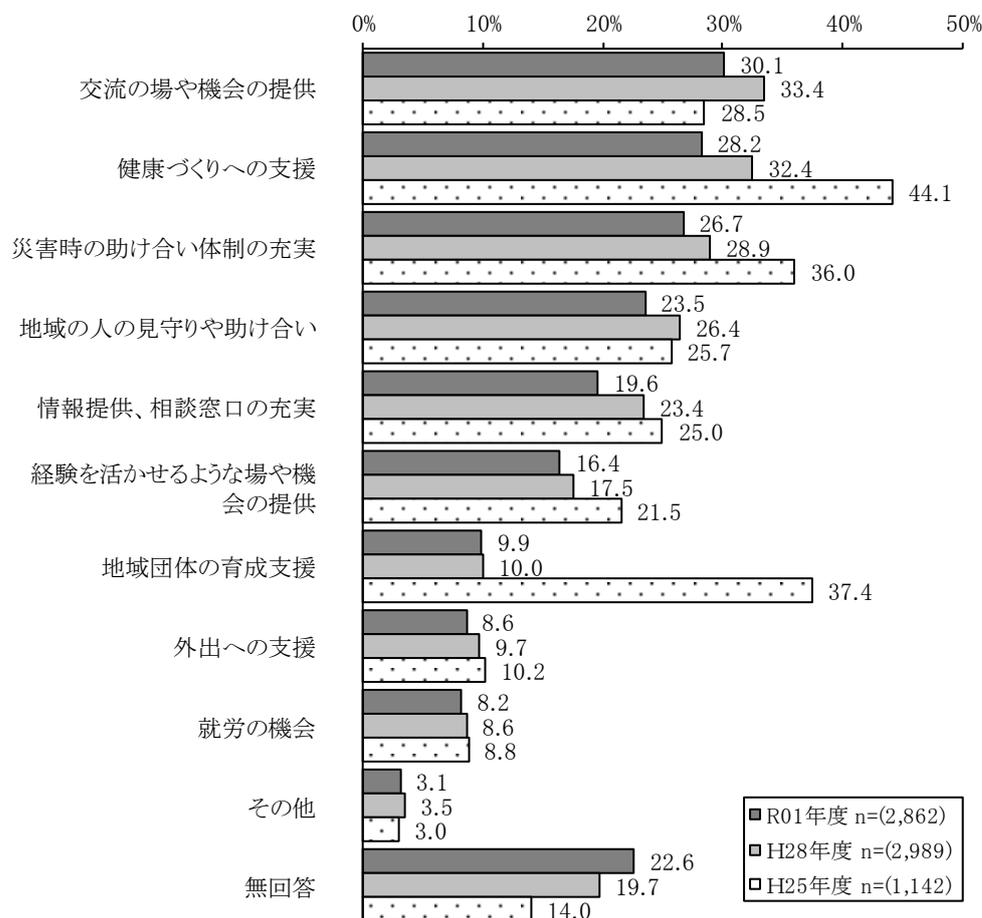
今後参加したい活動については、「趣味」(40.4%)が最も高かった。以下、「健康・スポーツ」(39.1%)、「清掃や緑化活動等」(12.6%)、「地域活動」(12.4%)となっている。

前回調査と比較すると、「老人クラブ」が1.7ポイント低くなり、「健康・スポーツ」が0.7ポイント、「清掃や緑化活動等」が0.6ポイント高くなっている。

(5) 高齢者の社会参加に必要な取り組み

問5 (5) 高齢者が社会参加しやすいようにするために、地域としてどんなことに取り組んでほしいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

図表6-5-1 高齢者の社会参加に必要な取り組み 全体



高齢者の社会参加に必要な取り組みについては、「交流の場や機会の提供」(30.1%)が最も高かった。以下、「健康づくりへの支援」(28.2%)、「災害時の助け合い体制の充実」(26.7%)、「地域の人の見守りや助け合い」(23.5%)となっている。

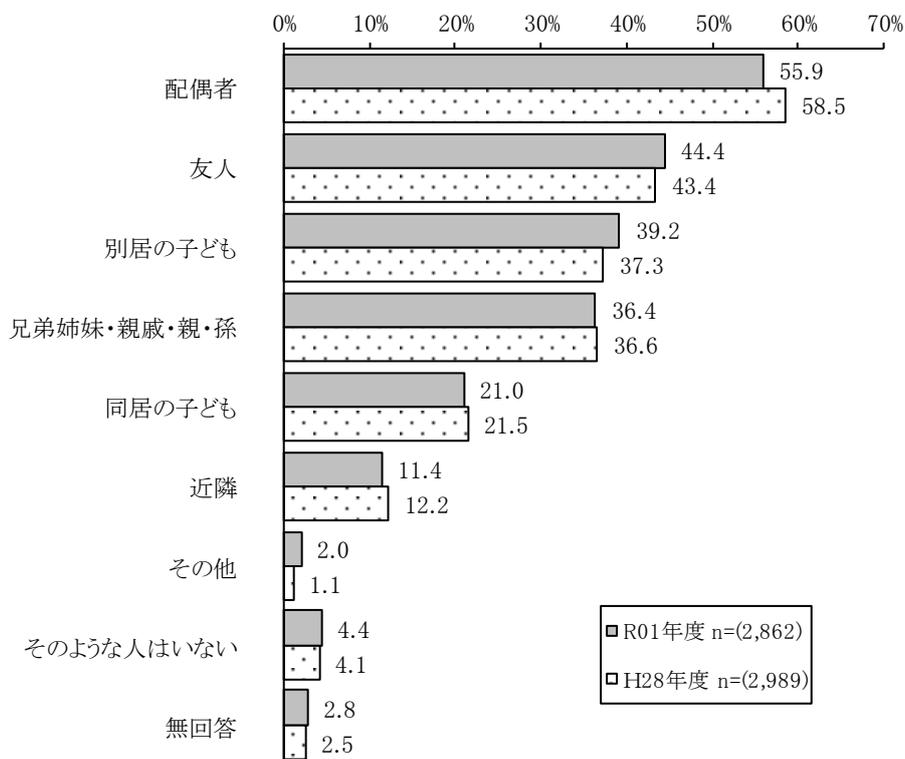
前回調査と比較すると、「健康づくりへの支援」が4.2ポイント、「情報提供、相談窓口の充実」が3.8ポイント低くなっている。

7. たすけあいについて

(1) 心配事や愚痴を聞いてくれる人

問6 (1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人(あてはまるものすべてに○)

図表7-1-1 心配事や愚痴を聞いてくれる人 全体



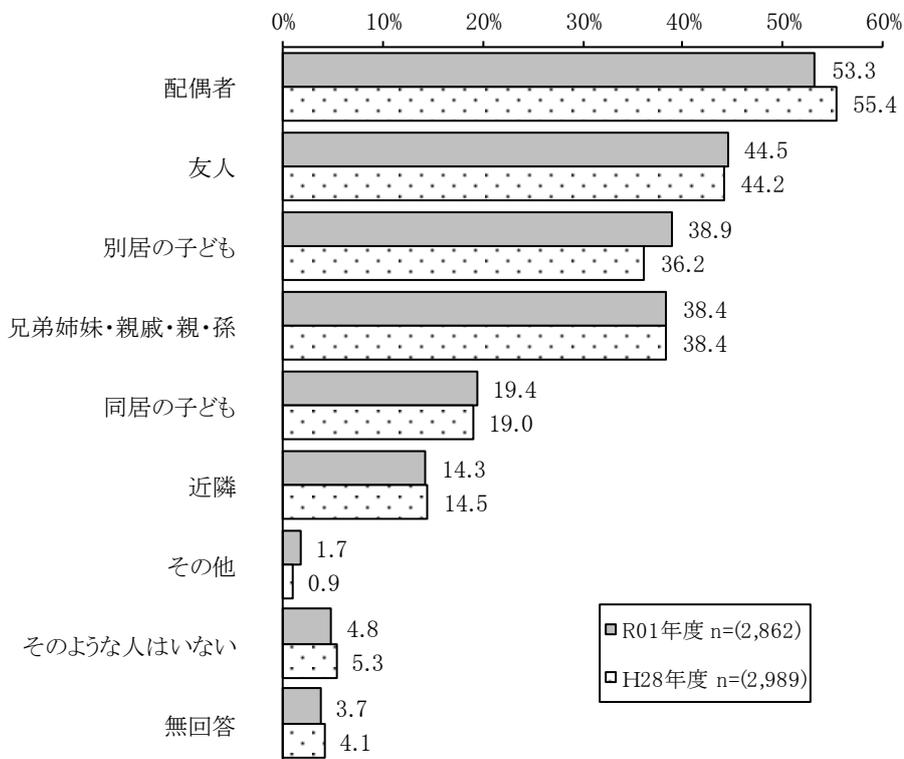
心配事や愚痴を聞いてくれる人については、「配偶者」(55.9%)が最も高かった。以下、「友人」(44.4%)、「別居の子ども」(39.2%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(36.4%)となっている。

前回調査と比較すると、「配偶者」が2.6ポイント低くなり、「別居の子ども」が1.9ポイント高くなっている。

(2) 心配事や愚痴を聞いてあげる人

問6 (2) 反対に、心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人(あてはまるものすべてに○)

図表7-2-1 心配事や愚痴を聞いてあげる人 全体



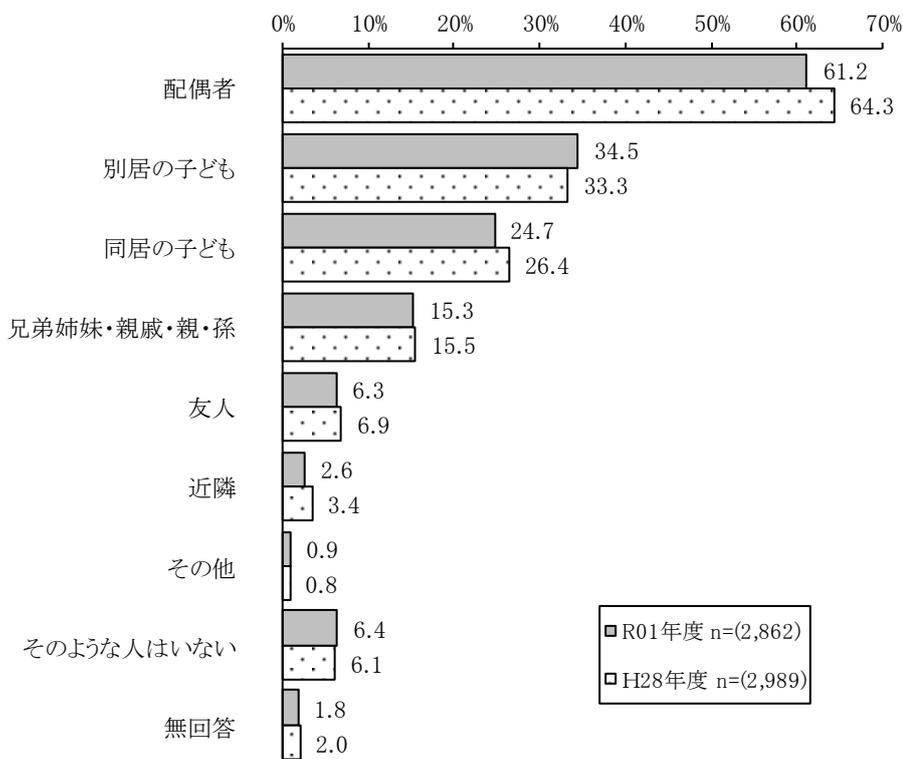
心配事や愚痴を聞いてあげる人については、「配偶者」(53.3%)が最も高かった。以下、「友人」(44.5%)、「別居の子ども」(38.9%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(38.4%)となっている。

前回調査と比較すると、「配偶者」が2.1ポイント低くなり、「別居の子ども」が2.7ポイント高くなっている。

(3) 病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人

問6 (3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人
(あてはまるものすべてに○)

図表7-3-1 病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人 全体



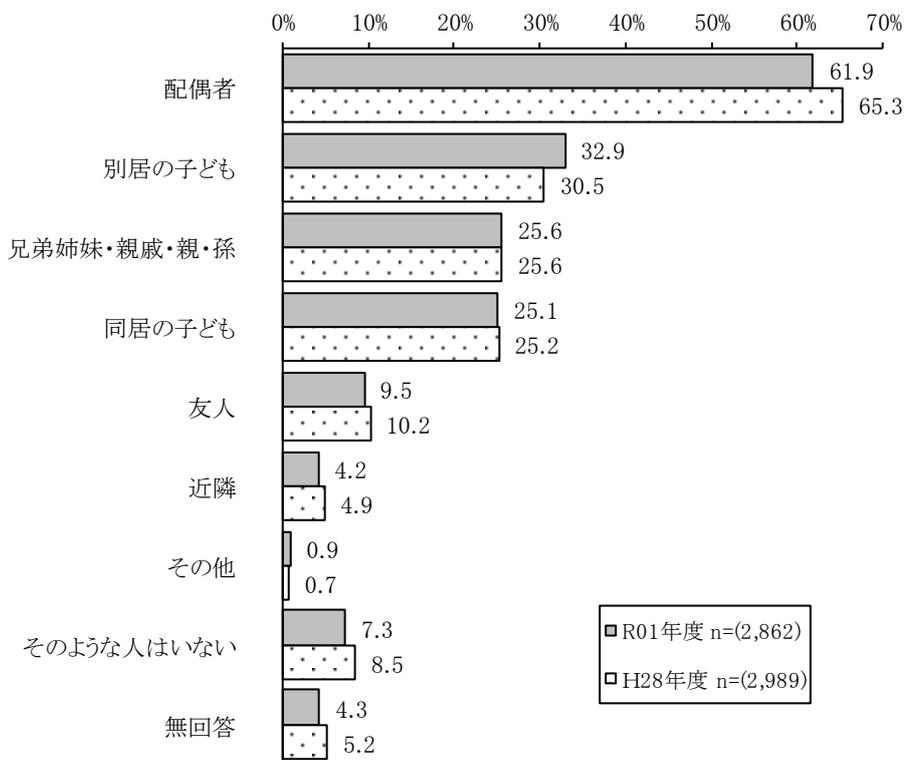
病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人については、「配偶者」(61.2%)が最も高かった。以下、「別居の子ども」(34.5%)、「同居の子ども」(24.7%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(15.3%)となっている。

前回調査と比較すると、「配偶者」が3.1ポイント低くなり、「別居の子ども」が1.2ポイント高くなっている。

(4) 病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人

問6 (4) 反対に、看病や世話をしてくれる人 (あてはまるものすべてに○)

図表7-4-1 病気で数日寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人 全体



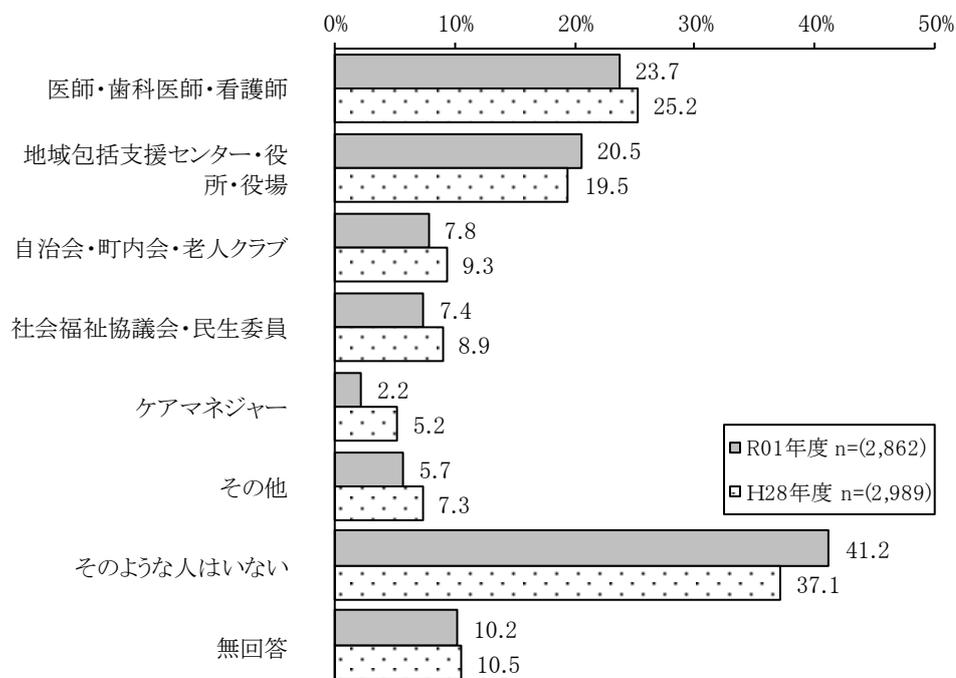
病気で数日寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人については、「配偶者」(61.9%)が最も高かった。以下、「別居の子ども」(32.9%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(25.6%)、「同居の子ども」(25.1%)となっている。

前回調査と比較すると、「配偶者」が3.4ポイント低くなり、「別居の子ども」が2.4ポイント高くなっている。

(5) 家族や友人・知人以外の相談相手

問6 (5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。
(あてはまるものすべてに○)

図表7-5-1 家族や友人・知人以外の相談相手 全体



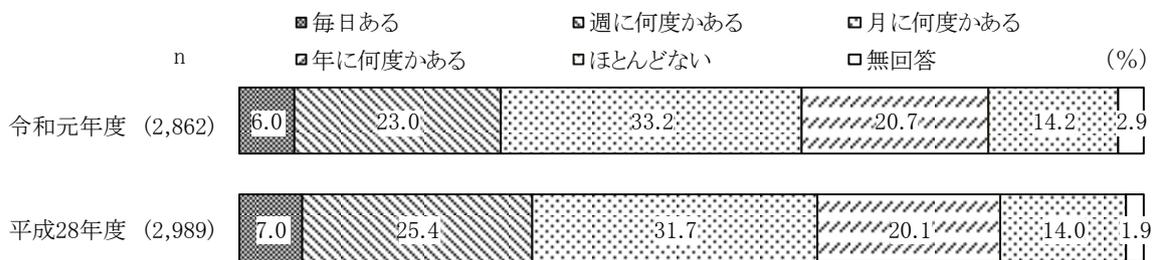
家族や友人・知人以外の相談相手については、「医師・歯科医師・看護師」(23.7%)が最も高かった。以下、「地域包括支援センター・役所・役場」(20.5%)、「自治会・町内会・老人クラブ」(7.8%)となっている。

前回調査と比較すると、「ケアマネジャー」が3.0ポイント低くなり、「そのような人はいない」が4.1ポイント高くなっている。

(6) 友人・知人と会う頻度

問6 (6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(〇は1つ)

図表7-6-1 友人・知人と会う頻度 全体



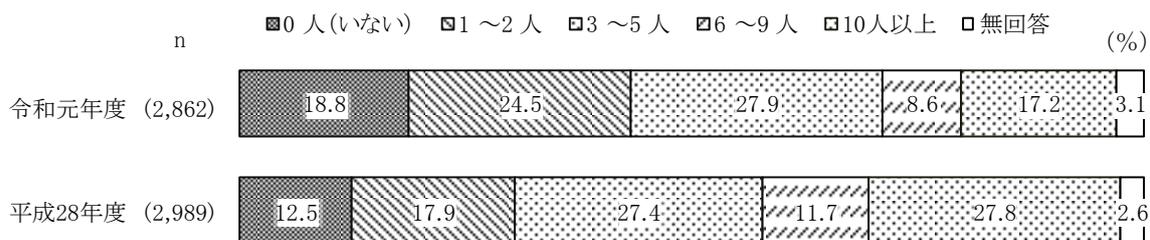
友人・知人と会う頻度については、「月に何度かある」(33.2%)が最も高かった。以下、「週に何度かある」(23.0%)、「年に何度かある」(20.7%)、「毎日ある」(6.0%)となっている。

前回調査と比較すると、「週に何度かある」が2.4ポイント低くなり、「月に何度かある」が1.5ポイント高くなっている。

(7) この1か月間、何人の友人・知人と会ったか

問6 (7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。
 同じ人には何度会っても1人と数えることとします。(〇は1つ)

図表7-7-1 この1か月間、何人の友人・知人と会ったか 全体



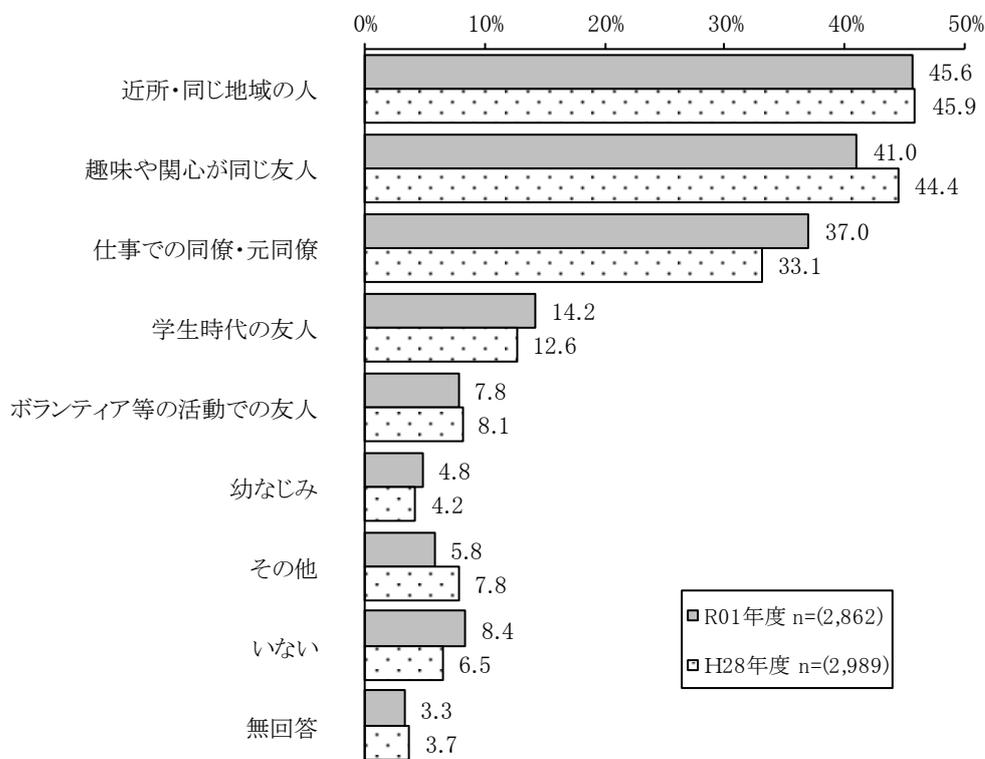
この1か月間、何人の友人・知人と会ったかについては、「3~5人」(27.9%)が最も高かった。以下、「1~2人」(24.5%)、「0人(いない)」(18.8%)、「10人以上」(17.2%)となっている。

前回調査と比較すると、「10人以上」が10.6ポイント低くなり、「1~2人」が6.6ポイント高くなっている。

(8) よく会う友人・知人はどんな関係か

問6 (8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(あてはまるものすべてに○)

図表7-8-1 よく会う友人・知人はどんな関係か 全体



よく会う友人・知人はどんな関係かについては、「近所・同じ地域の人」(45.6%)が最も高かった。以下、「趣味や関心が同じ友人」(41.0%)、「仕事での同僚・元同僚」(37.0%)、「学生時代の友人」(14.2%)となっている。

前回調査と比較すると、「趣味や関心が同じ友人」が3.4ポイント低くなり、「仕事での同僚・元同僚」が3.9ポイント高くなっている。

8. 健康について

(1) 現在の健康状態

問7 (1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○は1つ)

図表8-1-1 現在の健康状態 全体



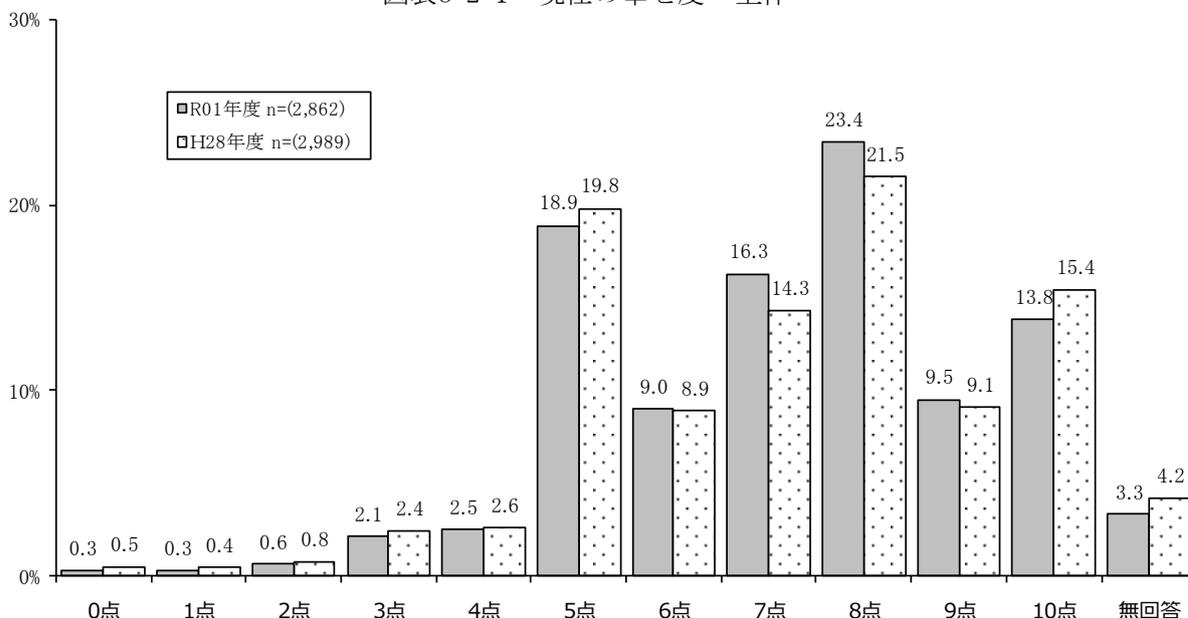
現在の健康状態については、「まあよい」(72.2%)が最も高かった。以下、「あまりよくない」(12.4%)、「とてもよい」(12.2%)、「よくない」(1.8%)となっている。

前回調査と比較すると、「よくない」が1.3ポイント低くなり、「まあよい」が4.3ポイント高くなっている。

(2) 現在の幸せ度

問7 (2) あなたは、現在どの程度幸せですか。(〇は1つ)
 (「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)

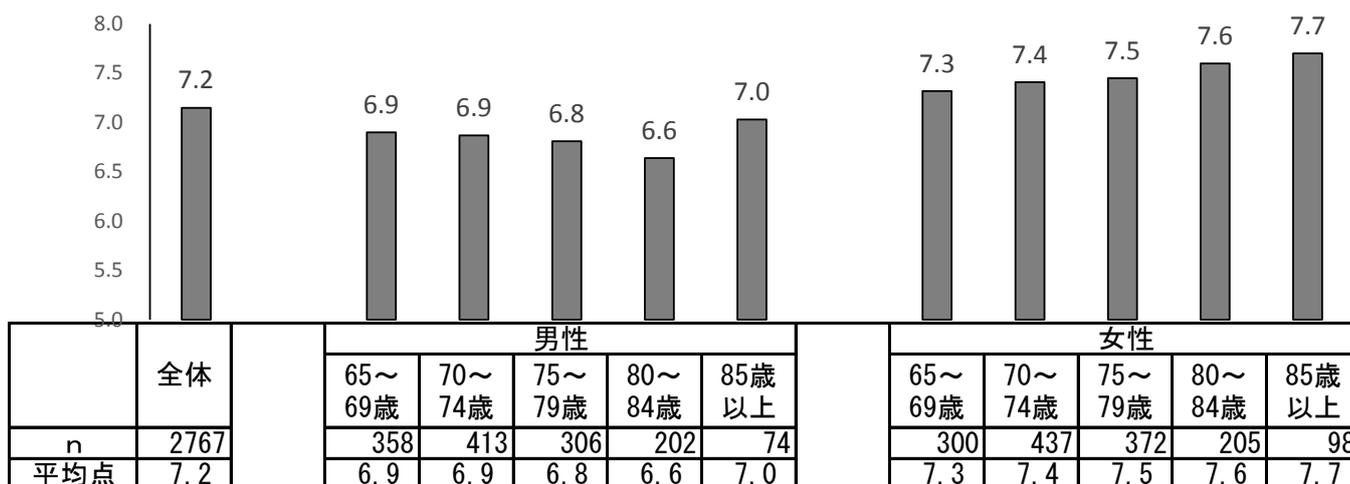
図表8-2-1 現在の幸せ度 全体



現在の幸せ度については、「8点」(23.4%)が最も高かった。以下、「5点」(18.9%)、「7点」(16.3%)、「10点」(13.8%)となっている。

前回調査と比較すると、「10点」が1.6ポイント低くなり、「7点」が2.0ポイント高くなっている。

図表8-2-2 現在の幸せ度(平均点) 性・年齢別

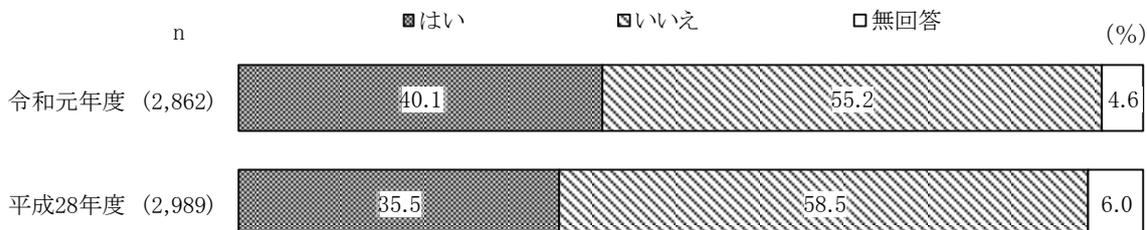


幸せ度の平均点をみると、全体の平均は7.2点であった。性・年齢別にみると、女性・85歳以上の7.7点が最も高く、いずれの年代も女性の平均点は男性の平均点を上回っている。

(3) この1か月間、ゆううつな気持ちになったことがあるか

問7 (3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(〇は1つ)

図表8-3-1 この1か月間、ゆううつな気持ちになったことがあるか 全体



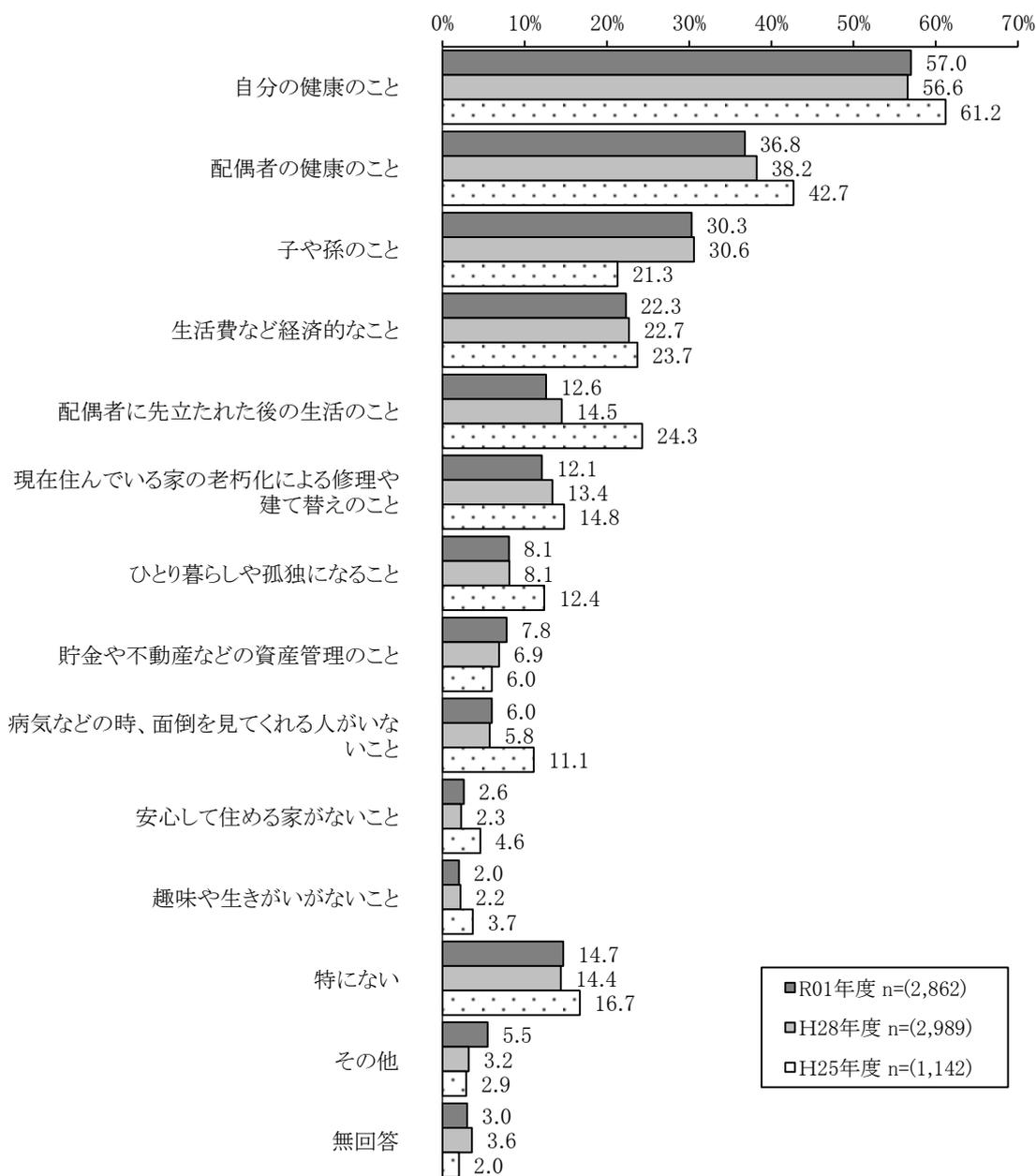
この1か月間、ゆううつな気持ちになったことがあるかについては、「いいえ」が55.2%を占めていた。一方、「はい」は40.1%となっている。

前回調査と比較すると、「いいえ」が3.3ポイント低くなり、「はい」が4.6ポイント高くなっている。

(4) 現在の生活の中での心配事

問7 (4) 現在、生活の中で悩んだり、心配になっていることは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

図表8-4-1 現在の生活の中での心配事 全体



現在の生活の中での心配事については、「自分の健康のこと」(57.0%)が最も高かった。以下、「配偶者の健康のこと」(36.8%)、「子や孫のこと」(30.3%)、「生活費など経済的なこと」(22.3%)となっている。

前回調査と比較すると、「配偶者に先立たれた後の生活のこと」が1.9ポイント低くなり、「貯金や不動産などの資産管理のこと」が0.9ポイント高くなっている。

(5) この1か月間、どうしても物事に興味がわかない、心から楽しめない感じがあったか

問7 (5) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(○は1つ)

図表8-5-1 この1か月間、どうしても物事に興味がわかない、心から楽しめない感じがあったか 全体



この1か月間、どうしても物事に興味がわかない、心から楽しめない感じがあったかについては、「いいえ」が76.0%を占めていた。一方、「はい」は20.0%となっている。

前回調査と比較すると、「はい」が4.5ポイント高くなっている。

(6) 飲酒状況

問7 (6) お酒は飲みますか。(○は1つ)

図表 8-6-1 飲酒状況 全体



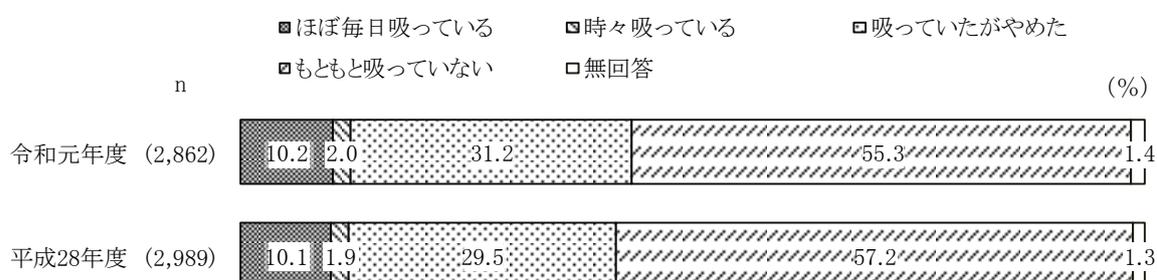
飲酒状況については、「もともと飲まない」(31.5%)が最も高かった。以下、「ほとんど飲まない」(25.5%)、「ほぼ毎日飲む」(23.5%)、「時々飲む」(18.2%)となっている。

前回調査と比較すると、「時々飲む」が1.0ポイント低くなっている。

(7) 喫煙状況

問7 (7) タバコは吸っていますか。(〇は1つ)

図表 8-7-1 喫煙状況 全体



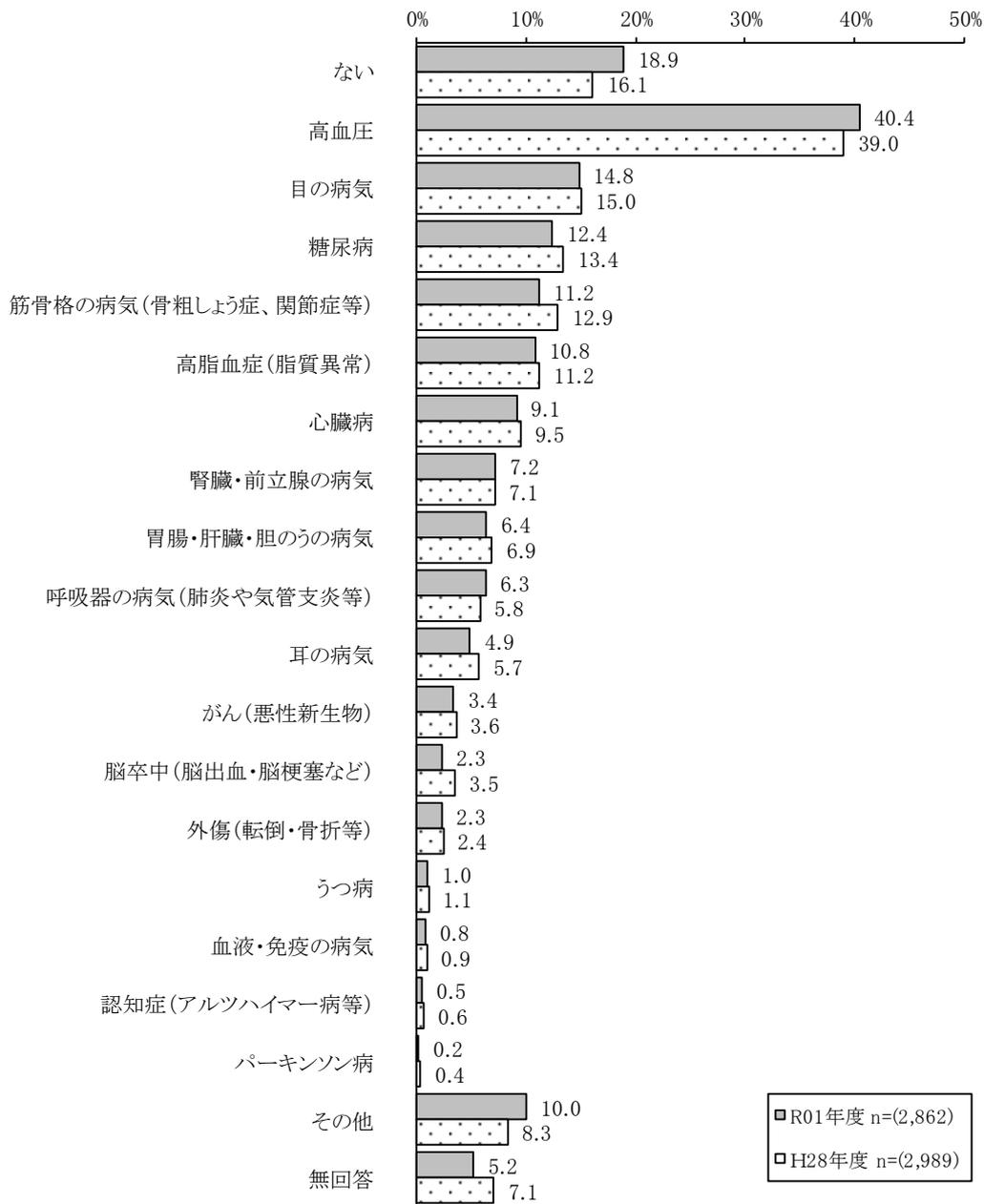
喫煙状況については、「もともと吸っていない」(55.3%)が最も高かった。以下、「吸っていたがやめた」(31.2%)、「ほぼ毎日吸っている」(10.2%)、「時々吸っている」(2.0%)となっている。

前回調査と比較すると、「もともと吸っていない」が1.9ポイント低くなり、「吸っていたがやめた」が1.7ポイント高くなっている。

(8) 現在治療中または後遺症のある病気

問7 (8) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(あてはまるものすべてに○)

図表 8-8-1 現在治療中または後遺症のある病気 全体



現在治療中または後遺症のある病気については、「高血圧」(40.4%)が最も高かった。以下、「目の病気」(14.8%)、「糖尿病」(12.4%)、「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」(11.2%)となっている。

前回調査と比較すると、「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」が1.7ポイント低くなり、「高血圧」が1.4ポイント高くなっている。

(9) かかりつけ医がいるか

問7 (9) -1 あなたは、かかりつけ医がいますか。(あてはまるものすべてに○)

図表 8-9-1 かかりつけ医がいるか 全体



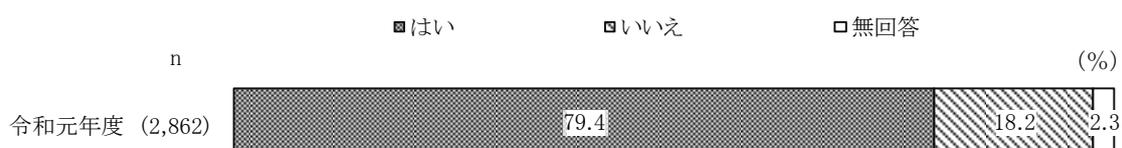
かかりつけ医がいるかについては、「はい」が82.7%を占めていた。一方、「いいえ」は15.5%となっている。

前回調査と比較すると、「はい」が0.9ポイント低くなり、「いいえ」が1.2ポイント高くなっている。

(10) かかりつけ歯科医がいるか

問7 (9) -2 あなたは、かかりつけ歯科医がいますか。(○は1つ)

図表 8-10-1 かかりつけ歯科医がいるか 全体

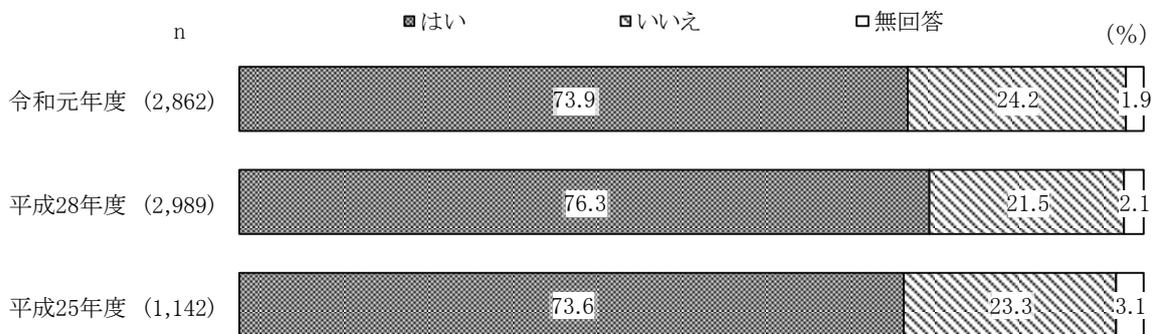


かかりつけ歯科医がいるかについては、「はい」が79.4%を占めていた。一方、「いいえ」は18.2%となっている。

(11) 定期的な健康診断をしているか

問7 (10) あなたは、定期的に健康診断を受けていますか。(○は1つ)

図表 8-11-1 定期的な健康診断をしているか 全体



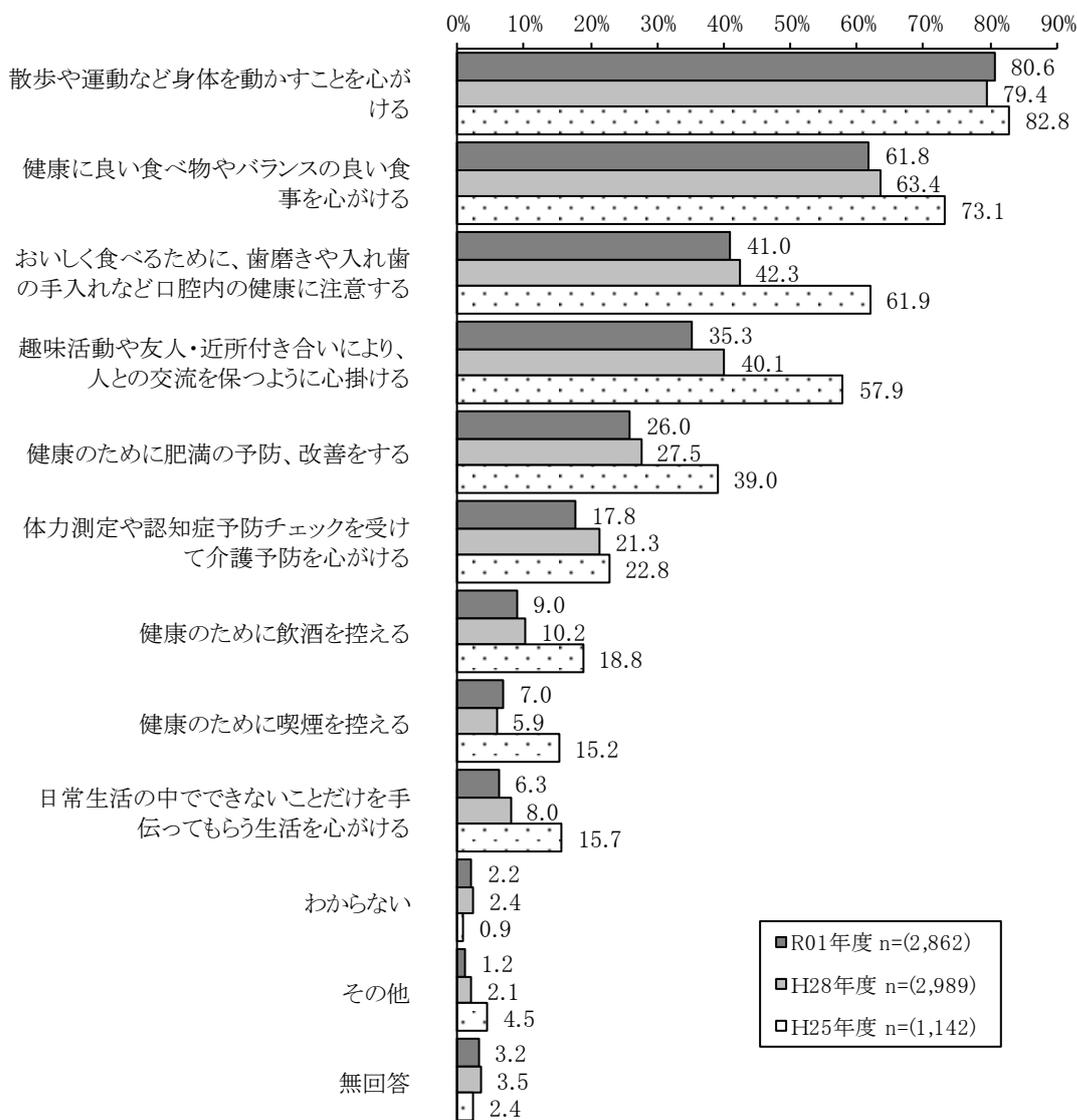
定期的な健康診断をしているかについては、「はい」が73.9%を占めていた。一方、「いいえ」は24.2%となっている。

前回調査と比較すると、「はい」が2.4ポイント低くなり、「いいえ」が2.7ポイント高くなっている。

(12) 現在またはこれから取り組みたい健康づくり

問7 (11) 現在取り組んでいる、またはこれから取り組みたい健康づくりは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

図表 8-12-1 現在またはこれから取り組みたい健康づくり 全体



現在またはこれから取り組みたい健康づくりについては、「散歩や運動など身体を動かすことを心がける」(80.6%)が最も高かった。以下、「健康に良い食べ物やバランスの良い食事を心がける」(61.8%)、「おいしく食べるために、歯磨きや入れ歯の手入れなど口腔内の健康に注意する」(41.0%)、「趣味活動や友人・近所付き合いにより、人との交流を保つように心掛ける」(35.3%)となっている。

前回調査と比較すると、「趣味活動や友人・近所付き合いにより、人との交流を保つように心掛ける」が4.8ポイント低くなり、「散歩や運動など身体を動かすことを心がける」が1.2ポイント高くなっている。

(13) 認知症の症状の有無、認知症の症状の家族の有無

問8 (1) 認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいますか。(○は1つ)

図表 8-13-1 認知症の症状の有無、認知症の症状の家族の有無 全体



認知症の症状の有無、認知症の症状の家族の有無については、「いいえ」が90.8%を占めていた。一方、「はい」は4.8%となっている。

(14) 認知症に関する相談窓口の認知

問8 (2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(○は1つ)

図表 8-14-1 認知症に関する相談窓口の認知 全体



認知症に関する相談窓口の認知については、「いいえ」が71.5%を占めていた。一方、「はい」は23.7%となっている。

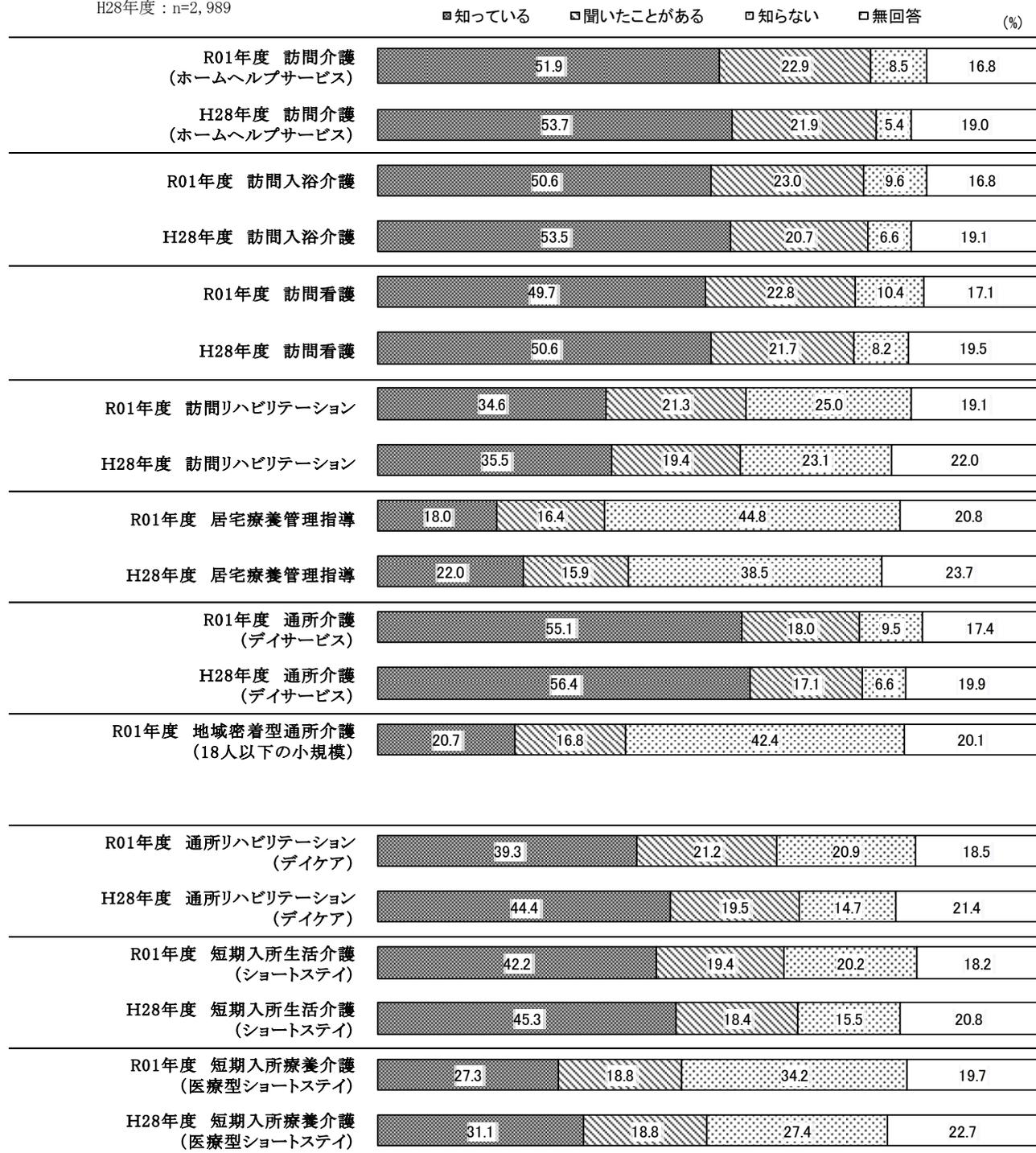
9. 高齢者福祉サービスについて

(1) 居宅サービスの認知度・利用意向

問9 (1) 次の介護保険サービス等についてご存知ですか。また、将来的に介護が必要になった場合、利用したいと思いますか。(それぞれ1つに○)

図 9-1-1 居宅サービスの認知度 (1) 全体

R01年度 : n=2,862
H28年度 : n=2,989



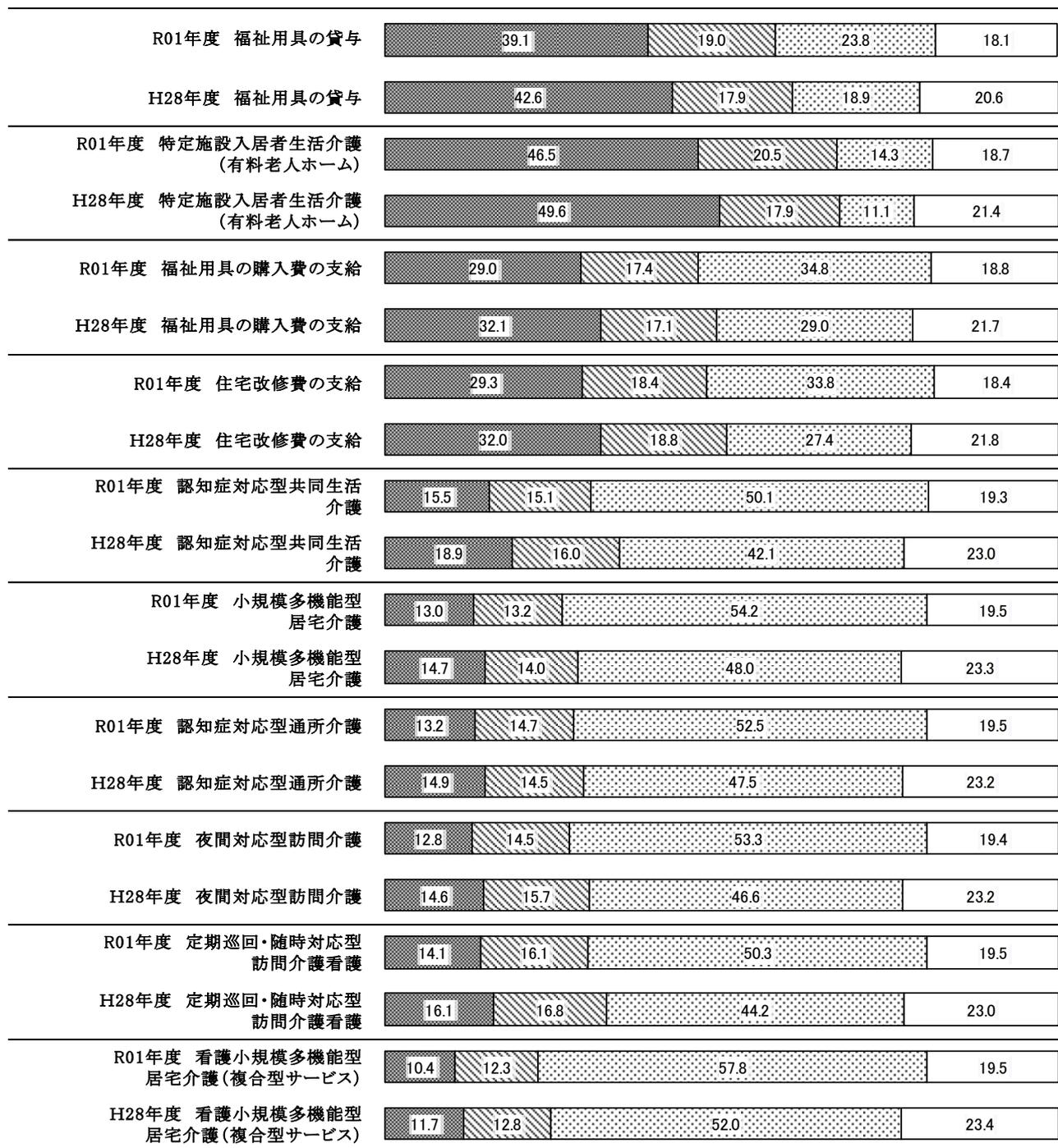
第2章 日常生活圏域ニーズ調査

図 9-1-2 居宅サービスの認知度（2） 全体

R01年度：n=2,862

H28年度：n=2,989

■知っている □聞いたことがある □知らない □無回答 (%)



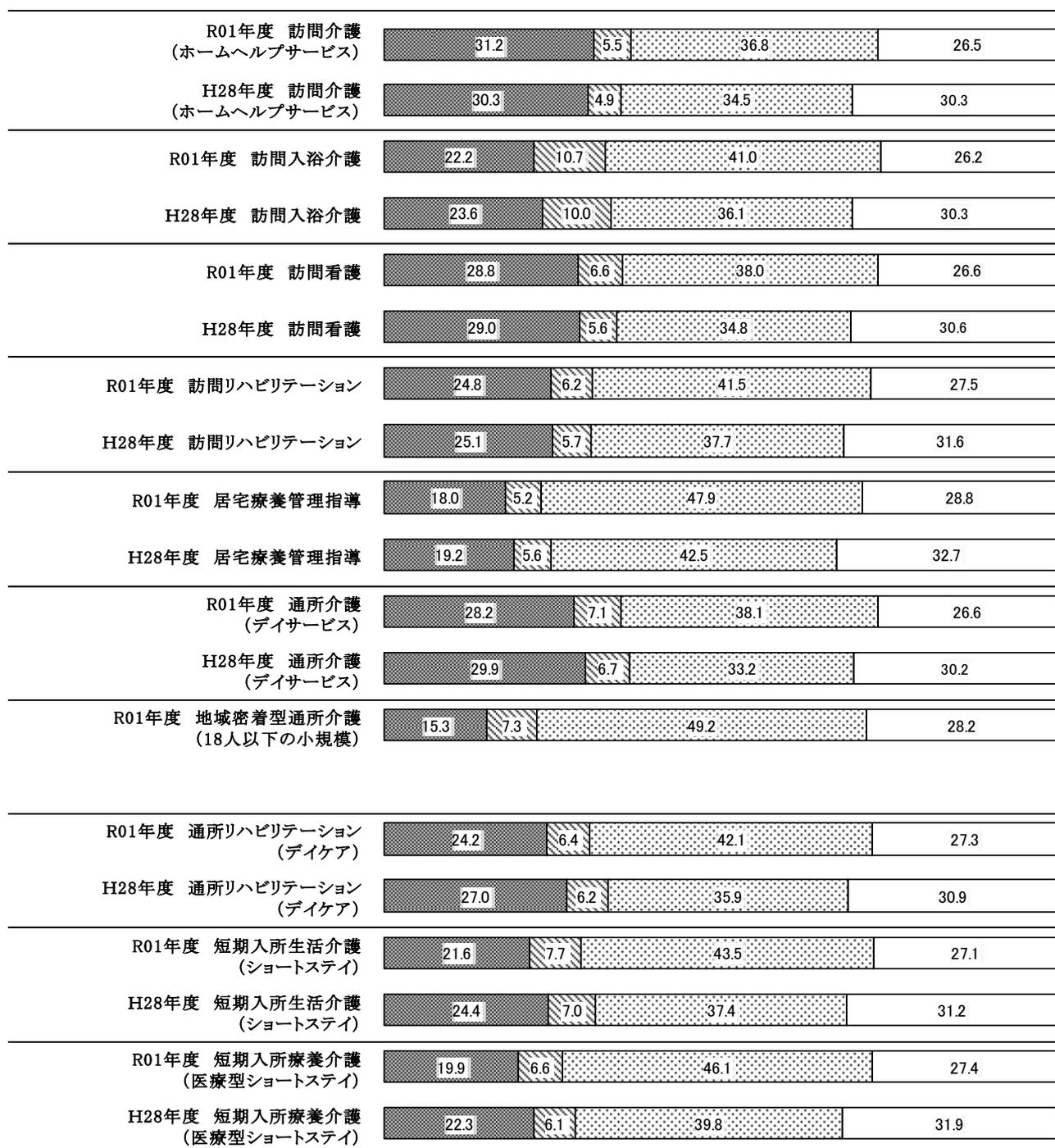
居宅サービスの認知度については、「知っている」と回答した割合の高い項目が、「通所介護（デイサービス）」（55.1%）、「訪問介護（ホームヘルプサービス）」（51.9%）、「訪問入浴介護」（50.6%）となっている。

前回調査と比較すると、「通所リハビリテーション（デイケア）」が5.1ポイント、「居宅療養管理指導」が4.0ポイント低くなっている。

図 9-1-3 居宅サービスの利用意向（1） 全体

R01年度：n=2,862
H28年度：n=2,989

■ 利用したい □ 利用したくない □ わからない □ 無回答 (%)

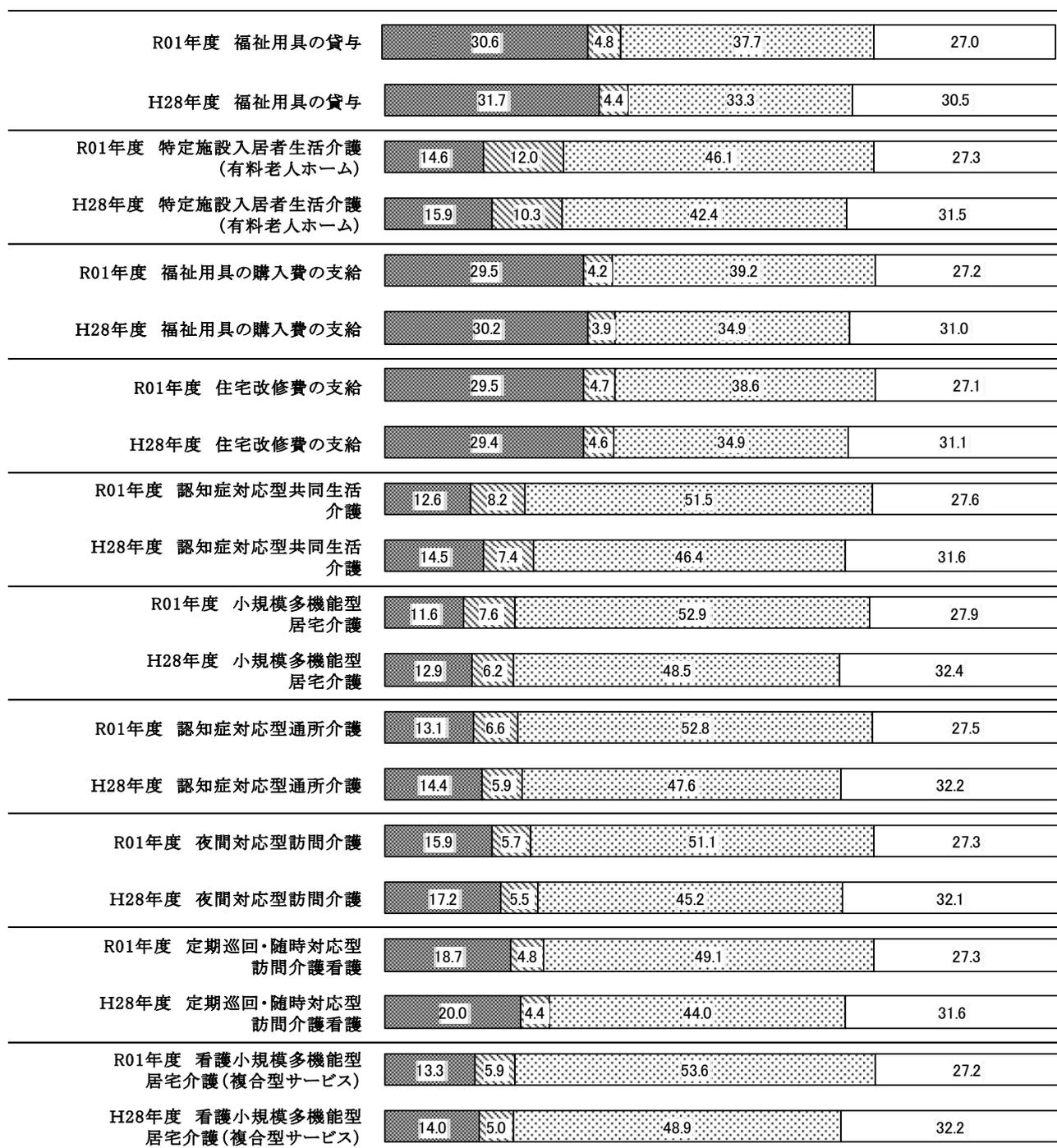


第2章 日常生活圏域ニーズ調査

図 9-1-4 居宅サービスの利用意向（2） 全体

R01年度：n=2,862
H28年度：n=2,989

■ 利用したい □ 利用したくない □ わからない □ 無回答 (%)



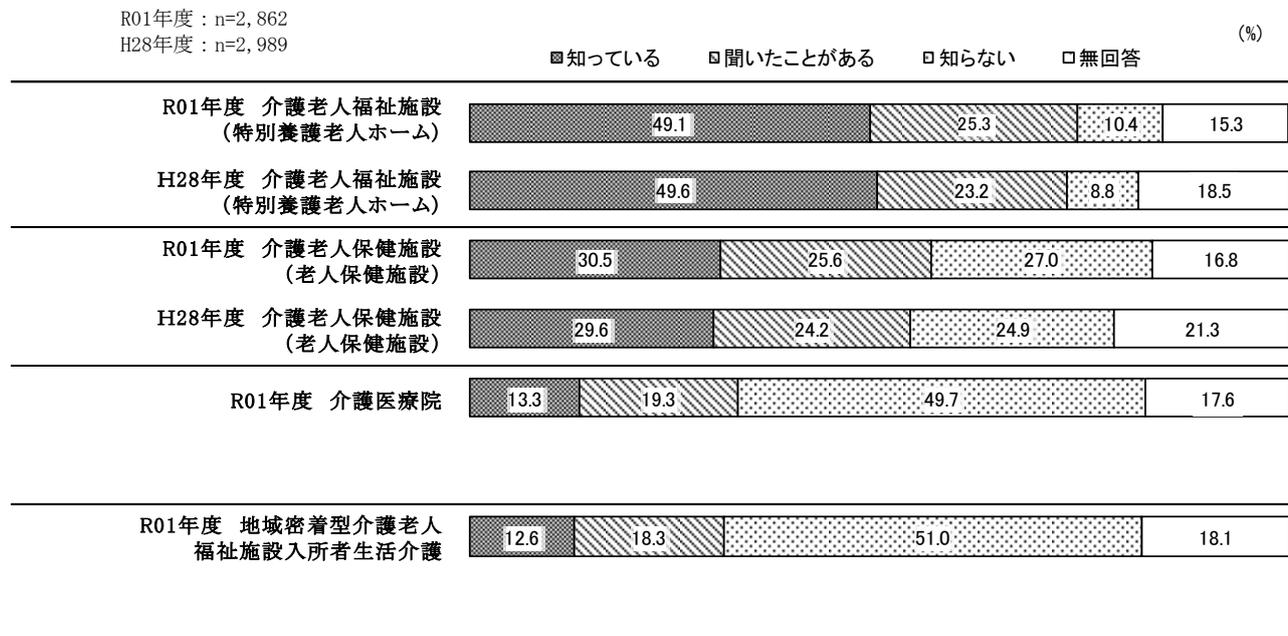
居宅サービスの利用意向については、「利用したい」と回答した割合の高い項目が、「訪問介護（ホームヘルプサービス）」(31.2%)、「福祉用具の貸与」(30.6%)、「福祉用具購入費の支給」「住宅改修費の支給」(ともに29.5%)、となっている。

前回調査と比較すると、「訪問介護（ホームヘルプサービス）」が0.9ポイント高くなっている。

(2) 施設サービスの認知度・利用意向

問9 (1) 次の介護保険サービス等についてご存知ですか。また、将来的に介護が必要になった場合、利用したいと思いますか。(それぞれ1つに○)

図表 9-2-1 施設サービスの認知度 全体



施設サービスの認知度については、「知っている」と回答した割合の高い項目が、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」(49.1%)、「介護老人保健施設（老人保健施設）」(30.5%)、「介護医療院」(13.3%)、となっている。

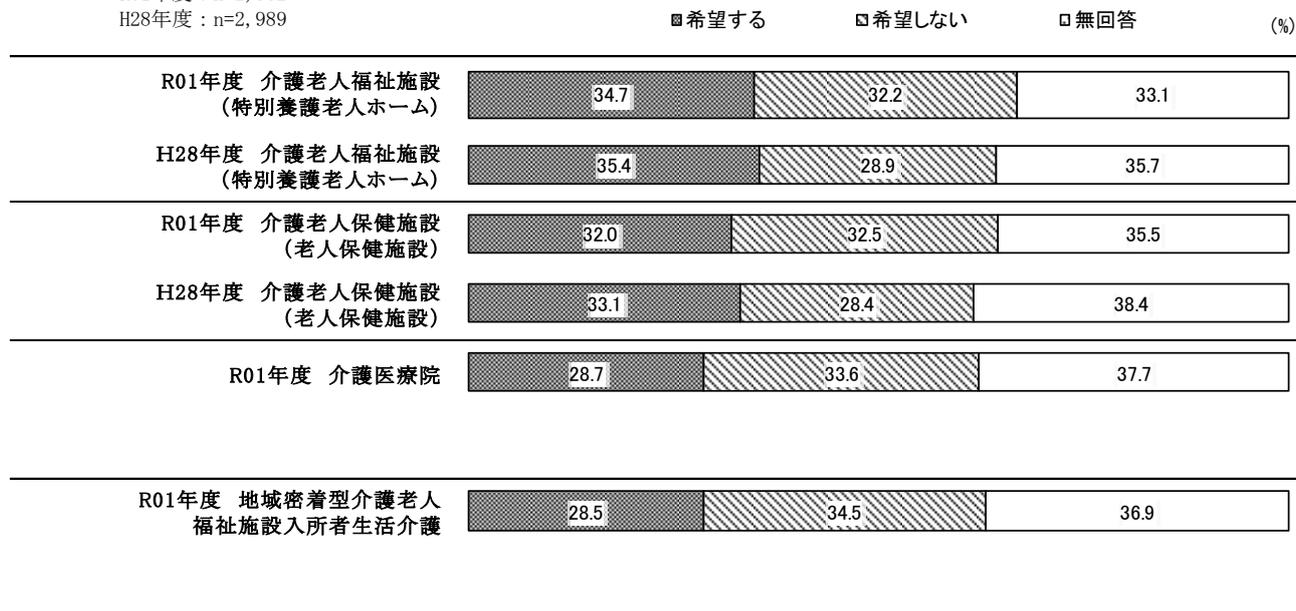
前回調査と比較すると、「介護老人保健施設（老人保健施設）」が0.9ポイント高くなり、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が0.5ポイント低くなっている。

第2章 日常生活圏域ニーズ調査

図表 9-2-2 施設サービスの利用意向 全体

R01年度：n=2,862

H28年度：n=2,989



施設サービスの利用意向については、「希望する」と回答した割合の高い項目が、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」（34.7%）、「介護老人保健施設（老人保健施設）」（32.0%）、「介護医療院」（28.7%）、となっている。

前回調査と比較すると、「介護老人保健施設（老人保健施設）」が1.1ポイント、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が0.7ポイント低くなっている。

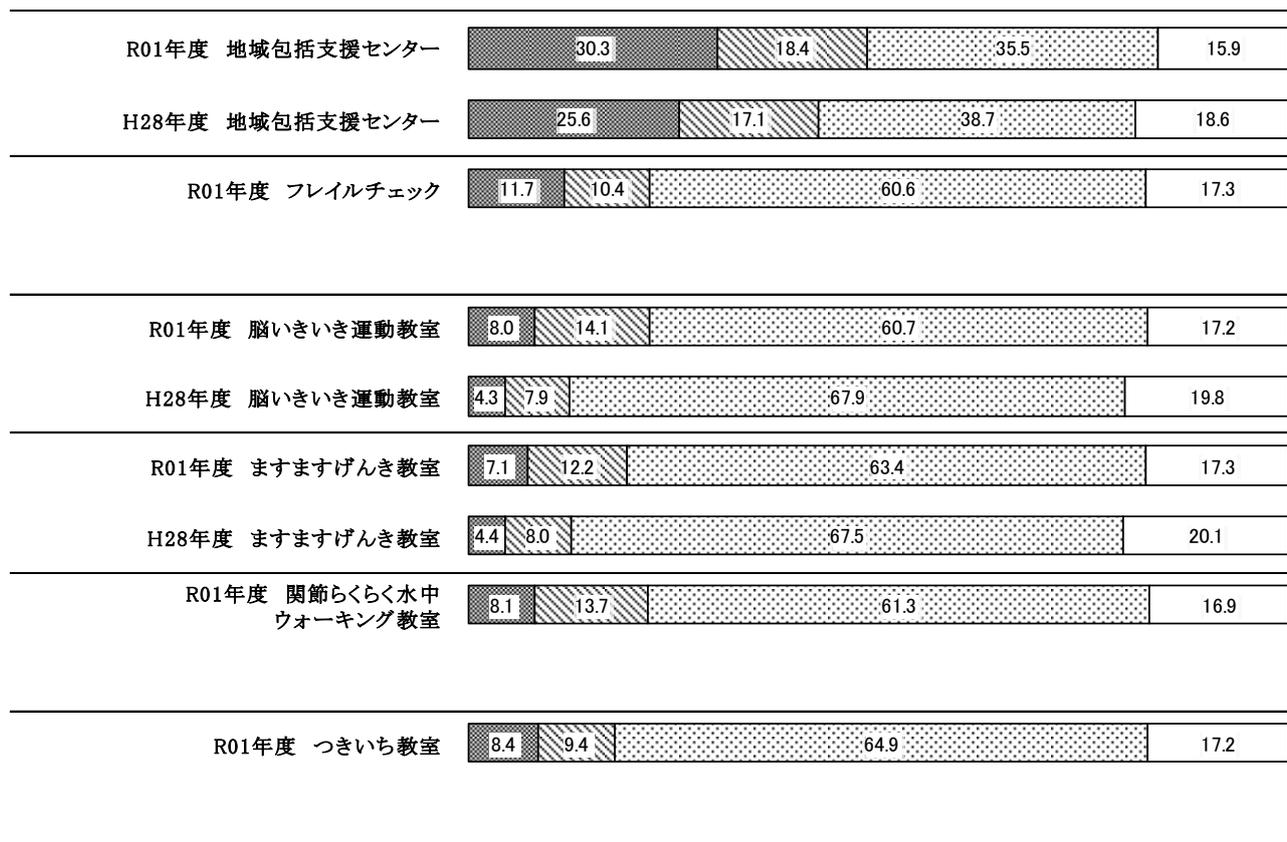
(3) 地域支援事業の認知度・利用意向

問9 (2) 地域支援事業として、以下のような事業があります。それぞれの項目の認知度と今後の利用希望に教えてください。(それぞれ〇は1つ)

図表 9-3-1 地域支援事業の認知度 全体

R01年度：n=2,862
H28年度：n=2,989

□知っている □聞いたことがある □知らない □無回答 (%)

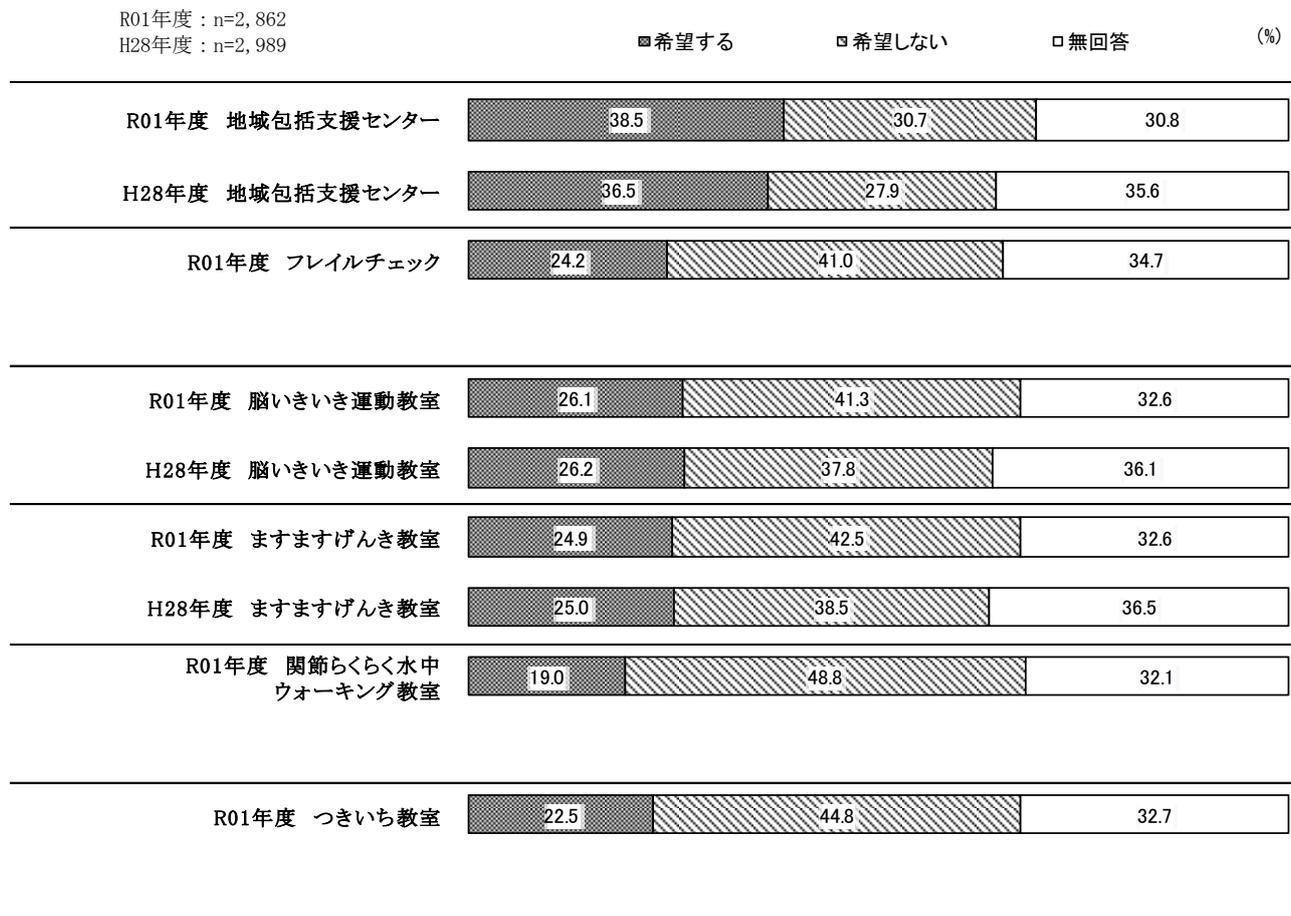


地域支援事業の認知度については、「知っている」と回答した割合の高い項目が、「地域包括支援センター」(30.3%)、「フレイルチェック」(11.7%)、「つきいち教室」(8.4%)、となっている。

前回調査と比較すると、「地域包括支援センター」が4.7ポイント、「脳いきいき運動教室」が3.7ポイント高くなっている。

第2章 日常生活圏域ニーズ調査

図表 9-3-2 地域支援事業の利用意向 全体

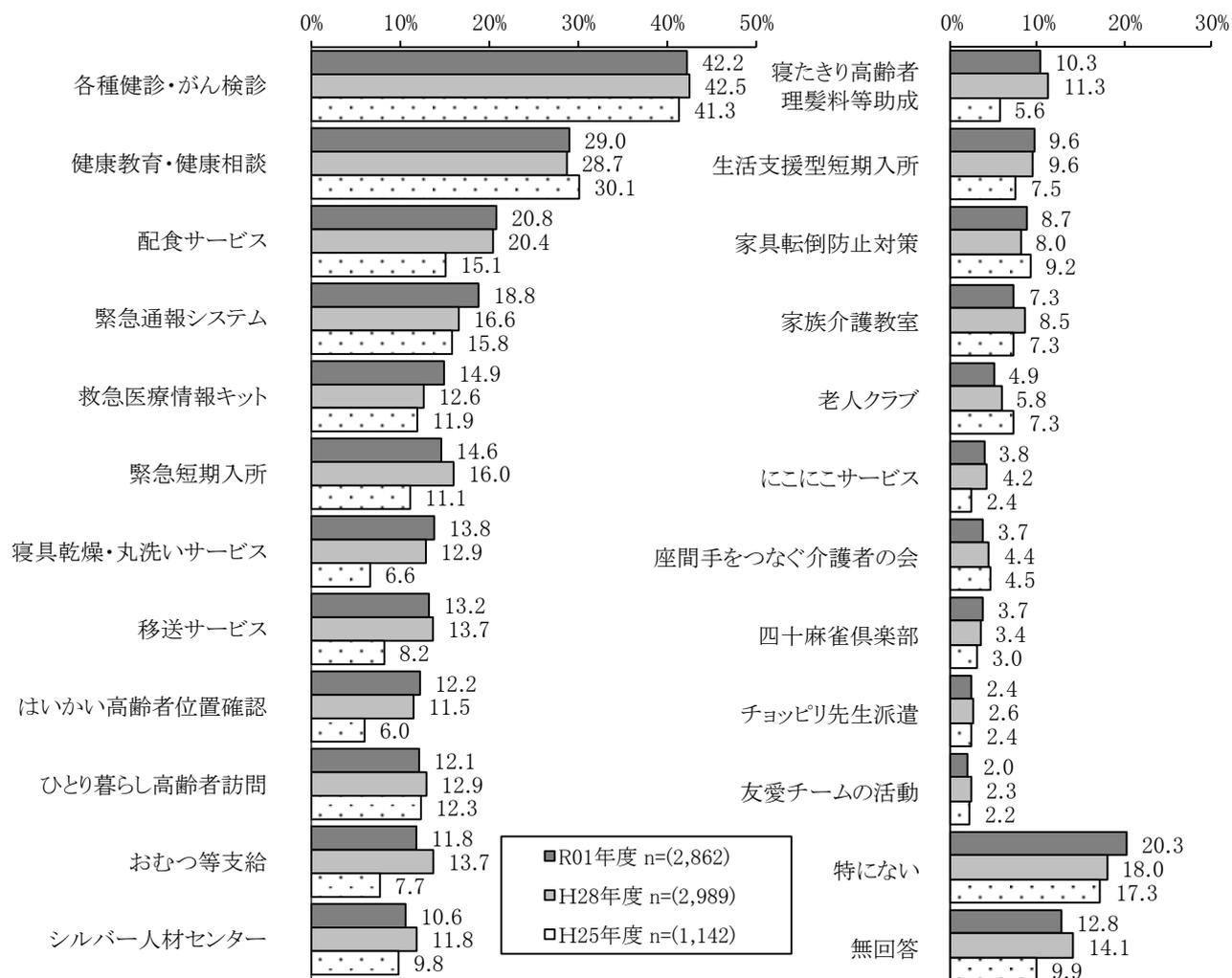


地域支援事業の認知度については、「希望する」と回答した割合の高い項目が、「地域包括支援センター」(38.5%)、「脳いきいき運動教室」(26.1%)、「ますますげんき教室」(24.9%)、となっている。前回調査と比較すると、「地域包括支援センター」が2.0ポイント高くなっている。

(4) 今後利用したい保健福祉サービス

問9 (3) 今後利用したい保健福祉サービスは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

図表 9-4-1 今後利用したい保健福祉サービス 全体



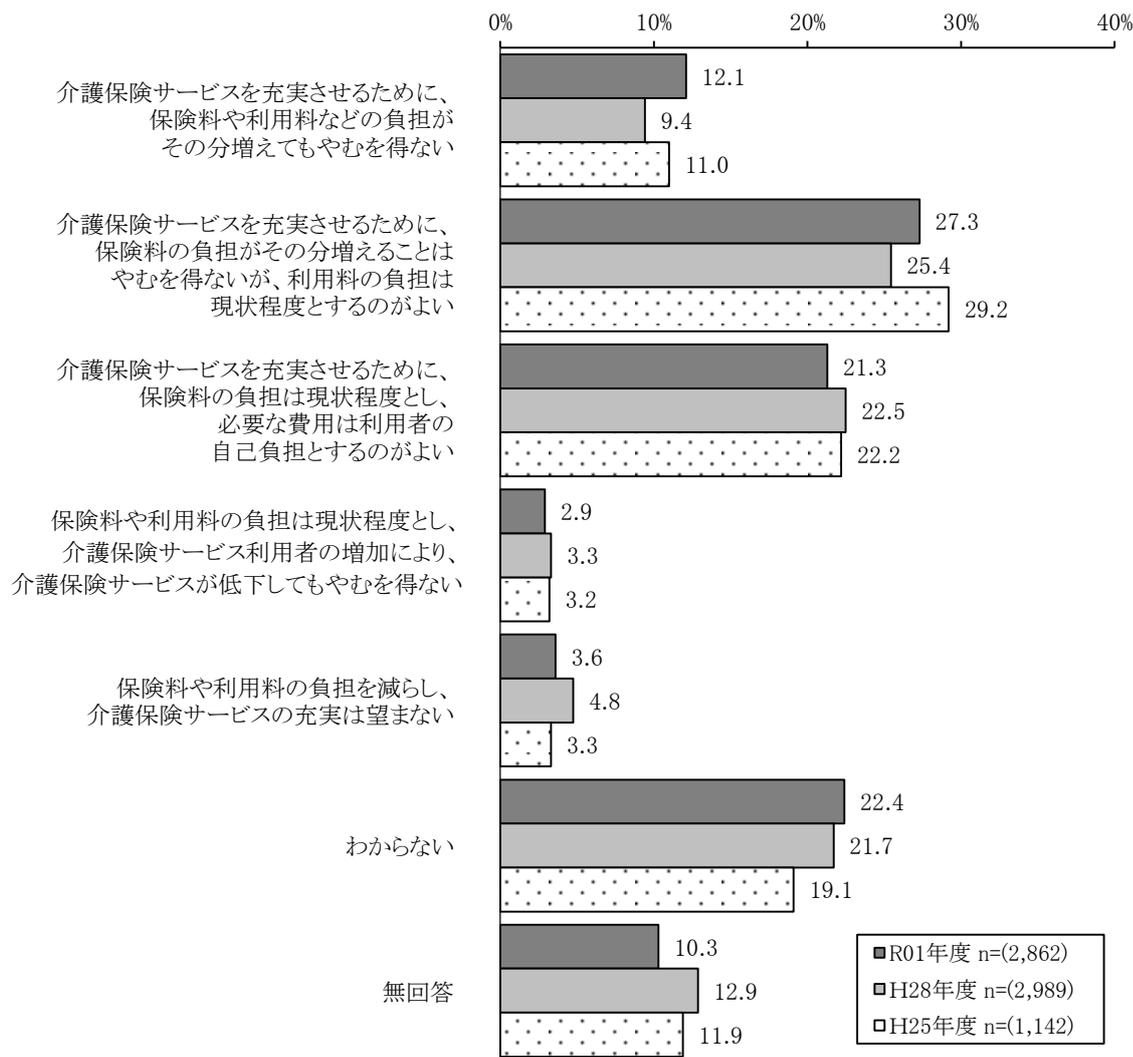
今後利用したい保健福祉サービスについては、「各種健診・がん検診」(42.2%)が最も高かった。以下、「健康教育・健康相談」(29.0%)、「配食サービス」(20.8%)、「緊急通報システム」(18.8%)となっている。

前回調査と比較すると、「おむつ等支給」が1.9ポイント低くなり、「緊急通報システム」が2.2ポイント高くなっている。

(5) 介護保険料の負担が増える可能性があること

問9 (4) 介護保険料の額は、3年に1度見直すこととなっており、介護保険のサービスを利用する人の数が増えたり、1人あたりのサービス額が増えたりすると、保険料の額は高くなります。
 超高齢社会を迎え、介護保険サービスを充実させるために、費用負担が増えることについてどう思いますか。(〇は1つ)

図表 9-5-1 介護保険料の負担が増える可能性があること 全体



介護保険料の負担が増える可能性があることについては、「介護保険サービスを充実させるために、保険料の負担がその分増えることはやむを得ないが、利用料の負担は現状程度とするのがよい」

(27.3%) が最も高かった。以下、「介護保険サービスを充実させるために、保険料の負担は現状程度とし、必要な費用は利用者の自己負担とするのがよい」(21.3%)、「介護保険サービスを充実させるために、保険料や利用料などの負担がその分増えてもやむを得ない」(12.1%)となっている。

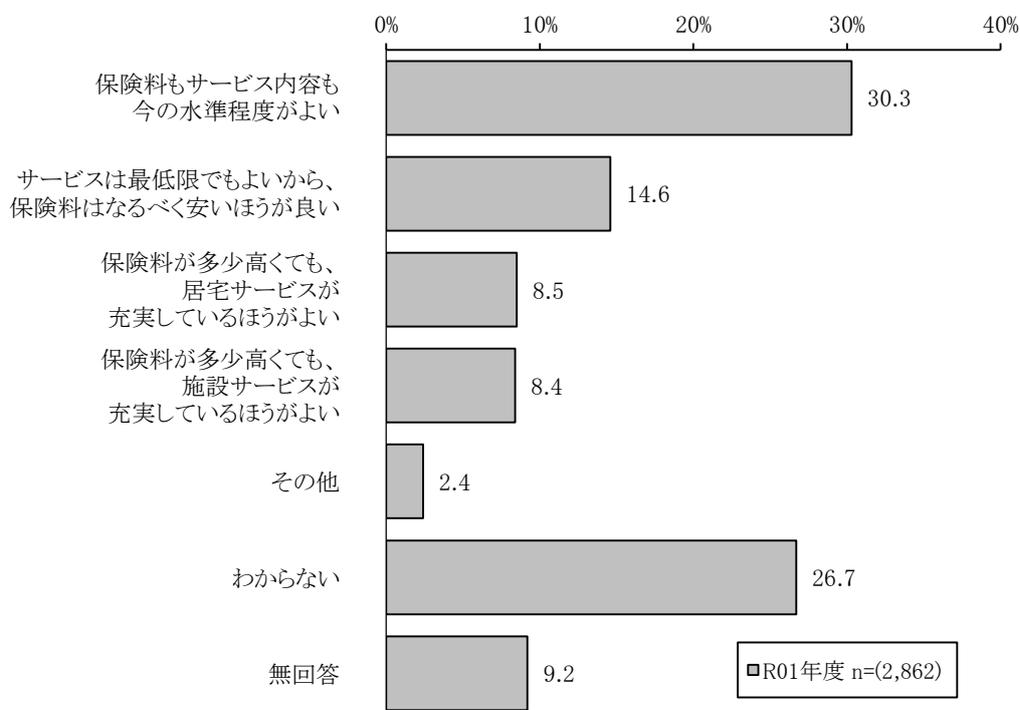
一方、「わからない」は22.4%であった。

前回調査と比較すると、「介護保険サービスを充実させるために、保険料の負担は現状程度とし、必要な費用は利用者の自己負担とするのがよい」が1.2ポイント低くなり、「介護保険サービスを充実させるために、保険料や利用料などの負担がその分増えてもやむを得ない」が2.7ポイント高くなっている。

(6) 保険料の料金設定

問9 (5) 今後の介護保険料の料金設定の方向性について、あなたの考えにもっとも近いものは、次のうちどれですか。(〇は1つ)

図 9-6-1 介護保険料の料金設定 全体



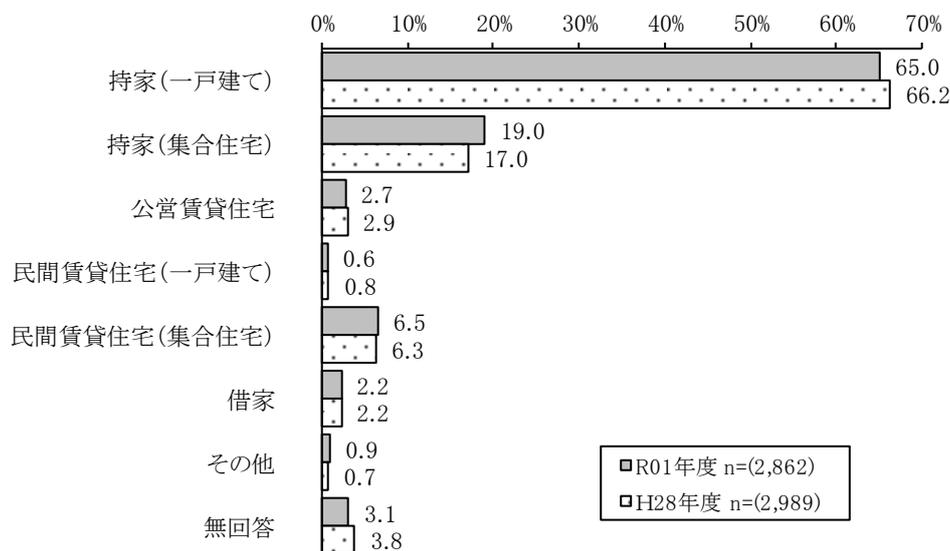
介護保険料の料金設定については、「保険料もサービス内容も今の水準程度がよい」(30.3%)が最も高かった。以下、「サービスは最低限でもよいから、保険料はなるべく安いほうが良い」(14.6%)、「保険料が多少高くても、居宅サービスが充実しているほうがよい」(8.5%)、「保険料が多少高くても、施設サービスが充実しているほうがよい」(8.4%)となっている。一方、わからないは26.7%となっている。

10. お住まいについて

(1) お住まいの形態

問10(1) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(〇は1つ)

図 10-1-1 お住まいの形態 全体



お住まいの形態については、「持家（一戸建て）」（65.0%）が最も高かった。以下、「持家（集合住宅）」（19.0%）、「民間賃貸住宅（集合住宅）」（6.5%）、「公営賃貸住宅」（2.7%）となっている。

前回調査と比較すると、「持家（一戸建て）」が1.2ポイント低くなり、「持家（集合住宅）」が2.0ポイント高くなっている。

図 10-1-2 お住まいの形態 圏域別

		(%)								
		全 体	持家 (一戸建て)	持家 (集合住宅)	公営 賃貸住宅	民間 賃貸住宅 (一戸建て)	民間 賃貸住宅 (集合住宅)	借家	その他	無 回 答
			圏 域	全 体	2862	65.0	19.0	2.7	0.6	6.5
第1圏域	466	54.3		31.5	-	0.6	7.9	1.9	0.6	3.0
第2圏域	474	63.5		17.7	5.7	0.2	7.2	1.3	1.3	3.2
第3圏域	484	73.8		9.1	2.3	1.4	6.6	2.9	0.6	3.3
第4圏域	479	66.4		17.5	1.3	0.6	7.9	2.1	1.0	3.1
第5圏域	479	58.7		26.9	4.2	-	6.1	1.7	0.6	1.9
第6圏域	477	72.7		11.5	2.9	0.6	3.6	3.1	1.0	4.4

圏域別にみると、「持家（一戸建て）」は第3圏域が73.8%で最も高く、次いで、第6圏域（72.7%）となっている。「持家（集合住宅）」は第1圏域が31.5%で最も高く、次いで、第5圏域（26.9%）となっている。

図 10-1-3 お住まいの形態 家族構成別

		(%)								
		全 体	持家 (一戸建て)	持家 (集合住宅)	公営 賃貸住宅	民間 賃貸住宅 (一戸建て)	民間 賃貸住宅 (集合住宅)	借家	その他	無 回 答
			家 族 構 成	全 体	2862	65.0	19.0	2.7	0.6	6.5
1人暮らし	560	45.9		21.1	5.2	1.1	17.1	4.6	1.3	3.8
夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	1160	68.4		20.7	2.2	0.4	3.9	1.4	0.5	2.5
夫婦2人暮らし (配偶者65歳未満)	153	58.8		30.7	1.3	0.7	3.9	1.3	1.3	2.0
息子・娘との2世帯	423	74.2		13.5	2.8	0.2	3.1	1.2	1.2	3.8
その他	457	71.8		14.9	1.5	0.9	5.3	2.4	0.7	2.6

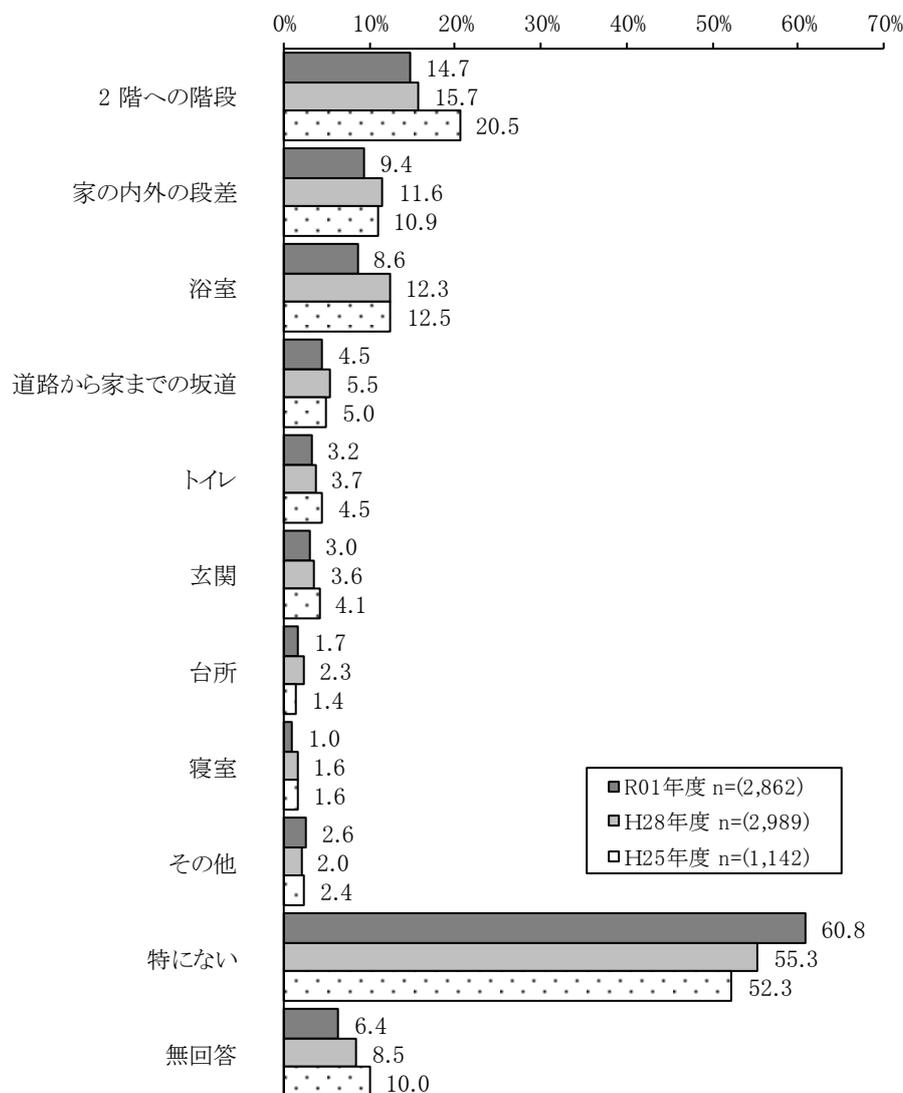
圏域別にみると、「持家（一戸建て）」は息子・娘との2世帯が74.2%で最も高く、次いで、その他（71.8%）となっている。「持家（集合住宅）」は夫婦2人暮らし（配偶者65歳未満）が30.7%で最も高く、次いで、1人暮らし（21.1%）となっている。

また、民間賃貸住宅（集合住宅）は1人暮らしが17.1%で最も高くなっている。

(2) お住まいで不便なところや危ないと思ったところはあるか

問10 (2) 現在のお住まいで、不便なところや危ないと思ったところがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

図表 10-2-1 お住まいで不便なところや危ないと思ったことはあるか 全体



お住まいで不便なところや危ないと思ったことについては、「特にない」(60.8%)が最も高かった。

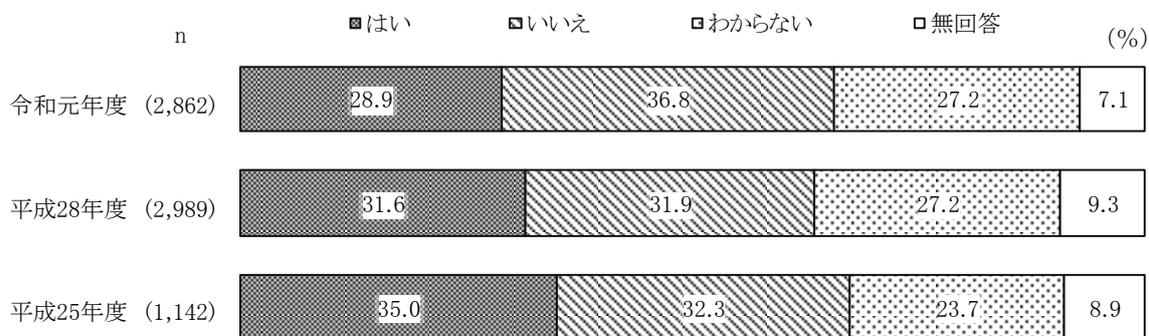
一方、具体的な選択肢の中では、「2階への階段」(14.7%)、「家の内外の段差」(9.4%)、「浴室」(8.6%)の順になっている。

前回調査と比較すると、「浴室」が3.7ポイント低くなり、「特にない」が5.5ポイント高くなっている。

(3) 将来、住宅改修したいか

問10 (3) 将来、手すりの取り付けや段差解消などの住宅改修がしたいですか。(○は1つ)

図表 10-3-1 将来、住宅改修したいか 全体



将来、住宅改修したいかについては、「いいえ」が36.8%を占めていた。一方、「はい」は28.9%となっている。

前回調査と比較すると、「はい」が2.7ポイント低くなり、「いいえ」が4.9ポイント高くなっている。

(4) 現在の住居に今後も住み続けたいか

問10 (4) 現在住んでいるところに、将来も住み続けたいですか。(○は1つ)

図表 10-4-1 現在の住居に今後も住み続けたいか 全体

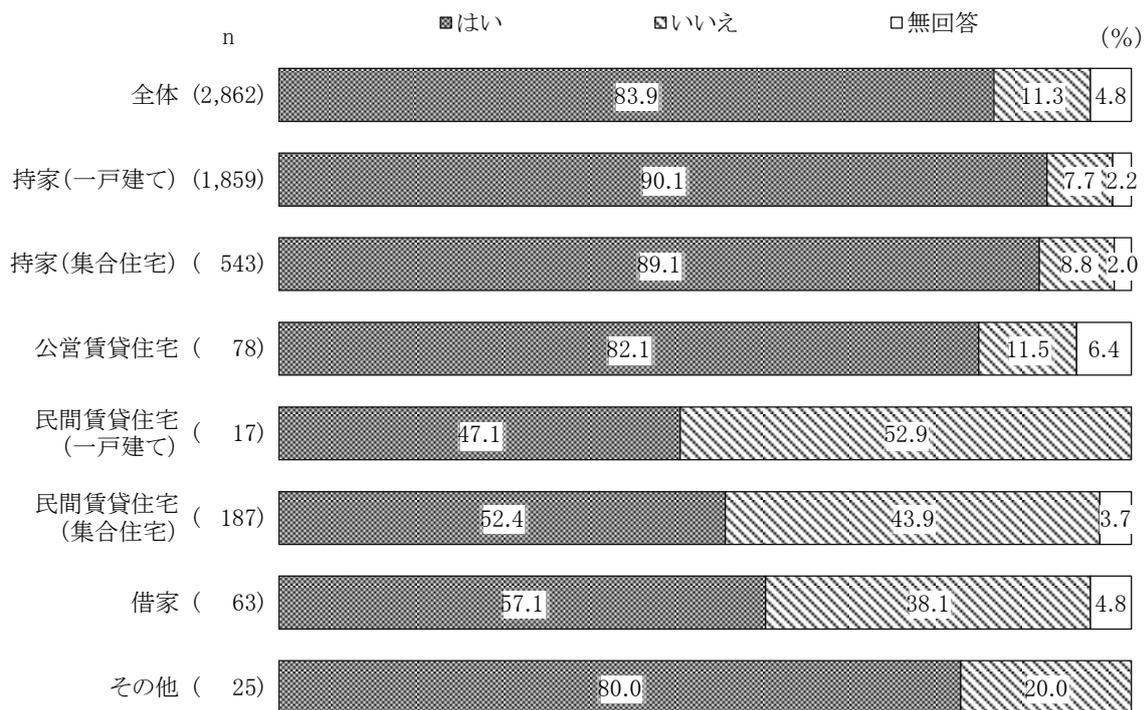


現在の住居に今後も住み続けたいかについては、「はい」が83.9%を占めていた。一方、「いいえ」は11.3%となっている。

前回調査と比較すると、「はい」が1.7ポイント高くなっている。

第2章 日常生活圏域ニーズ調査

図表 10-4-2 現在の住居に今後も住みたいか 居住形態別

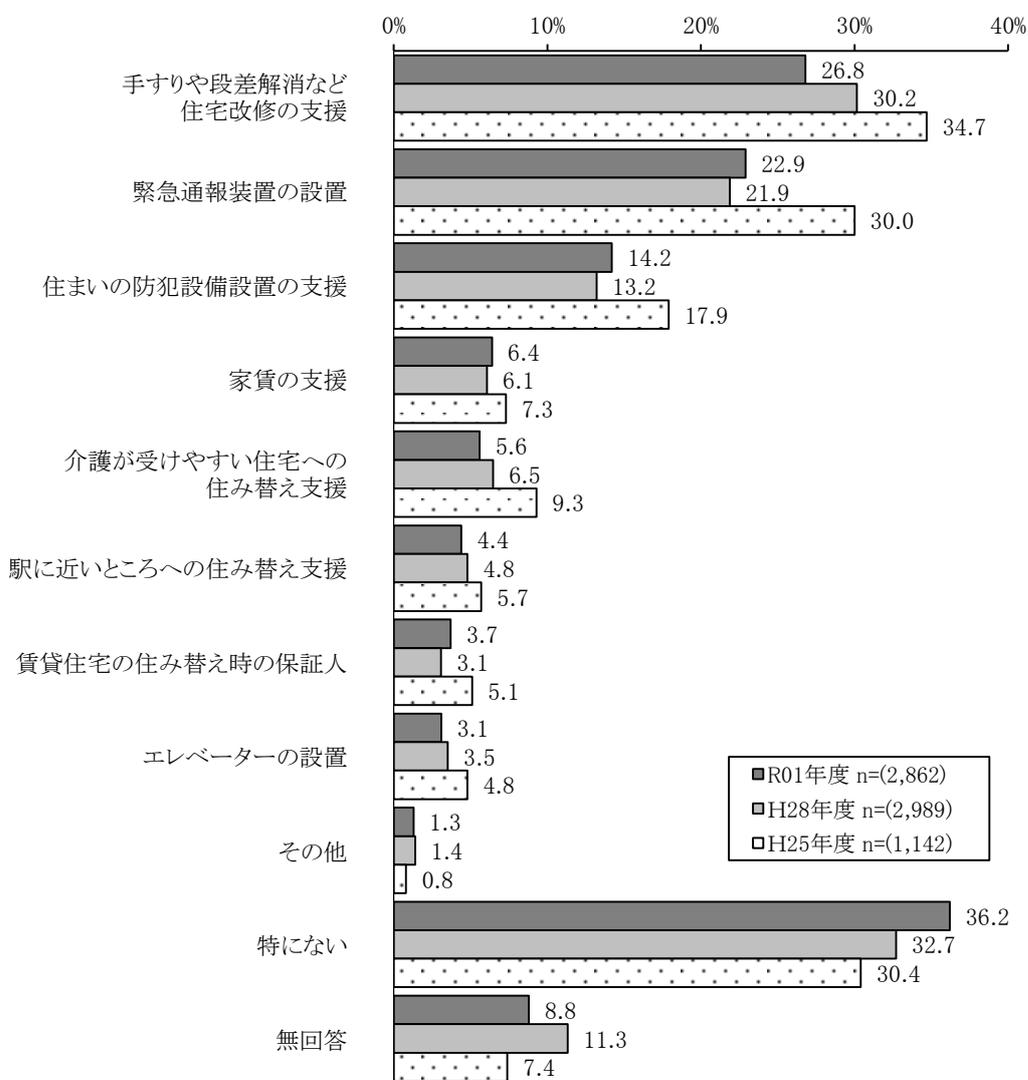


居住形態別にみると、「はい」については持家（一戸建て）が90.1%で最も高く、以下、持家（集合住宅）（89.1%）、公営賃貸住宅（82.1%）となっている。

(5) お住まいに関する支援の希望

問10 (5) 住まいに関して、どのような支援があればよいと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

図表 10-5-1 お住まいに関する支援の希望 全体



お住まいに関する支援の希望については、「特にない」(36.2%)が最も高かった。

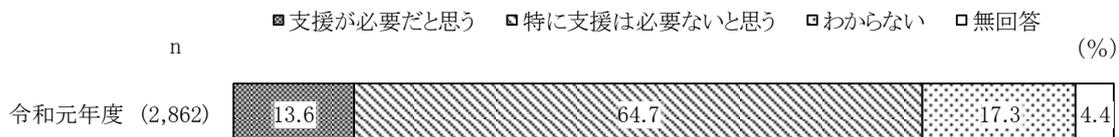
一方、具体的な選択肢の中では、「手すりや段差解消など住宅改修の支援」(26.8%)、「緊急通報装置の設置」(22.9%)、「住まいの防犯設備設置の支援」(14.2%)の順になっている。

前回調査と比較すると、「手すりや段差解消など住宅改修の支援」が3.4ポイント低くなり、「緊急通報装置の設置」および「住まいの防犯設備設置の支援」が1.0ポイント高くなっている。

(6) 災害時の避難支援の必要の有無

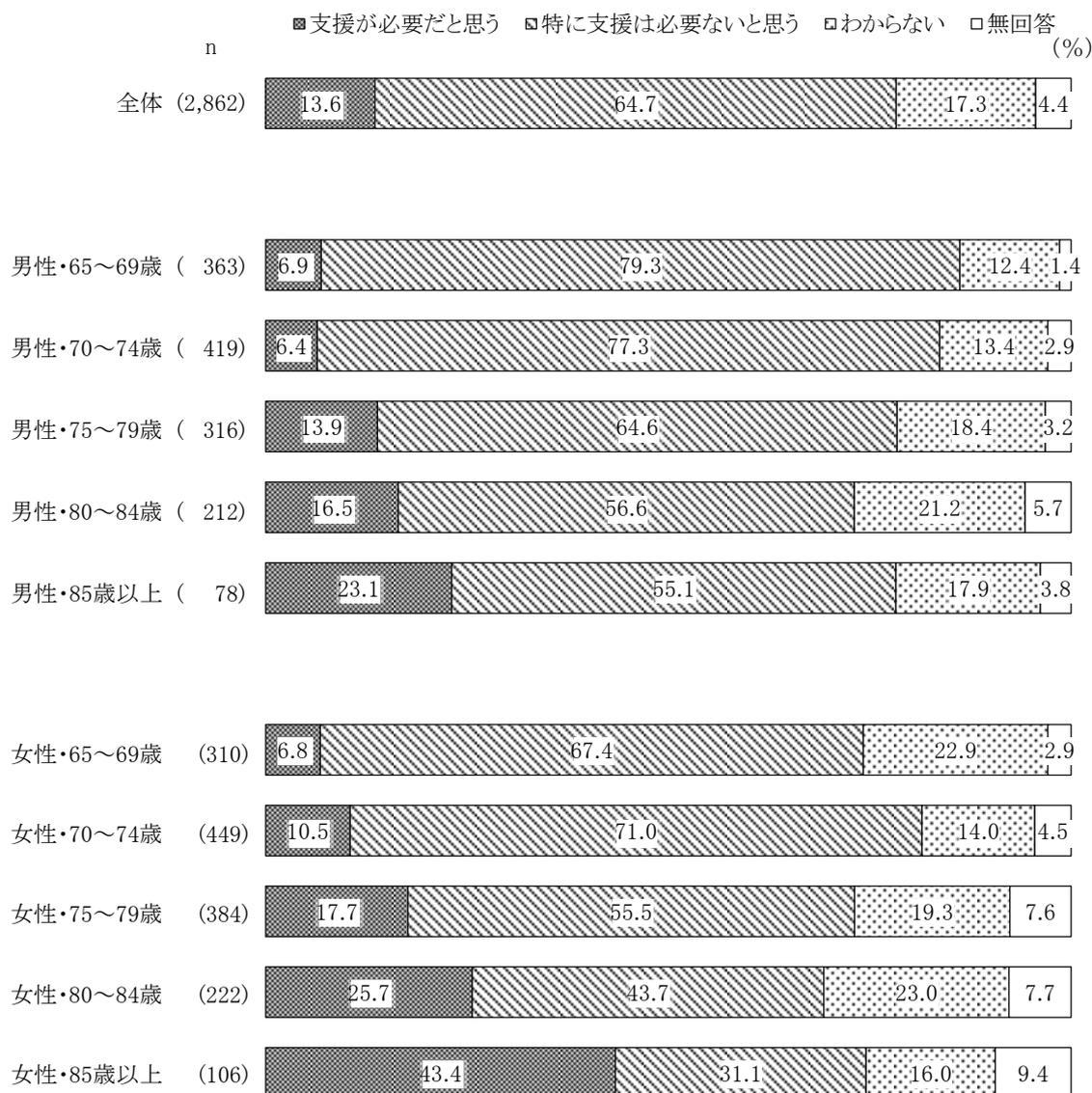
問10 (6) あなたは災害時にご自宅から避難する場合、どなたかの支援を必要としますか。
(○は1つ)

図表 10-6-1 災害時の避難支援の必要の有無 全体



災害時の避難支援の必要の有無については、「特に支援は必要ないと思う」が64.7%を占めていた。一方、「支援が必要だと思う」は13.6%となっている。

図表 10-6-1 自宅から避難する場合、どなたかの支援を必要とするか 性・年齢別

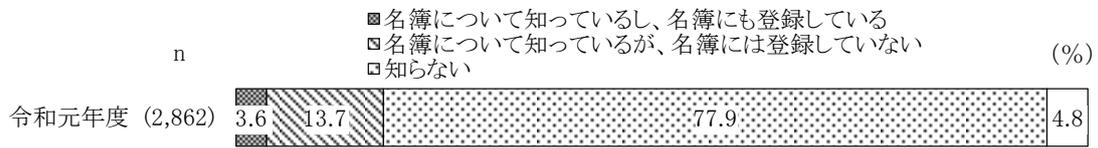


性・年齢別にみると、「支援が必要だと思う」については、女性・85歳以上の43.4%が最も高く、70～74歳以降における女性の比率は男性の比率を上回っている。

(7) 災害時避難行動要支援者名簿登録の認知度

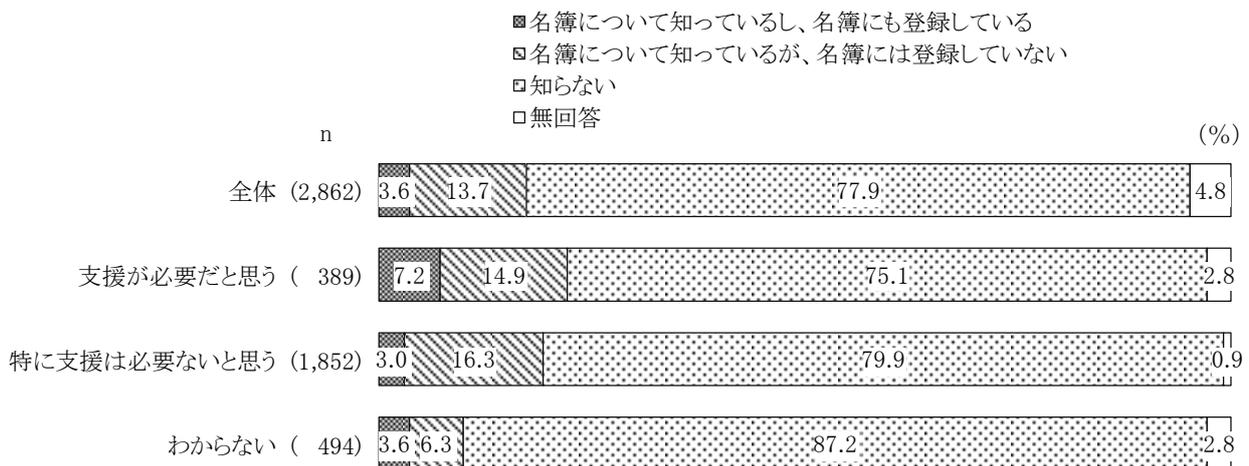
問10 (7) あなたは災害時避難行動要支援者名簿登録を知っていますか。(○は1つ)

図表 10-7-1 災害時避難行動要支援者名簿登録の認知度 全体



災害時避難行動要支援者名簿登録の認知度については、「知らない」が77.9%を占めていた。一方、「名簿について知っているし、名簿にも登録している」は3.6%、「名簿について知っているが、名簿には登録していない」は13.7%となっている。

図表 10-7-2 災害時避難行動要支援者名簿登録の認知度 災害時の避難支援の必要の有無別



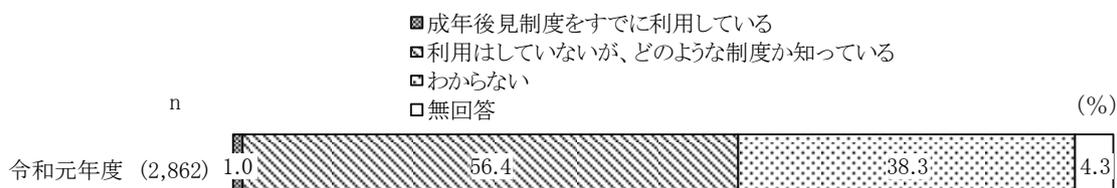
災害時の避難支援の必要の有無別にみると、「支援が必要だと思う」と回答した人の中で「名簿について知っているし、名簿にも登録している」は7.2%にとどまっている。

11. 成年後見制度の利用について

(1) 成年後見制度の認知

問11 (1) あなたは、成年後見制度を知っていますか。(○は1つ)

図表 11-1-1 成年後見制度の認知 全体



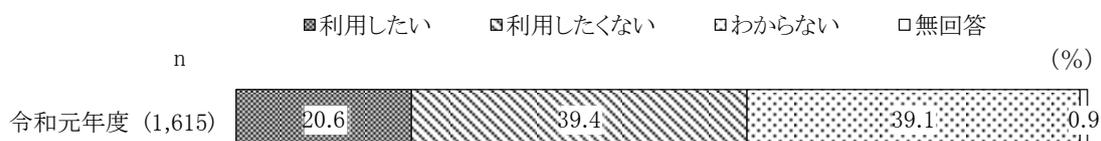
成年後見制度の認知については、「利用はしていないが、どのような制度か知っている」が56.4%を占めていた。一方、「成年後見制度をすでに利用している」は1.0%となっている。

(2) 成年後見制度利用意向

【(1) で「2. 利用はしていないが、どのような制度か知っている」と回答の方のみ】

①あなたは、ご自身の判断能力に不安が生じた場合などに、成年後見制度を利用したいと思いますか。(○は1つ)

図表 11-2-1 成年後見制度利用意向 全体



成年後見制度利用意向については、「利用したくない」は39.4%となっていた。一方、「利用したい」は20.6%となっている。

12. 自由回答

介護保険や高齢者保健福祉のことで、改善すべきことや要望があれば、自由にご記入ください。

介護保険や高齢者保健福祉のことについて、334人から回答があった。大分類ごとに、主な意見を示す。なお、内容は意見の趣旨を損なわないよう一部要約したものもある。

市・行政への要望	介護予防	相談・不安	保健・医療全般	介護保険制度	介護保険料・負担感	情報提供	サービスの充実	施設の整備	介護人材	その他
58	49	44	43	42	24	20	11	9	7	92

※1人で複数の記載内容があるため、合計の件数と回答者数は一致しない。

【市・行政への要望】

- ・行政側（自治体）としてこのような高齢社会に向けての調査は良いと思い、今後生かしてくださればありがたいです。但、内容に高齢者になると目（視力）耳（聴力）のおとろえがあり、このことは自立する生活の上、大きな障害なのです。この点についてふれていないと思います。制度や施策などいくらあっても、それを利用活用しなければ何の助けにもならないと思います。自宅にいる高齢者を定期的に訪問して元気づけるなどできないでしょうか？
- ・1. 何事にも不公平が発生しない事を望みます。2. 知っている人、知らない人の損得差が大きくなるので知らない人への告知・利用の推進。
- ・サークルに加入しているが、世話をしてくれる後見人が育たない。60代の若い人が趣味のサークルに入ってこない。
- ・成年後見制度は本人以外の家族の意向が反映しにくく、使い勝手が悪いので考えていない。介護保険サービスや支援事業は様々なものが用意されているようだが、種類が多すぎて分かりづらい。市民への伝え方に工夫が欲しい。
- ・成年後見制度の活用をして、知人の面倒を看ようとしたが、家庭裁判所の反対に遭い出来なかった。制度自体に不信を持って居ます。看護師を使う用に出来て居て、親身での面倒見が出来なかった。極めて不満である。
- ・高齢者の働く場所を提供して下さい（働く人は元気度が違います）宜しくお願いします。

【介護予防】

- ・家庭で出来る簡単な運動方法の指導をする。本を沢山読む等して脳の活性化を測る方法を指導する。
- ・お蔭様で、元気で充実の日々を過ごしております。60才で定年退職を迎える数年前に身体に異常をおぼえ、日頃の生活習慣や態度を見直し無理のあった生活態度を改善したことが現在につながっていると思います。後期高齢者になると圧倒的に病気を発症したり、介護状態になったりする人が多くなるのが現実です。自然なことです。年齢を重ねるにつれ、お世話していただくことが多くなりますが、その日が少しでも遅く来るようにできるだけその期間が短くなるよう、日々努力してまいりたいと思っております。
- ・現在、82才男性。今の所健康には心配はなし、心がけている事は生活のリズムを変えない事。散歩には毎日6千～7千歩を行う、早寝早起をする。家庭菜園で取れたものを近隣にくばり喜んでくれる楽しみ。心配事は跡継ぎがない事。
- ・現在自分では健康だと思っています。シルバー人材センターを通して老人ホームに務めています。80才すぎましたので、そろそろ働くもの終りかなと思っていますが、どこも悪くないのでいまだに働かせて頂いております。本人（私）はまだ働けると思い、1人よがりをしています。毎日が楽しく嬉しく有難いです。仕事に行く事が生きがいです。ありがとうございました。
- ・今年6月には82才になる。自分は持病を抱えながら人に迷惑掛けない為にと、日々健康に留意し、運動や仲間との交流を心掛けている。数年位前迄は自治会活動やコミティに関わる会合等には余り苦にならず参加してきたが、老年を迎え時間が制約される行動への関係が億劫になった。残りの人生「フレイル」にならない様に、自分の思いのまま行動し、時間を有効に活用できることが、健康の秘訣ではないかと考えている。
- ・特に身体が頑健という訳ではないが、出来る限り介護の世話にならないで生活することを心掛けています。別居の娘が居ますが、小学校に勤務しており、我々の世話を見させてはいけなと考えています。福祉行政に甘えてはいけないという老人教育が必要と思う。
- ・今の所は元気ですが、なるべく人に頼らない生活を長く続けたいと思っているが先の事は分からない。2人の子の食事を作る事を仕事としているので、私は子に生かされていると云う認識ですので出来るだけ長く続けたいと思っています。

【相談・不安】

- ・（80才になって）不安に思う事は認知症になって家族を苦しめないか。今の所、元気であるが、いつ変化が起きるか。気楽に科学的に認知症（脳）の検査が受けられるように。早期発見で投薬が受けられるように制度化してほしい。
- ・軽度の認知症があります。（夫・病院に通っています。（パッチをはっています。）進んだときはどうすれば良いかちょっと不安です。（妻）
- ・1人暮らしなので不安だらけです。防犯設備の設置をしてほしい。無料点検とか変な人が良く来るのでこわい。防犯カメラの設置。
- ・サークル等の友人がデイサービスとか、ヘルパーさんとか話し利用もしている様なので、話しは聞いて居りますが、いざ自分がとなると何も知らないのが心配です。80才（4/27）になるのでやはり考えなければいけませんね。と思って居ります。最初は何から始めたらよいのでしょうか。84才になる配偶者もいるので「いざ」となったら何もできそうにありません。
- ・今一番心配なのは、私が死んだ後、娘は病弱で無収入50代後半になっているのです。今は私の年

第2章 日常生活圏域ニーズ調査

金で暮していますが、後どうなるのか、どうしたら良いのかもわかりません。私は7月で88才になり、あまり外出も思うように出来ないので、相談する所へも行かれませぬ。どうしたら良いか困っています。

- ・車の認知検査を受けて来年までの車での使用が出来るのですが、その後の買いものなどが出来なくなりそうです。腰が悪いので歩くのがつらい日々です。
- ・今は夫婦2人でなんとかやっていますが、将来不安だしわからない。

【保健・医療全般】

- ・70才に成りましたら、医療費の無料を希望します。
- ・認知能力、身体機能の衰えを考えると将来が不安です。ただ生きているだけで見苦しい姿を晒すより、尊厳死が選べる方法が有ればと考へ、社会もそれを認めるようになればと思っています。
- ・何年も医療機関に行っていない場合、保険料を下げてもらいたい。
- ・行政機関への交通手段がすべて不便です。総合病院、市役所、体育館とか（図書館）車を自分で運転しないと行けない所が多すぎます。
- ・前年度要支援1と認定されましたが、今年度は認定されませんでした。主人は心臓病、腎臓病、難聴で右耳が不自由です。今は杖を持ち、ゆっくり、ゆっくりと歩行出来ますが、家事、買物、生活での全てが私にかかっています。もし私が病気で入院する事になると、どうなるか不安です。支援1が取り消された場合の後、どの様に介護保険を使って支援を受ける事が出来るのでしょうか。認知症は（主人）現在ありません。今年度6月に主人84才、4月私80才です。
- ・問5の3。現代は心臓疾患者が大勢おります（地域に）。疾病に適した運動が大切と思います。是非とも指導者育成を望みます。参考のため私が通院している病院をご紹介します。「新横浜ハートクリニック」遠いのですが、リハが楽しく通院しているところです。でもいずれは地元でかかりつけ医が地域でやって下さればうれしいです。
- ・高齢になり、判断能力の低下、健康面など不安は尽きないが、友人・知人等、自分と同じ年代でその時々で医療福祉サービス等、考へてゆくしかないと思っている。

【介護保険制度全般】

- ・3年前主人を認知症による肺炎で亡くし、精神障害者の娘を看ながら生活しています。今後の自身については不確実な事が多いので正確な返答にはなりません。又、主人の為に色々手を貸して下さったセンターの方をはじめケアマネジャーさん、施設等の方々には深く感謝しています。よりよい福祉になればと願っています。
- ・介護保険サービス等については、高齢な独居老人ゆえ、近い将来いろいろとお世話にならざるを得ないと思いますが、今のところ出来るだけ頑張って利用する日が少しでも先になることを願っているところです。介護保険サービスに関してはお恥ずかしいですが、実のところ勉強不足でありくわしく認知しておりませぬ。いざという時のためにも、もっと関心をもち、勉強せねばというところ。です。
- ・独居老人にとっては民生委員さんの存在はありがたく頼りになります。いつも感謝です。
- ・高齢者は、こういう文章を読んだり回答するのが難しい。特に、問9については、差し迫っていないせいか関心が薄い中で“今後”というのが、どう取っていいのか、（直近（1～3年））なのか、

ずっと先のことなのか。) 考え方に迷う。(本人、アルツハイマー、記入者、高齢者)

- ・制度を利用した女性を知っている。が、厳しいものを感じた。自分の置かれた立場を理解(認識)した上で選択しないと、むしろ逆に縛られる場合がある。身動きの取れない環境の中で苦しんだ人を知っている。自分の状況を熟知出来た上で、安心、安全を求めたいと感じた時は利用したいと思う。この制度はもっと深く正しく知っておきたい制度でもある。
- ・今は健康だと思っていたので、現実を知らされたという感じです。高齢者福祉サービスの種類、全然わかりませんでした。
- ・将来的には老老介護を想定しています。その時、各介護サービスが必要となる場合には行政の指導を是非ともお願いします。

【介護保険料・負担感】

- ・今のお給料で保険料を負担が大変。
- ・介護保険料のことは若い人達は高いと嘆いているし、気の毒です。社会保障するために消費税10%にしたのだから国が負担するべきだ。国民年金から介保の値上げは厳しいです。若い人達も気の毒です。成年後見人制度は弁護士が中心にやっていると聞いてはいるが。中には自分の懐に入れてしまう人もいとテレビでやっていたし、信用できない。何処を信用したらいいのか分からない。後見人制度を厳しくチェックする機関は必要ではないかと思います。
- ・収入は年金に限る為、生活費が不足する、止むなく貯金を取り崩しながらの生活です。よって介護保険及び後期高齢者医療保険料が高くなるのは苦しい限りです。サービスの種類が多すぎる。減らすべきである。
- ・建物や施設だけ、システムだけを造っても、財政面で破綻するようなら意味がない。これからは人口も減り、収入も少なくなるなかで、自己責任において、人生をつくりあげるように行政の方もダウンサイジングが望ましいと思う。
- ・現在83才で将来どうなるかまったく分からない。子供に頼るのは出来るだけしたくないので、自分でどうにかせねばと考えている。介護老人福祉施設に入居したいが、年金生活者なので、私が入居すれば年金はそちらへ関わり、妻の生活資金が不足するかとも思われ、判断に迷いが出る。その為、健康状態をキープしたいと思う昨今である。
- ・国民年金受給者で経済的に非常に厳しい生活を送っています。病院はおろか食事さえ控えなければならぬ状況ですので、人一倍健康に気をつけなければいけないと思っていますが、夫婦二人共持病がありますので、体力的にもきつくなってきました。又、生活が困窮している為、外部(友人、知人など)との接触(つき合いなど)を避けざるをえませんので、それによるつらい思いをすることが多々あります。
- ・国民年金で支給額が少なく、働いているのに、収入に応じで介護保険、後期高齢者保険が高くて、何のために働いているのか分からない。

【情報提供】

- ・前略。高齢者へのアンケートが来るたびに思います。自分の事も夫の事も出来ていますが、何時人様のお世話に成るかもしれません。いざと成らないといろいろ利用出来る物等が良く分かりません、今も良く分かっていません。誰かの手を借りないと不便を感じる様に成る前にこの様に利用が出来ますとか、この様な介護用品が借れますとか言うパンフレット等ないのでしょくか。1世帯に1冊

第2章 日常生活圏域ニーズ調査

有るととても助かると思うのですが、その様に成ったら、まず何をしなければならないのか、どこに知らせるのかも良く分かりません。今1度分かりやすいパンフレット等頂けましたら助かります。大切にとっておきたいと思います。ぜひ介護が必要に成ったらどうしたら良いか分かりやすく書いたものがほしいです。宜しく願い出来ませんかでしょうか。私だけが思っている事でしょうか。

- ・高齢者福祉サービスについて今迄85才(夫)、84才(私)知識が皆無でしたが、今後御世話にならなくてはならない時が来ると思いました。どこで、どの様に教えていただけるのでしょうか。座間広報等、その機会を知らせてほしいと思います。
- ・自治会がない為、情報がなかなか得られない。
- ・大変勉強不足で申し訳ありませんが、「高齢者福祉サービス」を知るために、どこへ行って何を読めば分るのででしょうか、教えて下さい。宜しくお願いします。
- ・高齢者サービスが色々有りますが、一つにまとめた物を役所で作成し、各世帯に配布して頂きたいと感じました。(内容も具体的に細かく書かれてあり、利用方法、場所等も記載されている物)
- ・駅などに近い場所にワンルームでもよいが、高齢者向けの住宅をすることが望ましい。目だけの行政ではなく、高齢者が増えていく時代に向け何の対策もしないで重税を徴収するのは怒りに耐えない。県営住宅に入っている者に外国人など、高級車に乗りこんな者が生活支援を受けているのかと驚く様な者が長年住み続けているのはおかしいものだ。生活保護受給者についてもチェックするか、係員が足りないなら情報提供者などによる情報収集を考えてもいいのでは。

【サービスの充実】

- ・介護職員初任者研修課程を平成28年7月4日に修了しました。何か役に立てることがあれば参加したいです。年金が少ないので77才になった今も整体師として働いています。あいている日、又は時間を有効にいかしたいと考えています。以前ボランティアの説明会に参加したのですが、各グループの説明をききました。各グループの都合が優先で、私の都合は聞いてはくれませんでした。出来る範囲で少しずつ参加したいと考えています。座間市に住んで16年になりますが、誰も親しくなっていません。座間市で役に立ちたいと考えています。整体師ですので、肩こりやハンドマッサージ等、誰でもセルフケア出来る簡単な方法等指導させていただきたいです。
- ・ゴミ出しの仕方、現状、家から20メートル離れた集積所に運ぶ。希望、家の前に置けば運んでくれる。
- ・ひとり暮らしになって、防犯がかなり心配です。
- ・人手不足対策としてシルバー人材センターの拡充を願う。生活保護者の審査厳しく、又受給者のフォロー強化願う。マイナンバーカード加入促進をはかり税の公平負担強化してもらいたい。生活に困っている人を随時見つけ出し支援強化を願う。高齢者を随時、見回り、支援対応を願います。
- ・地域支援事業サービスの中で、(3)(4)(5)(6)は、継続して開催して欲しいです。例えば年に何回かな、指導員の方に指導していただき、後は各地域毎にサークルのような形式で長く続く形で、お願いしたいと思います。(地域の施設利用ですと、気軽に参加出来ると思います。)つたない考えですが、細く、長く、続けたいのです。どうぞ、よろしく願い致します。
- ・色々考えてくれてありがとう。以前母がお世話になり、役所の方も介護してくれた人も皆親切でした。とても助かりました。
- ・このたびのアンケートありがとうございました。お陰様にて安心感をもって生活をする事ができています。これからも心身ともに健康で充実した生活に努めたいと思いますので、何卒よろしくお

願い致します。末筆となりましたが、介護士さんや民生委員の方が毎月1回位に訪問して下さるため助かります。重ねて厚くお礼を申し上げます。

【施設の整備】

- ・認知機能の低下になった時、入所出来る施設が少ないのではないかと、入所出来たにしても、費用が高すぎ、在宅を余儀なくされてしまう。低額で入所出来る施設を建設してもらいたい。
- ・親、兄妹と遠く離れて暮らしているので、地域の人達はとても大事だと思う。
- ・安い家賃で長く安心して住める場所があれば最高です。もし有りましたら紹介して下さい。
- ・2つの内どちらかに○をつける間には随分悩みました。中間はどちらに入るのだろうかとか。P11問9からの質問も別の日に見直すと考えがかわってたりして悩みました。いろいろな施設があるのにびっくりしました。とてもよい勉強になり知識も広がりました。
- ・現在介護不要、将来どうなるか不明→今後利用希望は状況により将来判断する。今判断しても無意味。老人施設は15年程前母が施設入所を検討したが、どこも入所不可。全く役に立たず。→現在は。

【介護人材】

- ・私は介護職員を続けている65才の者です。介護職員が不足しています。離職、入職の繰り返しです。職員が育っていない現状です。サービスを充実とありますが、内容は低下しています。成年後見人も難しいと思いますが本人の事を考えて、いらっしゃらない方がいます。決った以上その方にお任せですから、その後の対応は周りにはわからないですから。監査が入っても上辺だけです。一生懸命考え支援している職員は「なぜ言っても同じ間違いをするのか」「誰も聞いてくれない」等等、「心やさしい人が病んでいます。」
- ・保険者は市町村単位ではなく、県単位とすべきでしょう。介護労働者の賃金が低過ぎる。特養待機者が多過ぎる。行政（県）（国）が責任を持って設立すべきでしょう。
- ・昨年10月から東京都主催のセカンドキャリア塾に参加しました。参加された方の多くが現役時代の経験や知恵を持ち、気力体力もあり、宝の山だと思いました。これをどのように生かすかをもっとシニアも含めて探って行けないかと思えます。市にできることには限りはあるかと思えますが、人材のリノベーションを期待したいと思えます。
- ・現在75才女性です。看護師として仕事をしていましたが、3月で退職しました。腰痛と目の障害のためです。デイサービスでの勤務でしたが、家族の協力のある人まったくほったらかしての人、それぞれです。
- ・現在、ヘルパーとして働いていますが、年々介護認定される方が多くなり、ヘルパー不足になっているようです。お手伝いさんだと思っていられる方も多く、自分でできるのにやってもらった方が楽だからと介護認定をもっときびしくされた方が良いと思えます。ほんとうにヘルパーを必要とされている人にもっと手厚く介護してあげたいです。

